

組立の目安
45分〜

グリニア ストレージテーブル 基本+増連 組立説明書

RFFG-2525DR (AL)

■組立説明書は(1)〜(8)の8種類ございます。下記をご参照頂き、適合する番号の組立説明書をご覧ください。
 ■コンセントボックス仕様を使用する場合は、ページ37の「コンセントに関する注意」をご確認ください。

基本 (幅 1200 mm)

配線蓋仕様を組み立てる場合は
1〜16をご覧ください。

(1) 配線蓋仕様

コンセントボックス仕様（グリーン付き含む）を組み立てる場合は
1〜24をご覧ください。

(2) コンセントボックス仕様

二連 (幅 2400 mm) 以上

配線蓋仕様を組み立てる場合は
25〜48をご覧ください。

(3) 配線蓋仕様

コンセントボックス仕様（グリーン付き含む）を組み立てる場合は
25〜61をご覧ください。

(4) コンセントボックス仕様

後日増連 基本 (幅 1200 mm) から二連 (幅 2400 mm) 以上に変更する場合

配線蓋仕様を組み立てる場合は
62〜67、25〜48をご覧ください。

(5) 配線蓋仕様

コンセントボックス仕様（グリーン付き含む）を組み立てる場合は
62〜67、25〜61をご覧ください。

(6) コンセントボックス仕様

後日増連 二連 (幅 2400 mm) 以上から三連 (幅 3700 mm) 以上に変更する場合

配線蓋仕様を組み立てる場合は
68〜69、25〜48をご覧ください。

(7) 配線蓋仕様

コンセントボックス仕様（グリーン付き含む）を組み立てる場合は
68〜69、25〜61をご覧ください。

(8) コンセントボックス仕様

基本部材

※部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。
 不足や不具合があった場合は配送いたします。電話にて部品名をお伝えください。

梱包 1 RFGST-1212NA-T

①天板 ×1

梱包 2 RFGST-1212BK-SB

②左側板 ×1

③右側板 ×1

梱包 3 RFGST-1212BK-DB

④扉 ×1

⑤背板 ×1

⑥巾木 ×2

⑦天板連結金具 ×3

⑧配線受け ×1

⑨戸当たり ×2

⑩ジョイントシャフト ×24

⑪丁番 ×2

⑫十字穴付き皿
タッピンねじ ×12

⑬十字穴付きトラス
タッピンねじ ×4

⑭六角穴付き
平ねじ ×16

⑯クッション
シール ×4

⑰六角
レンチ ×2

梱包 4 RFGST-1212BK-BT

⑱可動棚板 A ×1

⑲可動棚板 B ×1

⑳底板 ×1

㉑棚ダボ ×8

㉒穴隠し
シール ×10

梱包 5 RFGST-BK-F

㉓配線蓋 ×1

㉔配線蓋用
シール ×4

梱包 6 RFGST-BK-CB

㉕CB 側板 A ×2

㉖CB 側板 B ×2

㉗CB 底板 ×1

㉘S 字金具 ×4

梱包 7 NC-1555-B

㉙コンセント ×4

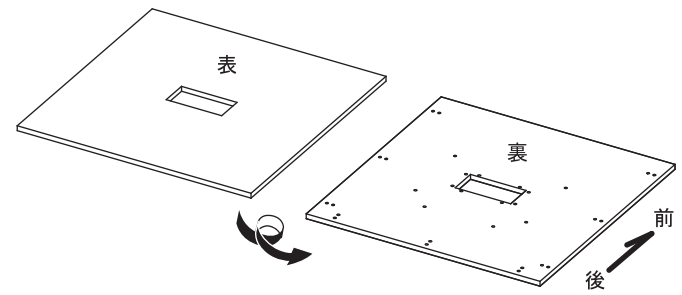
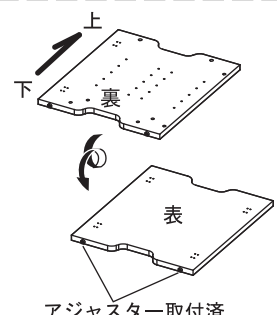
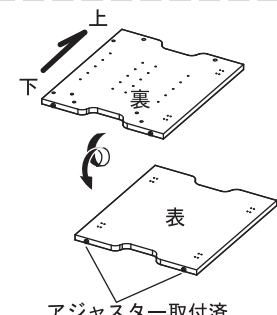
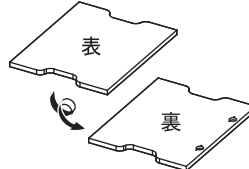
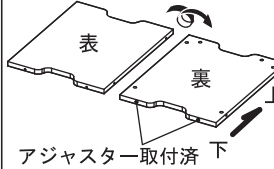
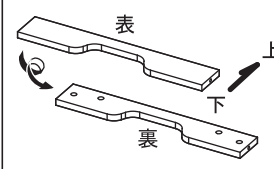
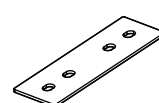
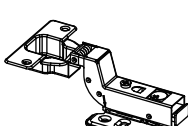
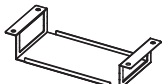
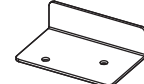
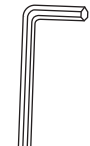
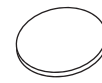
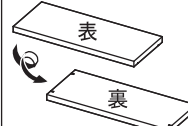
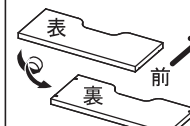
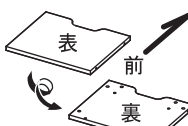
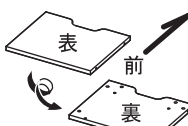
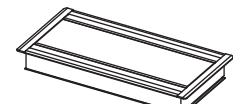
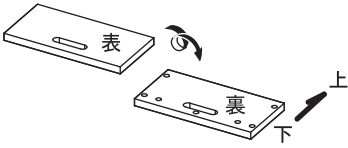
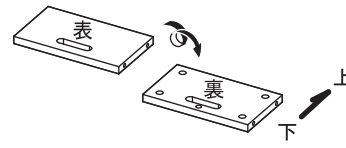
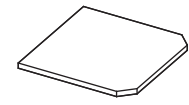
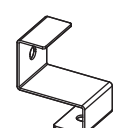
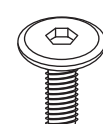
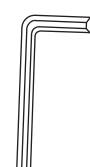
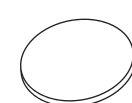
梱包 8 RFFG-2525DR

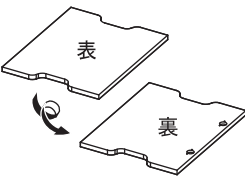
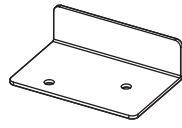
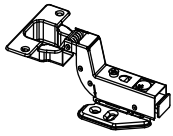
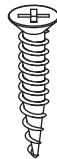
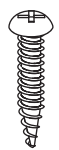
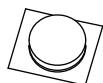
㉚ドラセナ ×1

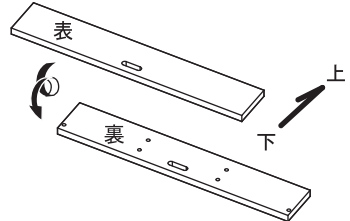
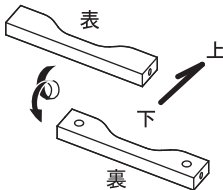
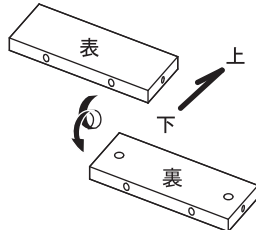
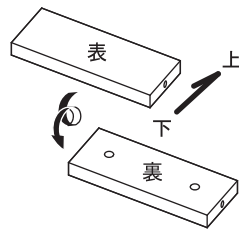
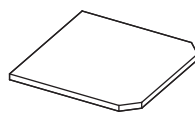
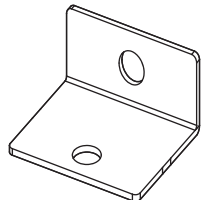
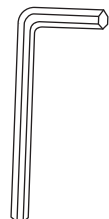
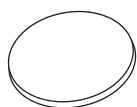
1/37

2/37

20260715

増連部材（1 台分）		※幅1200 mmを追加する毎に増連部材が必要となります。	
梱包 1		RFGST-1212NA-T	
④天板 ×1			
			
		梱包 9	
		RFGST-1212ADBK-SB	
		④増連左側板 ×1	
			
		⑤増連右側板 ×1	
			
梱包 3			
RFGST-1212BK-DB			
⑩扉 ×1		⑪背板 ×1	
			
⑫ジョイントシャフト ×24		⑬巾木 ×2	
			
+予備		⑭天板連結金具 ×3	
			
⑮丁番 ×2		⑯配線受け ×1	
			
⑰十字穴付き皿タッピンねじ ×12		⑱戸当たり ×2	
			
(Φ3.5×16)			
⑲十字穴付きトラスタッピンねじ ×4		⑳六角穴付き平ねじ ×16	
			
(Φ3×14)		+予備	
		㉑クッションシール ×4	
			
		㉒六角レンチ ×2	
			
㉓棚ダボ ×8		㉔穴隠しシール ×10	
			
+予備		+予備	
梱包 4		RFGST-1212BK-BT	
⑤可動棚板 A ×1		⑦可動棚板 B ×1	
			
⑧底板 ×1		⑨底板 ×1	
			
		梱包 5	
		RFGST-BK-F	
		※配線蓋仕様の場合に使う部材です。	
		㉖配線蓋 ×1	
			
		㉗配線蓋用シール ×4	
			
梱包 6			
RFGST-BK-CB			
※コンセントボックス仕様（グリーン付き含む）の場合に使う部材です。			
㉘CB 側板 A ×2		㉙CB 側板 B ×2	
			
㉚CB 底板 ×1		㉛S 字金具 ×4	
			
㉜ジョイントシャフト ×8		㉝六角穴付き平ねじ ×8	
			
+予備		+予備	
		㉞六角レンチ ×1	
			
		㉟穴隠しシール ×4	
			
		梱包 7	
		NC-1555-B	
		㊱コンセント ×4	
			
		※コンセントボックス仕様の場合に使う部材です。	

梱包 10						RFGST-1212ADBK-D
㉔増連扉 ×2	㉑戸当たり ×4	㉒丁番 ×4	㉓十字穴付き皿 タッピンねじ ×24	㉔十字穴付きトラス タッピンねじ ×8	㉕クッション シール ×8	
			(Φ3.5×16) 	(Φ3×14) 		
				+ 予備	+ 予備	

梱包 11					RFGST-ADBK-CB
※コンセントボックス仕様（グリーン付き含む）の場合に使う部材です。					
㉖増連 CB 側板 ×2	㉗連結板 ×2	㉘仕切り板 ×2	㉙受け板 ×2	㉚増連 CB 底板 ×3	
					
㉛連結金具 ×2	㉜木ダボ ×4	㉝ジョイントシャフト ×12	㉞六角穴付き 平ねじ ×4	㉟六角レンチ ×1	㊱穴隠しシール ×4
			(M6×12) 		
		+ 予備			

梱包 8	RFFG-2525DR
※グリーン付き仕様の場合に使う部材です。	
㉒ドラセナ ×2	
	
※現物とはイメージが異なる場合がございます。	

梱包 12	RFFG-2525AL
※グリーン付き仕様の場合に使う部材です。	
㉒アンズリュームリーフ ×2	
	
※現物とはイメージが異なる場合がございます。	

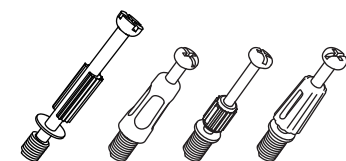
重要 ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法

本商品には **ジョイントシャフト** と **カムロック** を使用して組み立てを行う工程がございます。
以下の説明を最後までよくお読みのうえ、組み付けを行ってください。

1. ジョイントシャフトの取り付け

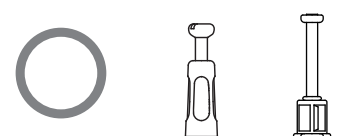
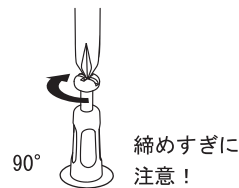
※商品に同梱されているジョイントシャフトの種類をご確認のうえ、下記に示す方法で取り付けを行ってください。

ジョイントシャフト



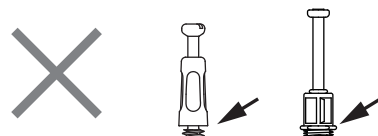
※商品によってジョイントシャフトの形状が異なる場合がありますが、使用上問題ございません。

ジョイントシャフトを板面の埋め込み(鬼目)ナットに回し入れます。手で回し入れたあと、プラスドライバーを使用して90度ほど増し締めしてください。



適切な取り付け

ボルト部分のみが完全に隠れるように回し入れてください。



最後まで入っていない

抜けや歪みの原因となります。



締めすぎ・差し込みすぎ

ジョイントシャフトや埋め込みナットが破損する恐れがあります。

2. ジョイントシャフトの挿入

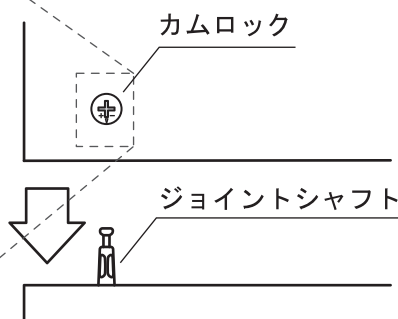
板面に取り付けられているカムロックに、ジョイントシャフトを差し込みます。

カムロックには＋又は▲矢印もしくはその両方が刻印されています。



この印をジョイントシャフト側に向けて差し込んでください。

取り付ける板面を平行に持ち、垂直に真っ直ぐ差し込みます。



適切な差し込み



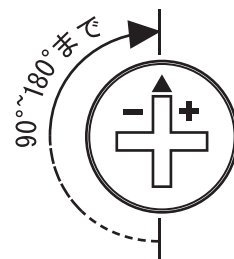
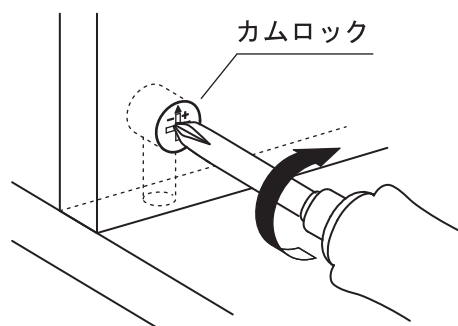
隙間が空いている
正常に固定できません。

3. ジョイントシャフトとカムロックの固定

プラスドライバーを使用し、カムロックを時計回りに回転させます。

回し始めから90°～180°程度で、カムロックがジョイントシャフトとかみ合って固定されます。

※小さいサイズのドライバーは回しにくい恐れがあります。大きいサイズのドライバーをご使用ください。



正常な締め付け

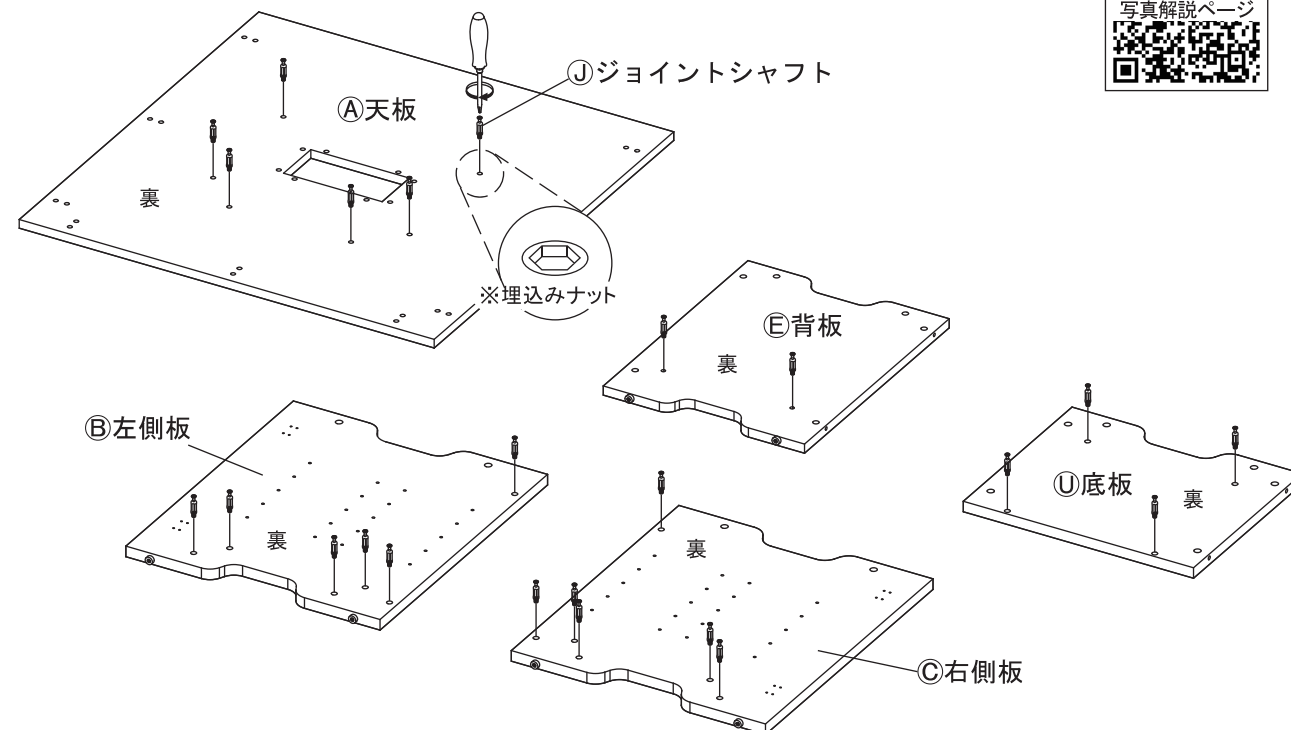


締めすぎ
無理に回すと破損の原因となります

基本（幅 1200 mm）を組み立てる場合

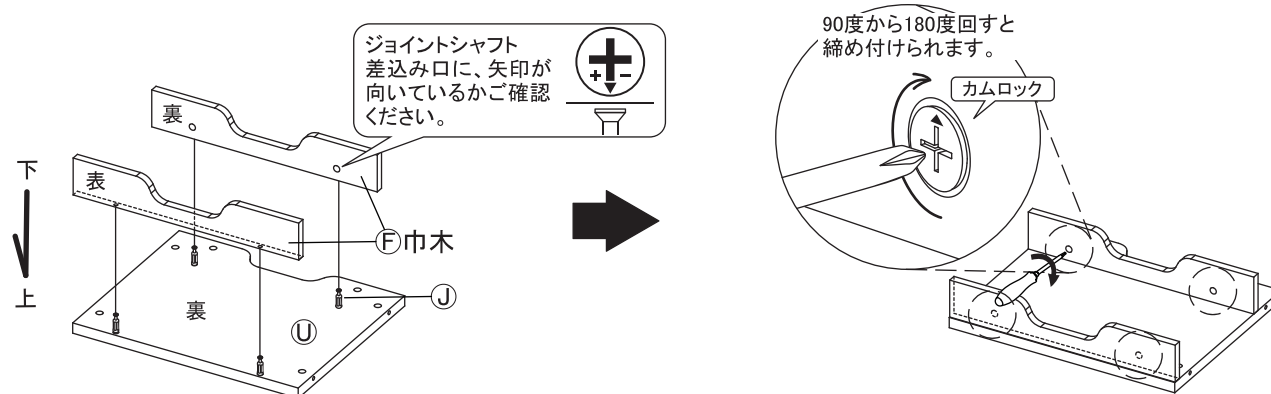
1

①天板、②左側板、③右側板、④背板、⑤底板に⑥ジョイントシャフトを回し入れてください。※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



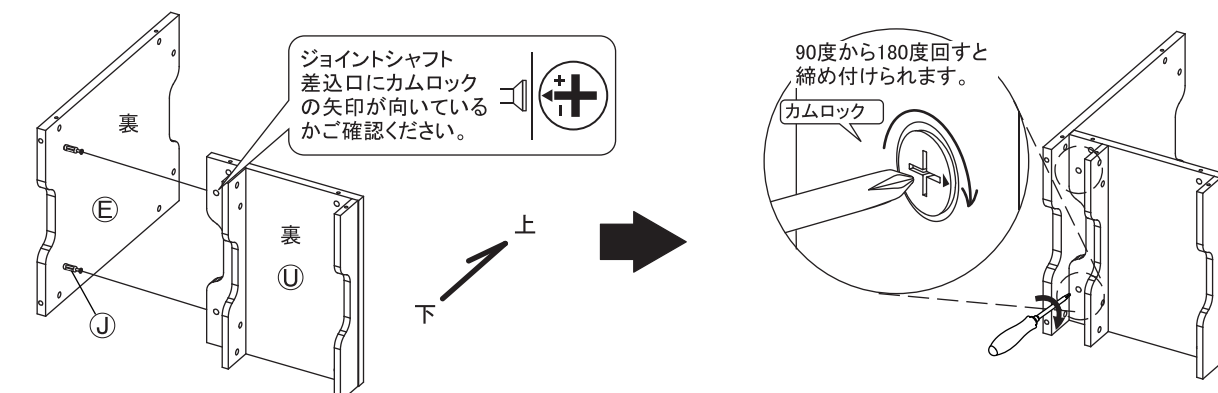
2

⑤底板の⑥ジョイントシャフトを⑦巾木の横穴に差し込んでください。その後、⑦巾木のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



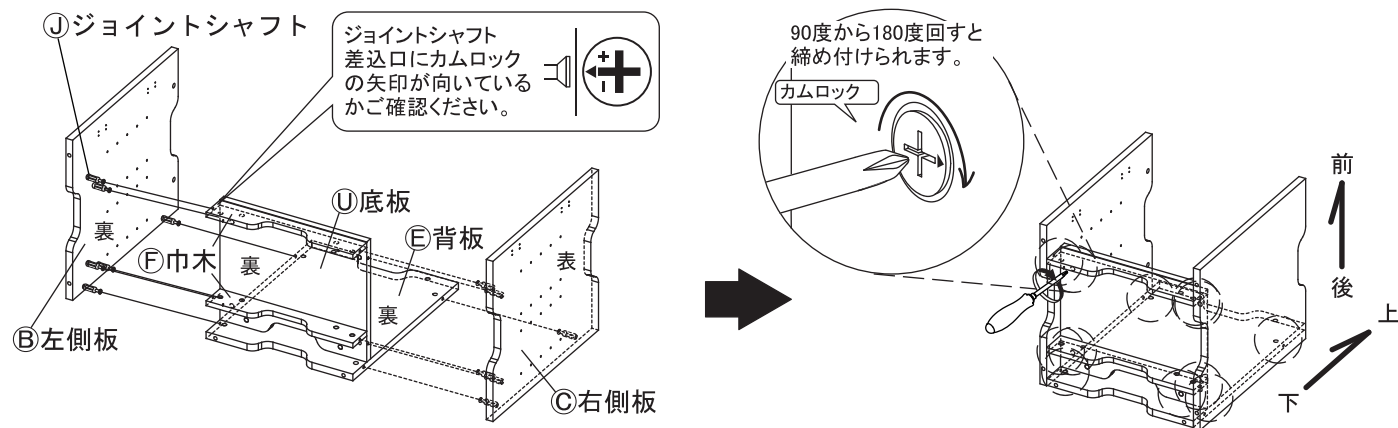
3

④背板の⑥ジョイントシャフトを⑤底板の横穴に差し込んでください。その後、⑤底板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



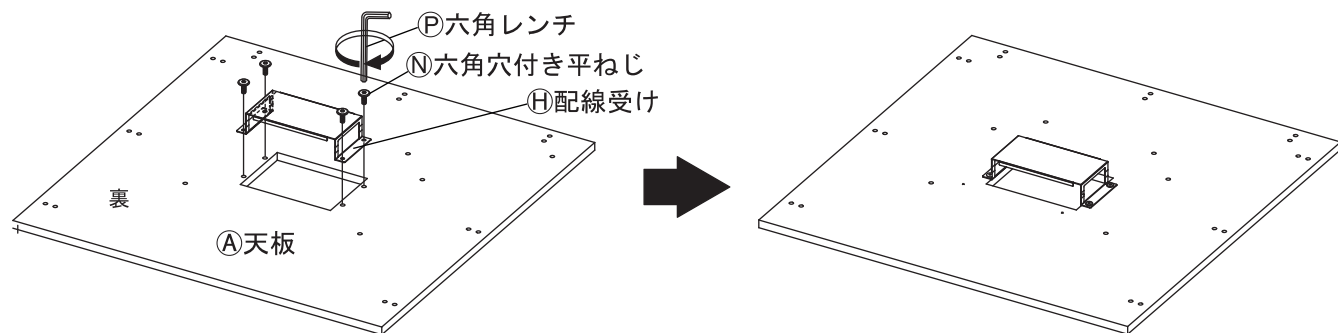
4

⑧左側板と⑨右側板の⑪ジョイントシャフトを⑤背板と⑦巾木と⑩底板の横穴に差し込んでください。その後、⑤背板と⑦巾木と⑩底板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



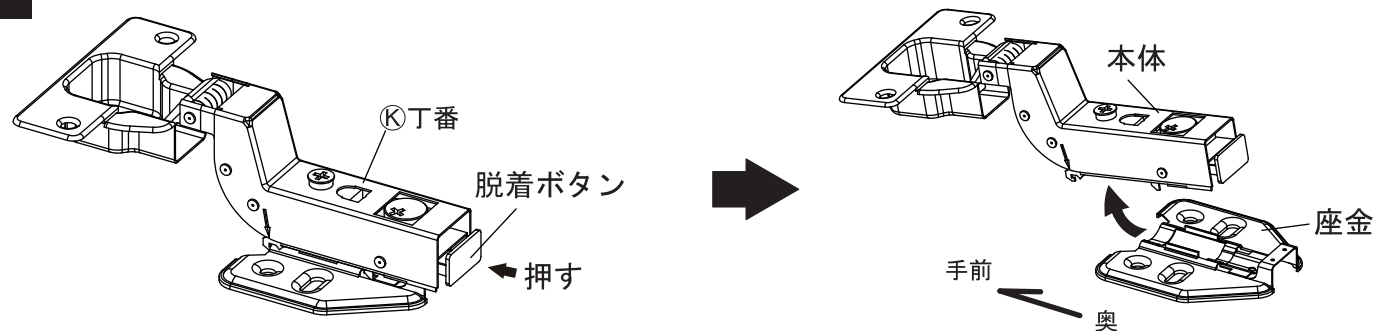
5

④天板に⑧配線受けを取り付けます。
 ⑧配線受けを④天板に乗せ、⑨六角レンチを使い⑩六角穴付き平ねじを回して締め付けてください。



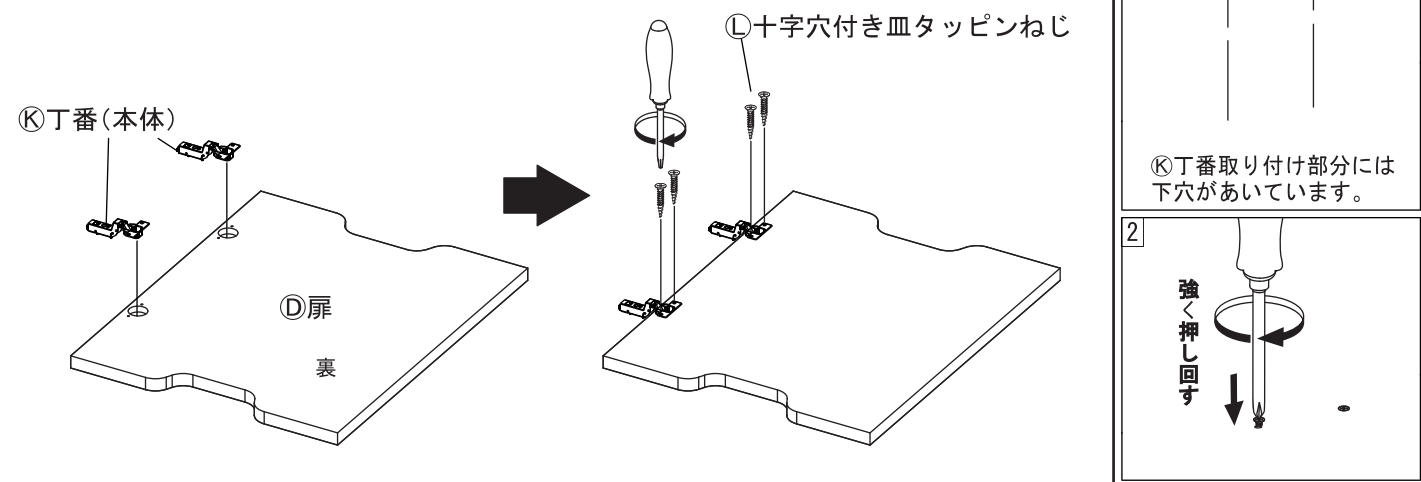
6

⑫丁番の脱着ボタンを押しながら丁番本体を座金から外してください。



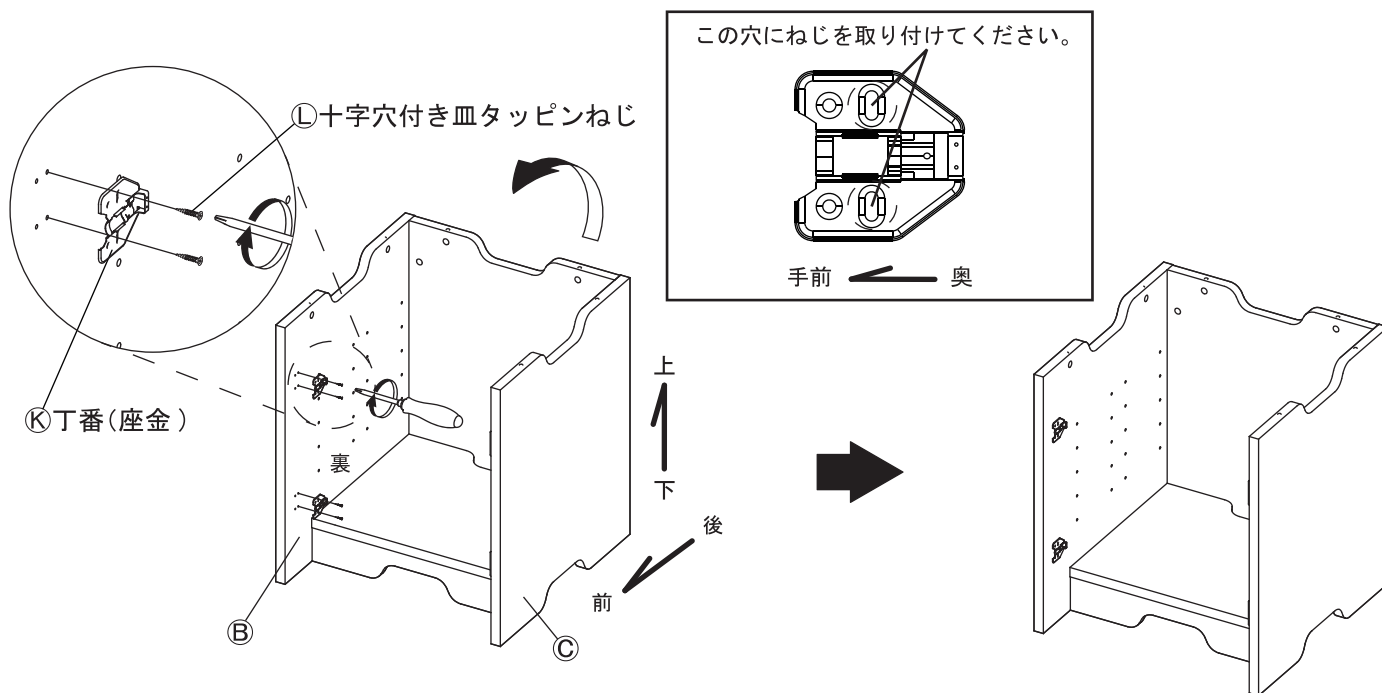
7

⑫丁番(本体)を⑬扉に取り付けてください。
 プラスドライバーで⑭十字穴付き皿タッピンねじを強く押し込みながら
 回し入れてください。



8

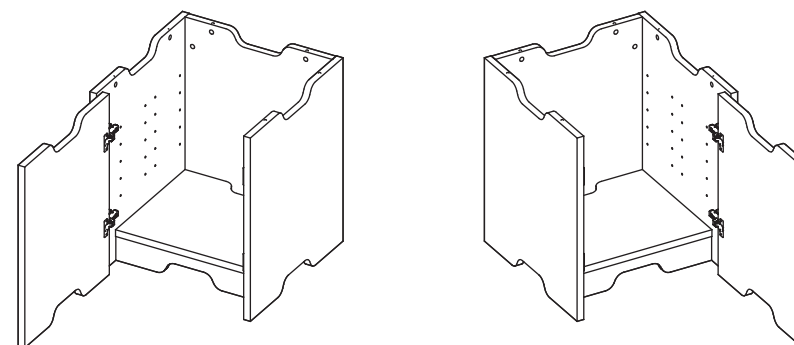
4で組み立てた本体を慎重に起こし、⑭十字穴付き皿タッピンねじで⑫丁番(座金)を⑧左側板または⑨右側板に
 取り付けます。プラスドライバーを使い、⑫丁番(座金)の奥側の楕円穴に⑭十字穴付き皿タッピンねじを
 強く押し込みながら回し入れ、側板と⑫丁番(座金)の間が2～3mm程度隙間が空くように緩めに締め付けてください。
 ※⑫丁番(座金)の向きにご注意ください。



＜丁番の取り付け位置＞

左開き

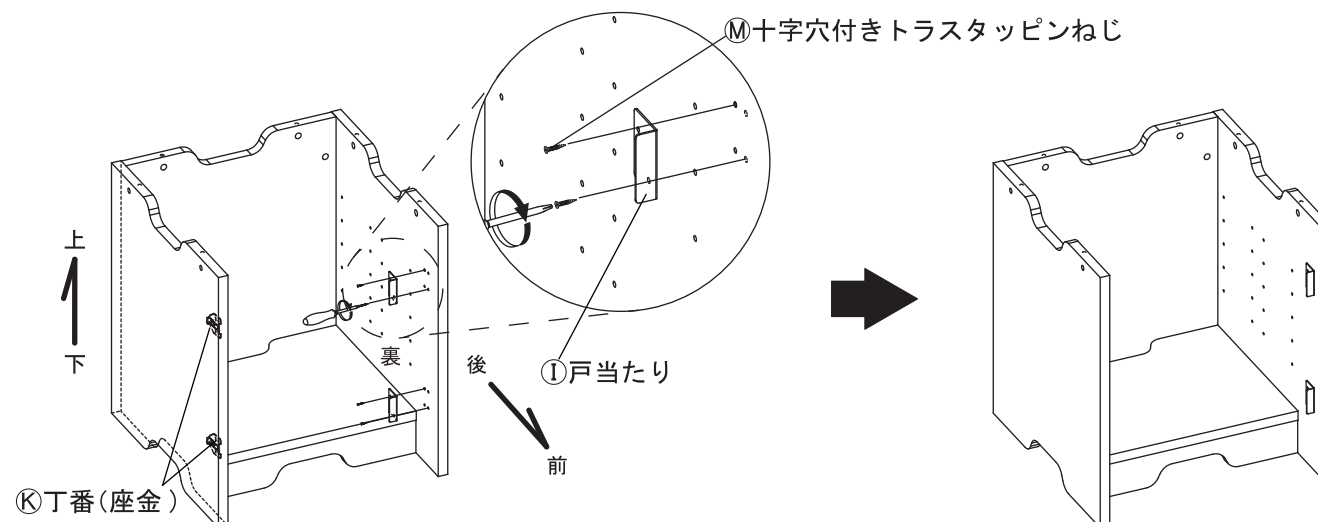
右開き



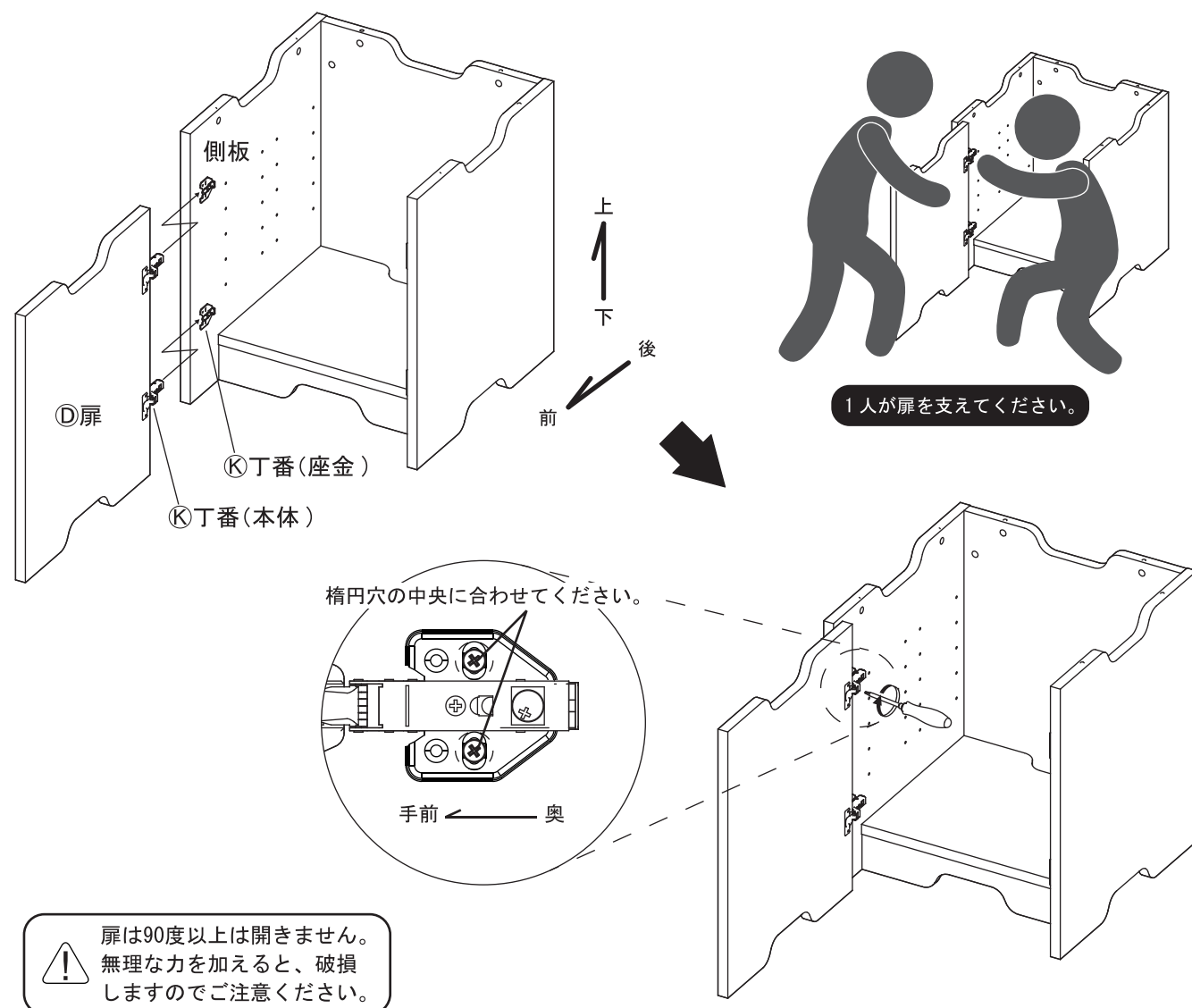
⑬扉は左開き、右開きをお選びいただけます。イラストを参考に扉の開く方向に合わせて⑫丁番を取り付けてください。

9

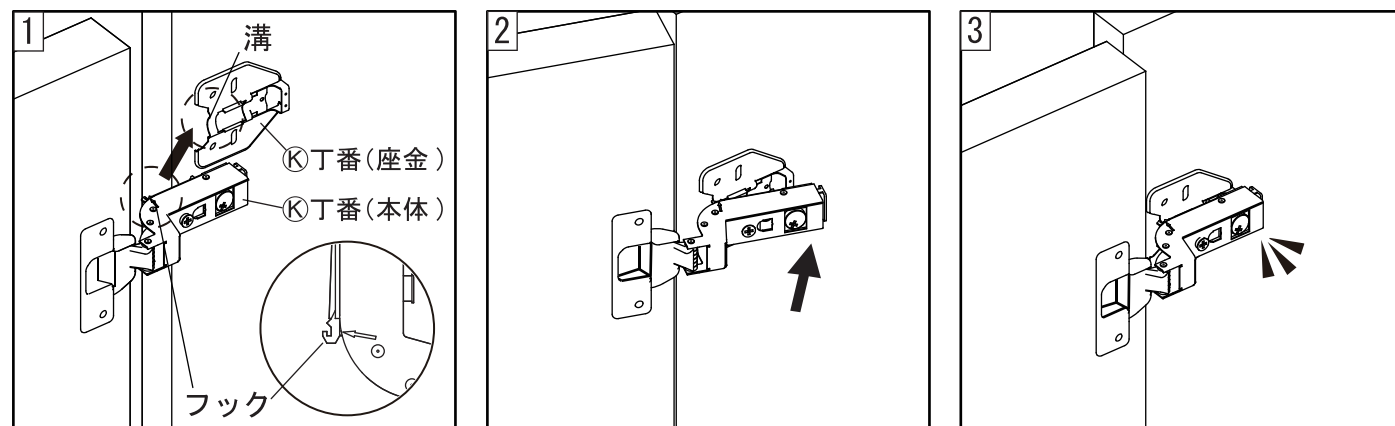
8で⑫丁番を取り付けた側板とは反対側の側板に①戸当たりを取り付けます。
 プラスドライバーで⑮十字穴付きトラスタッピンねじを強く押し込みながら回し入れてください。



8でK丁番(座金)を取り付けた側板にD扉を取り付けます。取り付けは必ず2人以上で行ってください。1人がD扉を持ち、側板に取り付けたK丁番(座金)にD扉に取り付けたK丁番(本体)の位置を合わせ、もう1人が下記のく丁番の取り付け方法>を参考に、各K丁番を取り付けてください。D扉を取り付けた後、K丁番(座金)奥側に取り付けたねじを楕円穴の中心に合わせ、締め付けてください。



< 丁番の取り付け方法 >

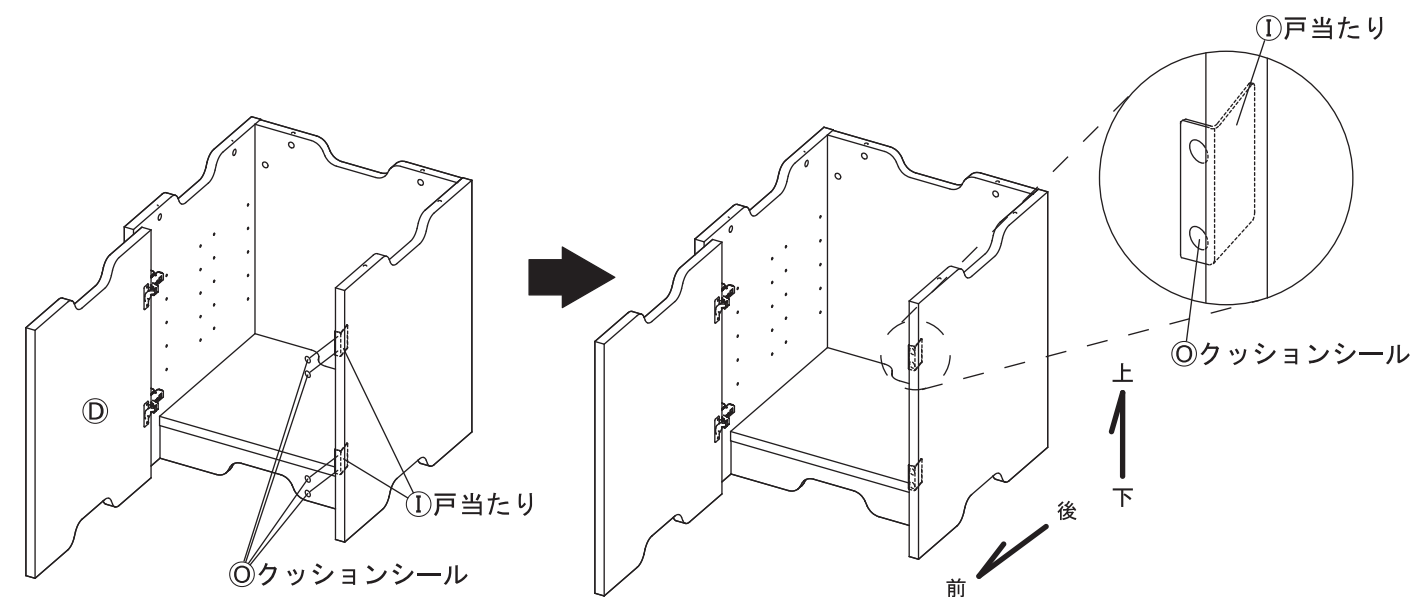


丁番本体のフックを座金の溝にはめ込みます。
※取り付けにくい場合は座金が浮くようにねじを緩めてください。

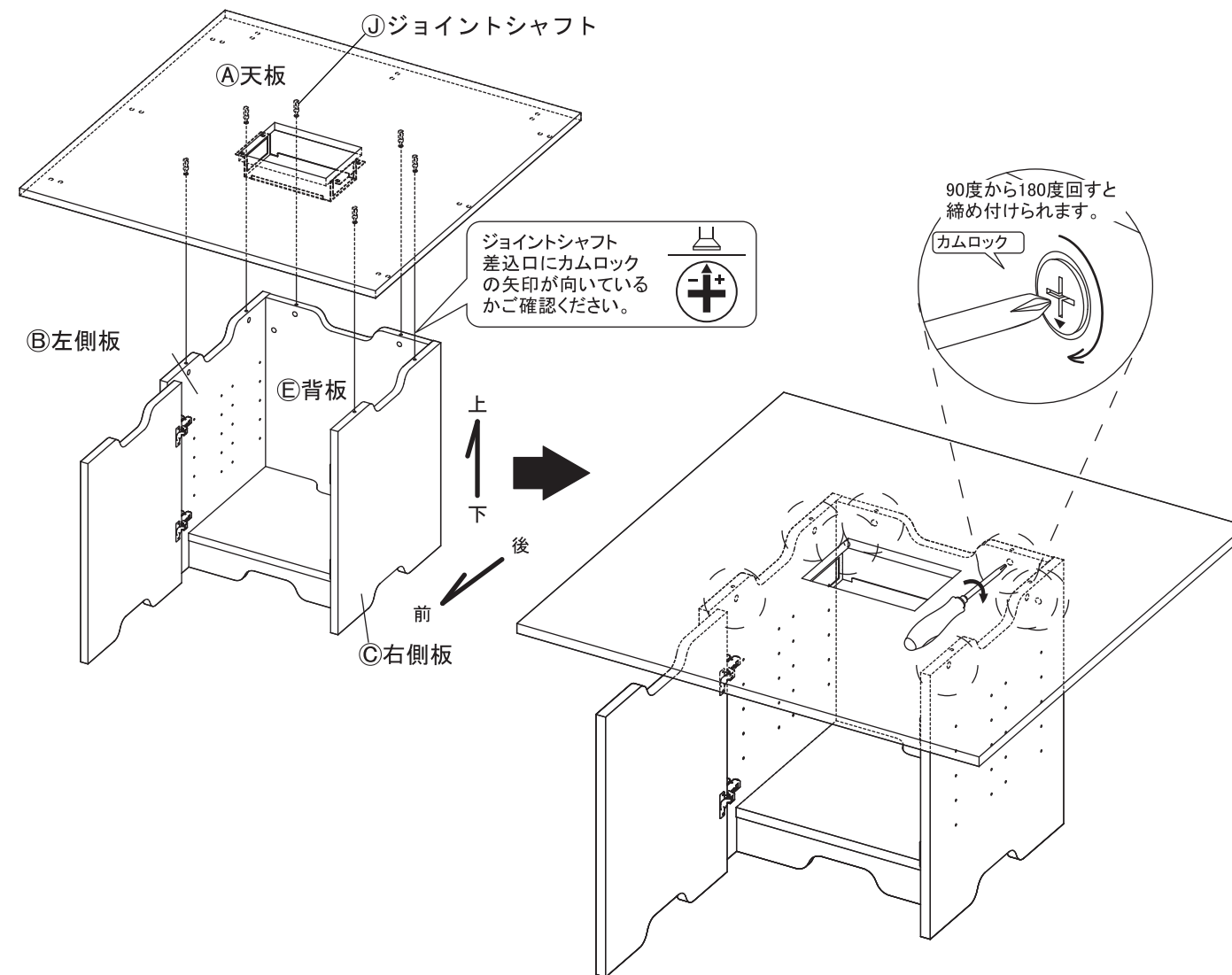
フックが溝にはまった状態で本体矢印部分を押し込みます。

カチッと音がするまで押し込めば、取り付け完了です。

①戸当りに②クッションシールを貼り付けます。図のように2枚ずつ、D扉が当たる部分に貼り付けてください。



A天板のJジョイントシャフトをB左側板とC右側板とE背板の横穴に差し込んでください。その後、B左側板とC右側板とE背板のカムロックを回して締め付けてください。■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

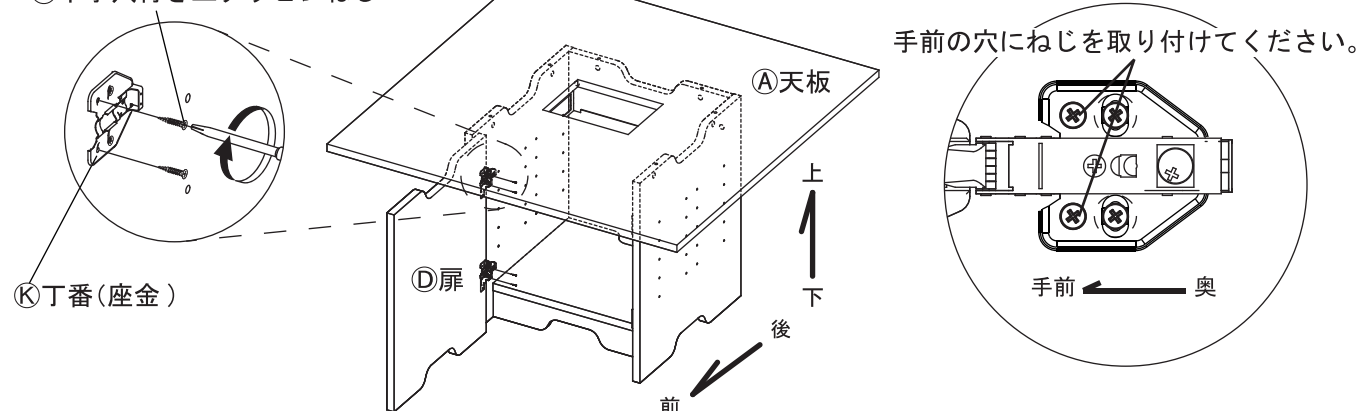


13

取り付けた④扉の位置を調整します。

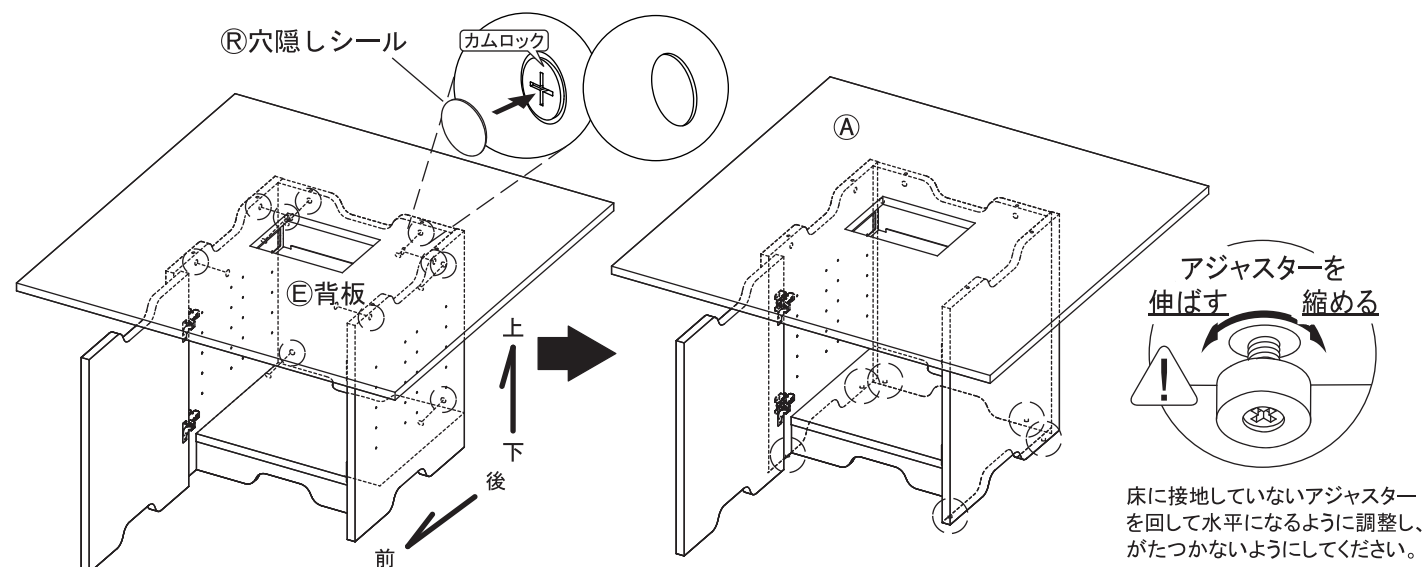
■ページ37の「く丁番の調整方法」を参考に、④扉が①天板と水平になるように調節してください。
その後、④丁番(座金)の手前の穴に①十字穴付き皿タッピンねじを締め付けます。

①十字穴付き皿タッピンねじ



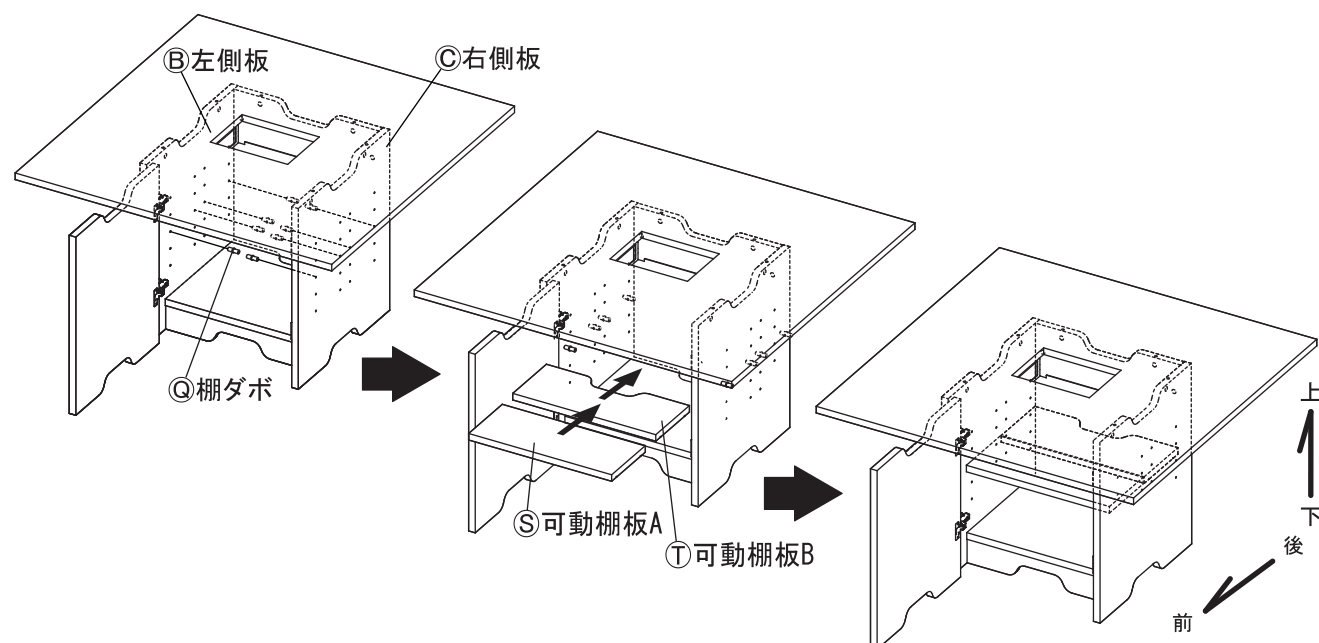
14

カムロックが全て正常に締め付けられていることを確認し、
⑤背板のすべてのカムロックに②穴隠しシールを貼り付けてください。
その後、①天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



15

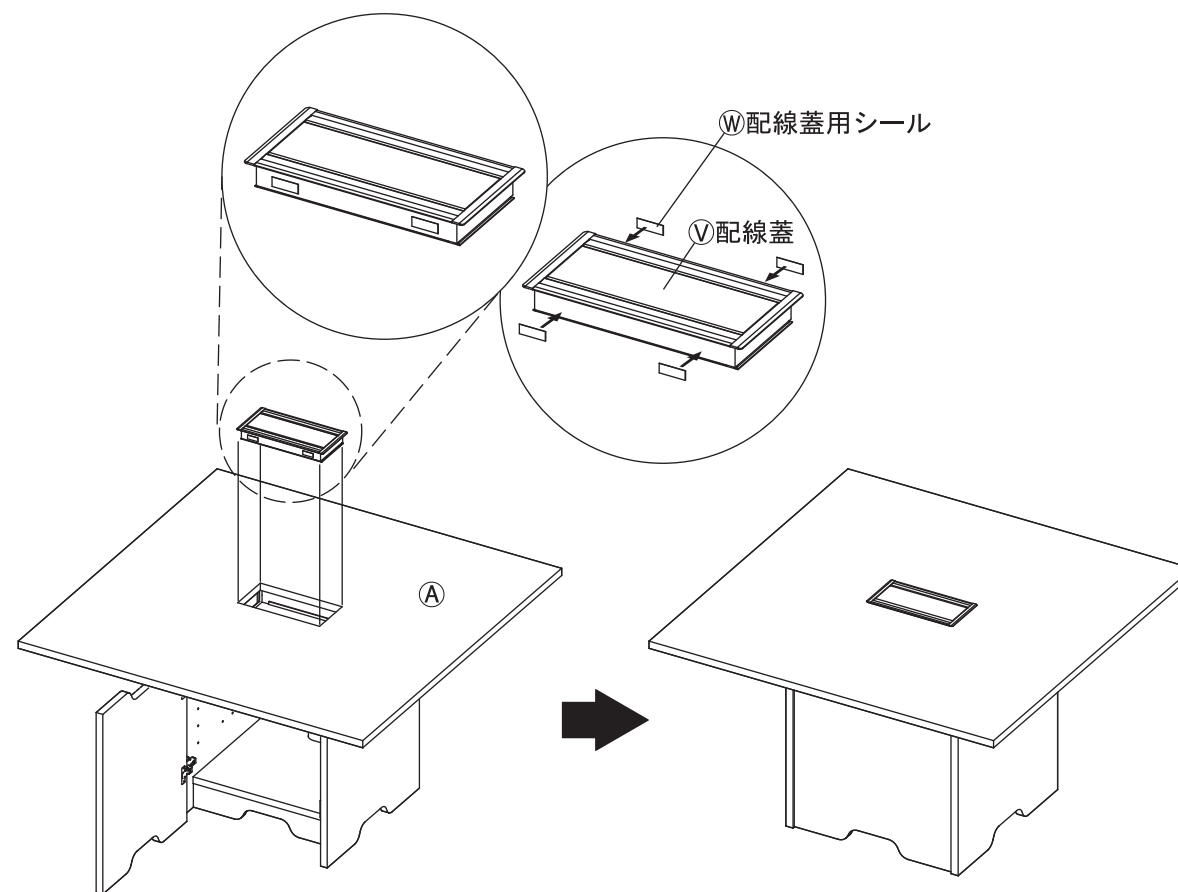
⑥左側板、⑦右側板のお好みの位置に⑧棚ダボを差し込み、
奥に⑨可動棚板B、手前に⑩可動棚板Aの順番で設置してください。



配線蓋仕様の場合 組み立て工程

16

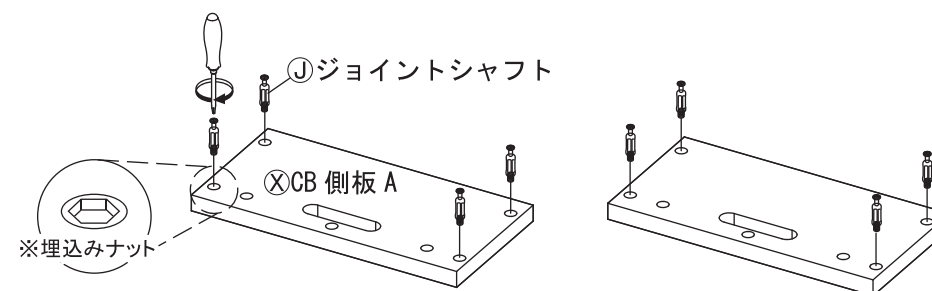
⑪配線蓋用シールの剥離紙を剥がし、⑪配線蓋の図の位置に貼り付けてください。
その後、①天板の中央の穴に⑪配線蓋を取り付けてください。



コンセントボックス仕様（グリーン付き仕様を含む）の場合 組み立て工程

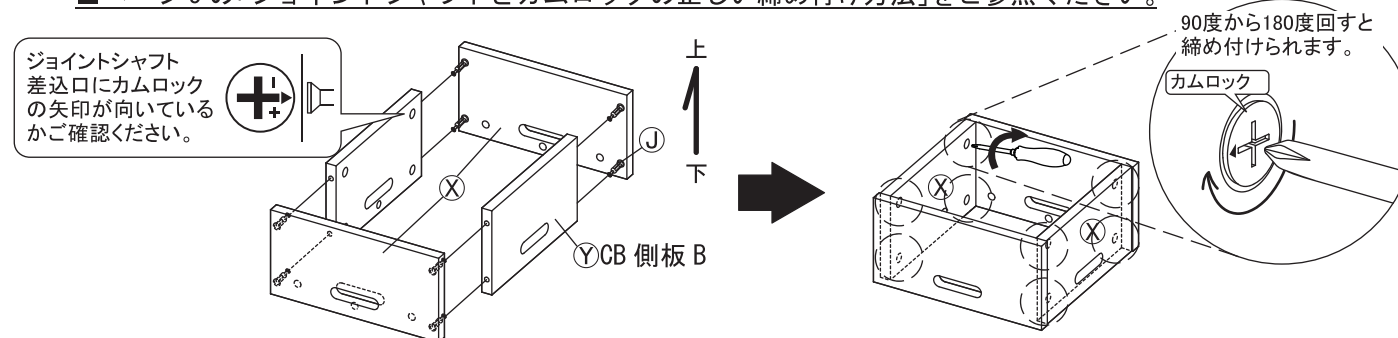
17

⑪CB 側板 A に⑪ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



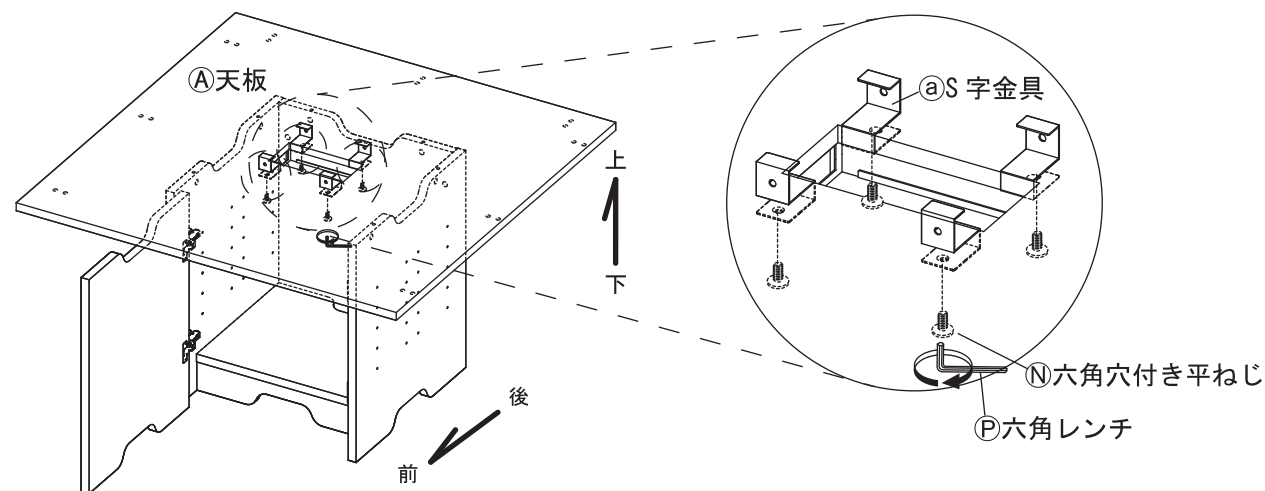
18

⑪CB 側板 A の⑪ジョイントシャフトを⑪CB 側板 B の横穴に差し込んでください。
その後、⑪CB 側板 B のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



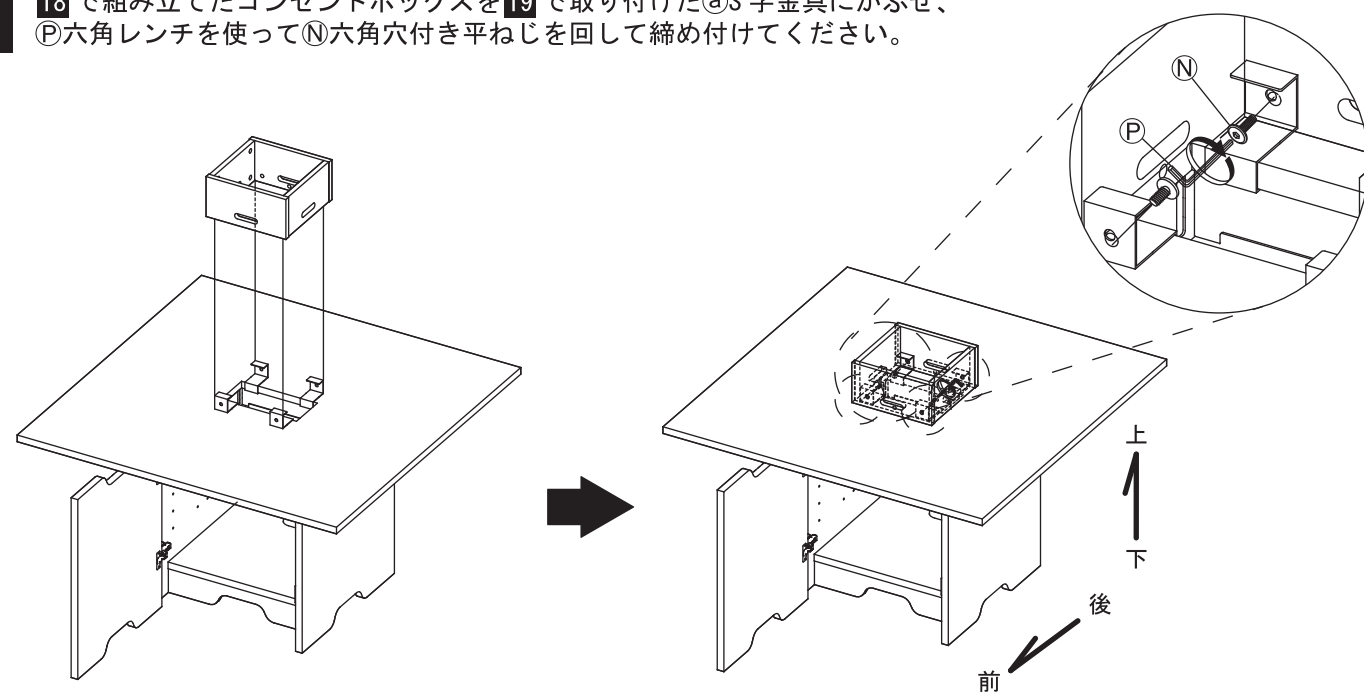
19

④天板の中央にある穴の縁に④S字金具を取り付けます。
④S字金具を穴の縁に図のように取り付け、⑥六角レンチを使い④六角穴付き平ねじを回して
緩めに締め付けてください。



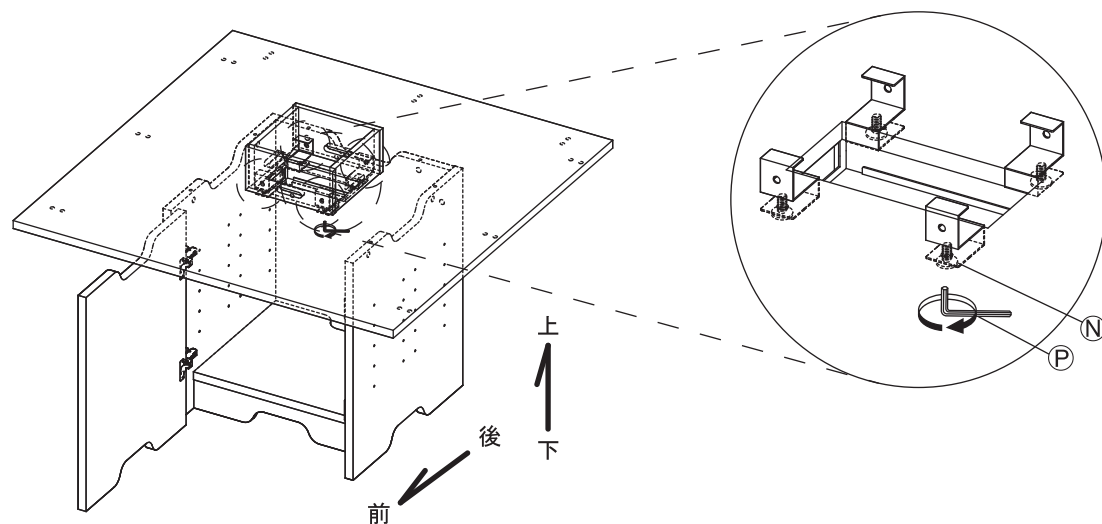
20

18で組み立てたコンセントボックスを19で取り付けた④S字金具にかぶせ、
⑥六角レンチを使って④六角穴付き平ねじを回して締め付けてください。



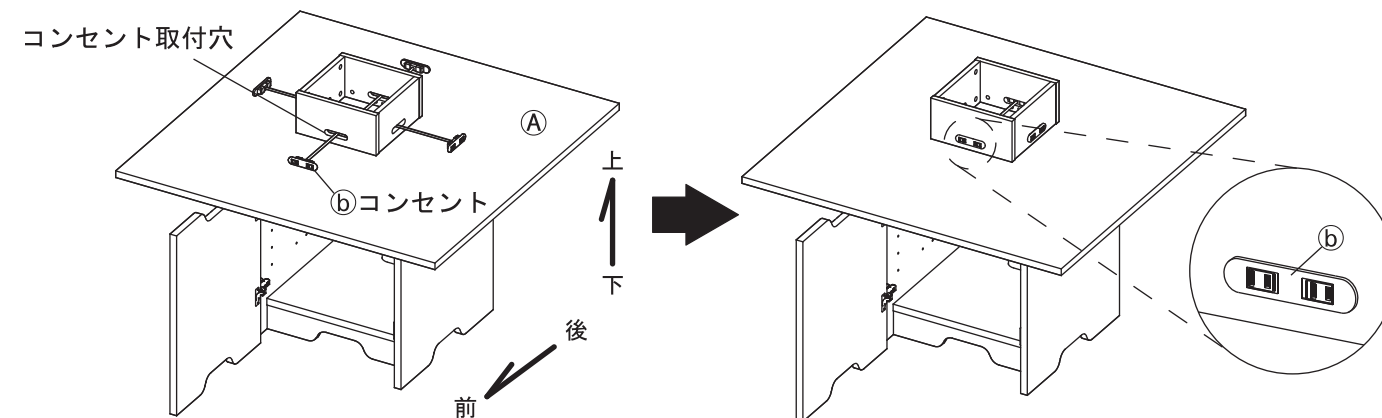
21

⑥六角レンチを使って19で取り付けた④六角穴付き平ねじを回して増し締めしてください。



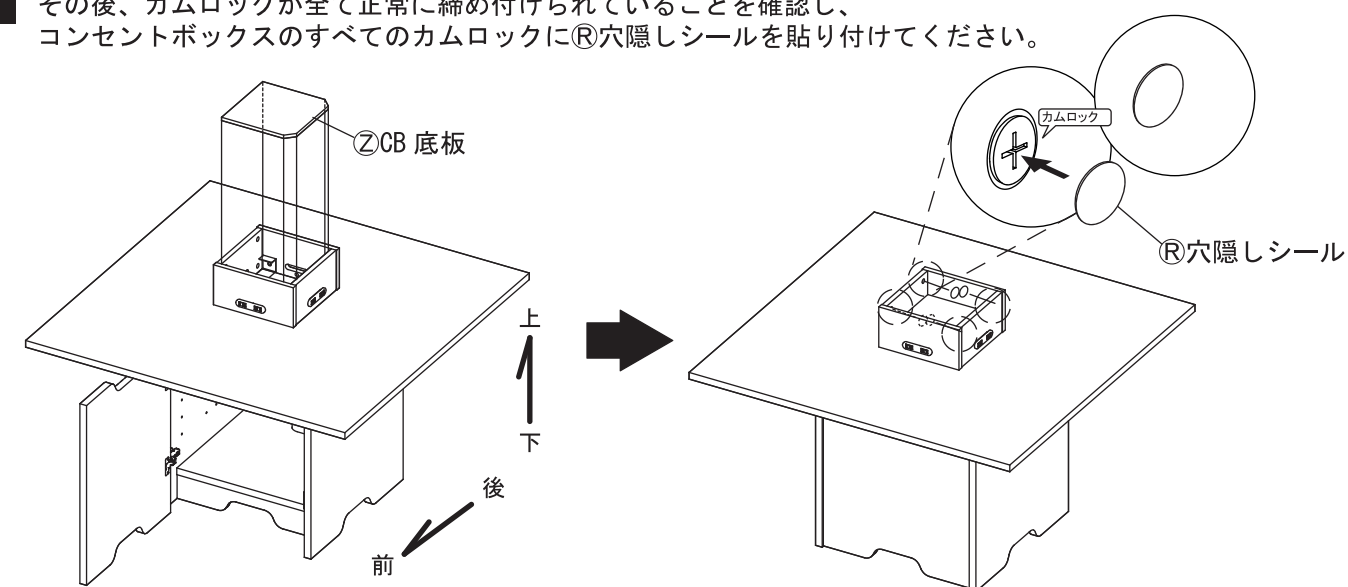
22

21で④天板に組み付けたコンセントボックスに⑥コンセントを取り付けます。
コンセントボックスにあるコンセント取付穴に⑥コンセントの差し込みプラグとコードを通してください。
その後、⑥コンセントをコンセントボックスにしっかりとめ込んでください。
※コンセントの金具で手を傷つけないようにご注意ください。



23

コンセントボックスに②CB底板を置いてください。
その後、カムロックが全て正常に締め付けられていることを確認し、
コンセントボックスのすべてのカムロックに⑧穴隠しシールを貼り付けてください。

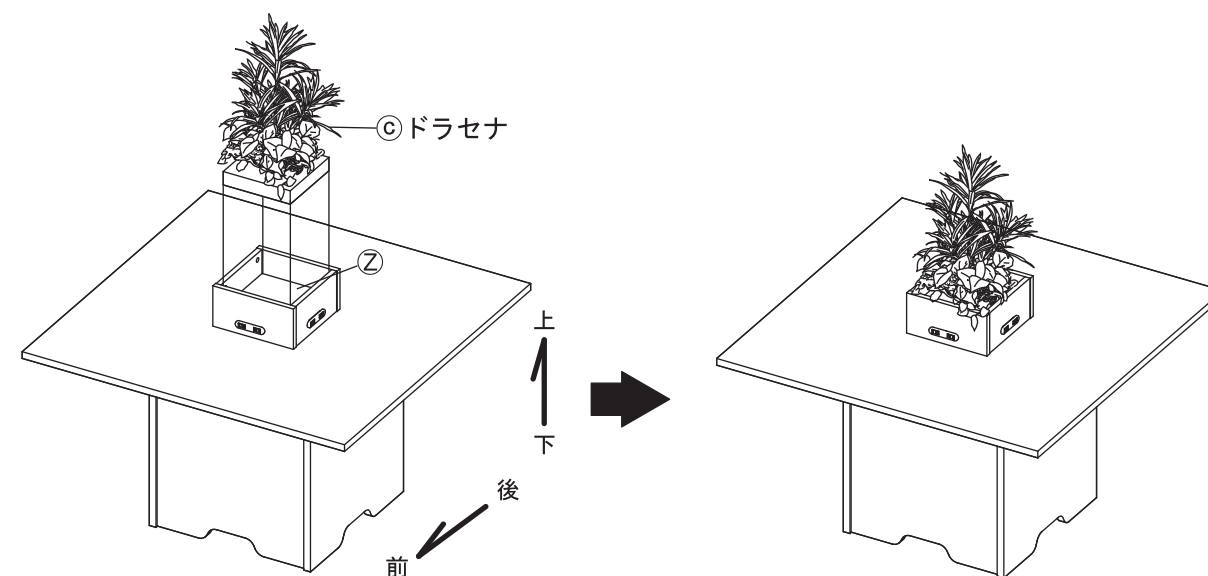


※コンセントをご使用になる前に、37ページ「コンセントに関する注意」をご確認ください。

グリーン付きの場合 組み立て工程

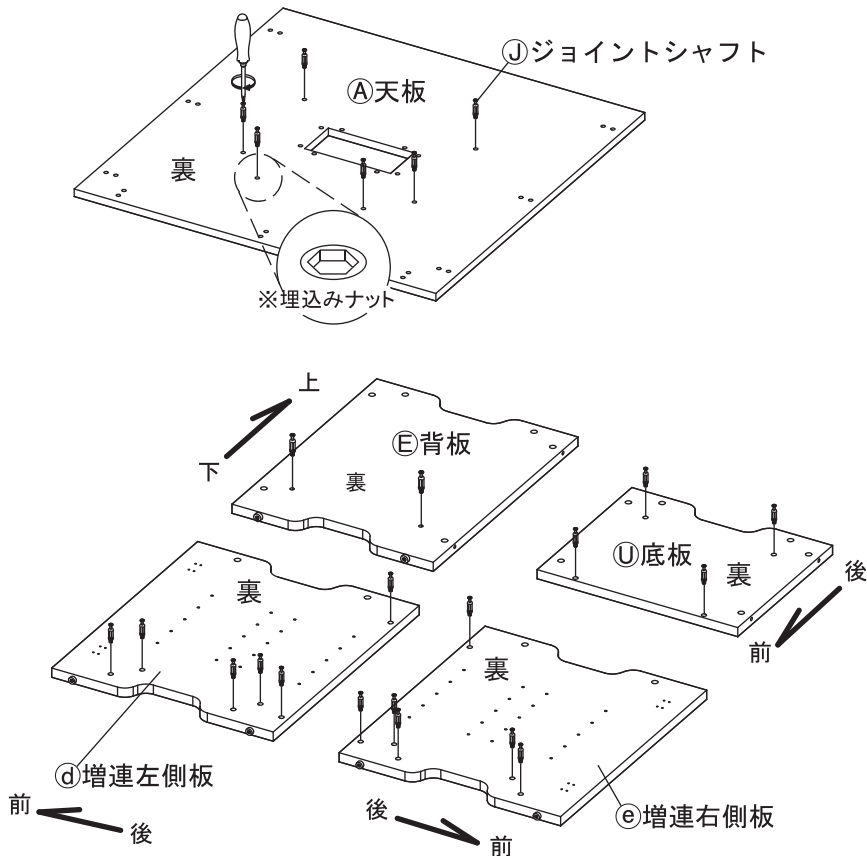
24

②CB底板の上に③ドラセナを置いてください。



二連（幅 2400 mm）以上 組み立て工程

- 25 ④天板、⑤背板、①底板、④増連左側板、⑤増連右側板に①ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

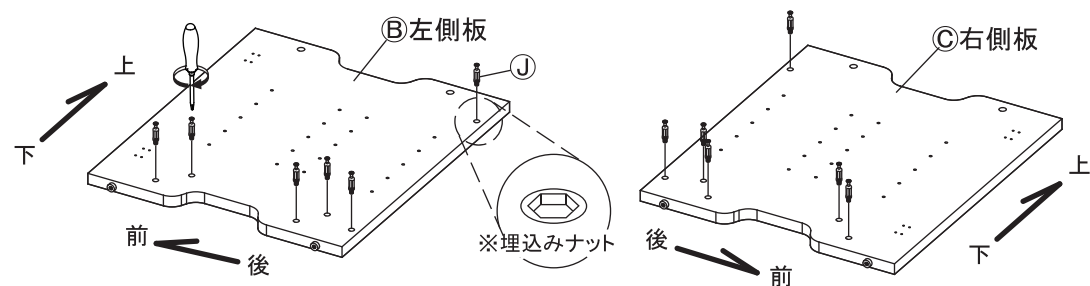


組立上の注意

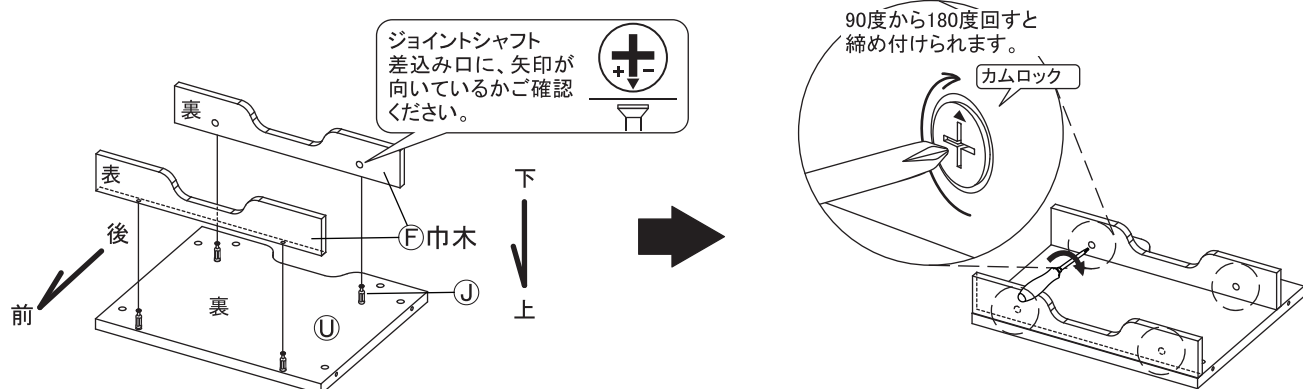
この工程で①ジョイントシャフトを取り付ける④天板、⑤背板、①底板、④増連左側板、⑤増連右側板の数は完成予定のテーブルの幅によって数が異なります。
テーブルの幅に応じて 25 の工程を必要台数分繰り返してください。

天板幅	④⑤①	④⑤
W2400	2 台分	1 台分
W3700	3 台分	2 台分
W4800	4 台分	3 台分
W6000	5 台分	4 台分
W7200	6 台分	5 台分

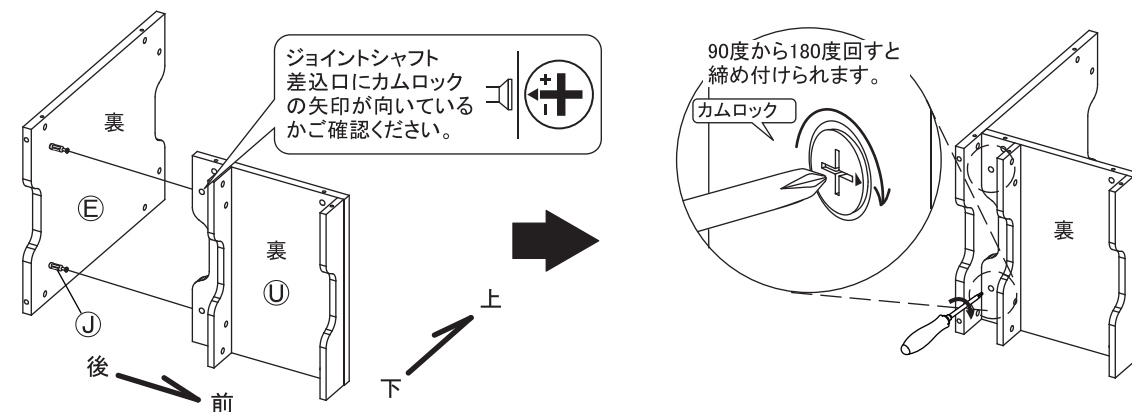
- 26 ②左側板、③右側板に①ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



- 27 ①底板の①ジョイントシャフトを⑥巾木の横穴に差し込んでください。
その後、⑥巾木のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



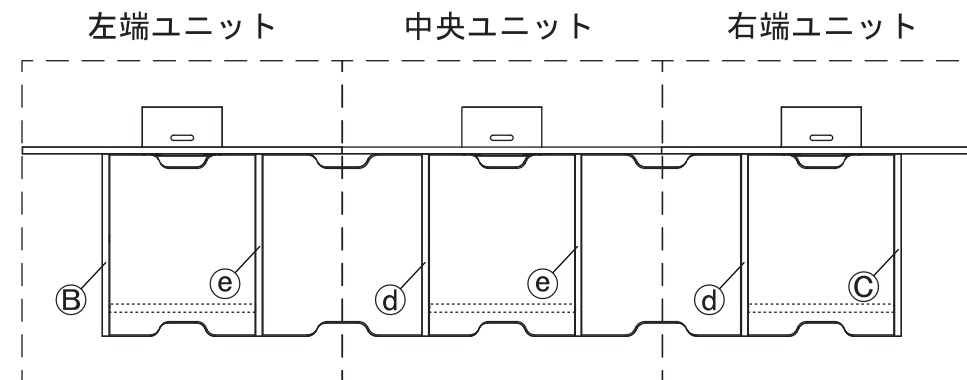
- 28 ⑤背板の①ジョイントシャフトを①底板の横穴に差し込んでください。
その後、①底板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



- 29 28で組み立てた部材に側板を取り付けます。
下記＜側板の組み合わせ方＞を参考に、対応する側板を取り付けてください。

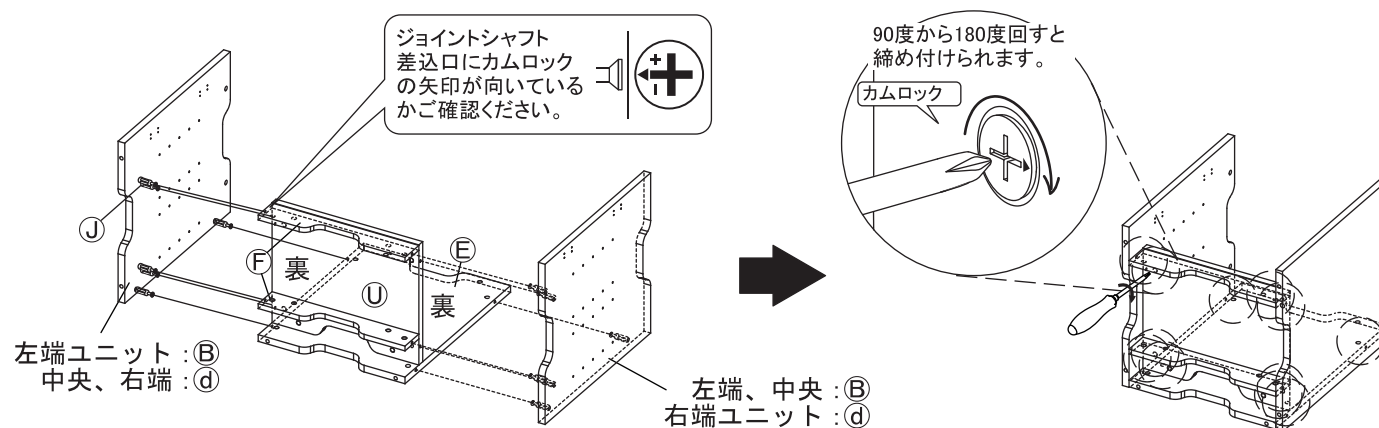
＜側板の組み合わせ方＞

扉側を正面にして、左端ユニットには②左側板と⑤増連右側板、中央ユニットには④増連左側板と⑤増連右側板、右端ユニットには④増連左側板と③右側板を組み合わせてください。



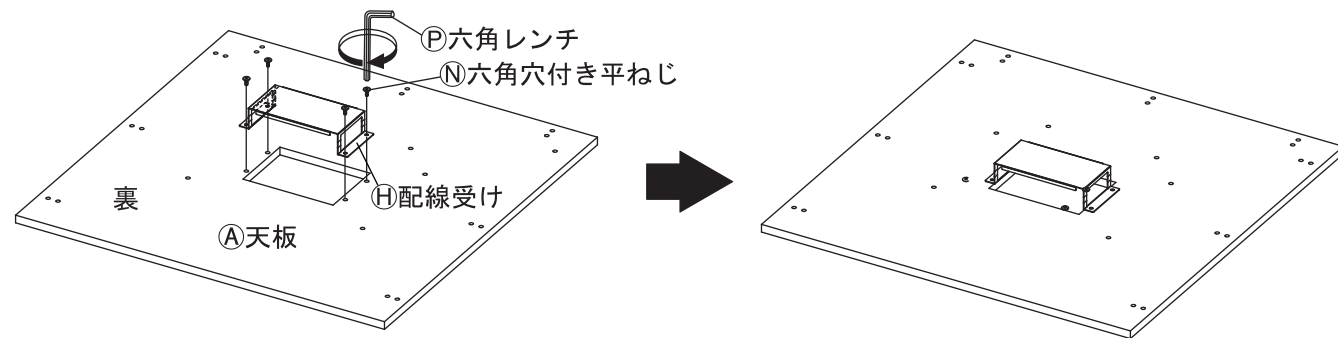
※「中央ユニット」は W3700 以上の組み合わせでのみ使用します。

- ②左側板または④増連左側板、③右側板または⑤増連右側板の①ジョイントシャフトを⑤背板と⑥巾木と①底板の横穴に差し込んでください。
その後、⑤背板と⑥巾木と①底板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

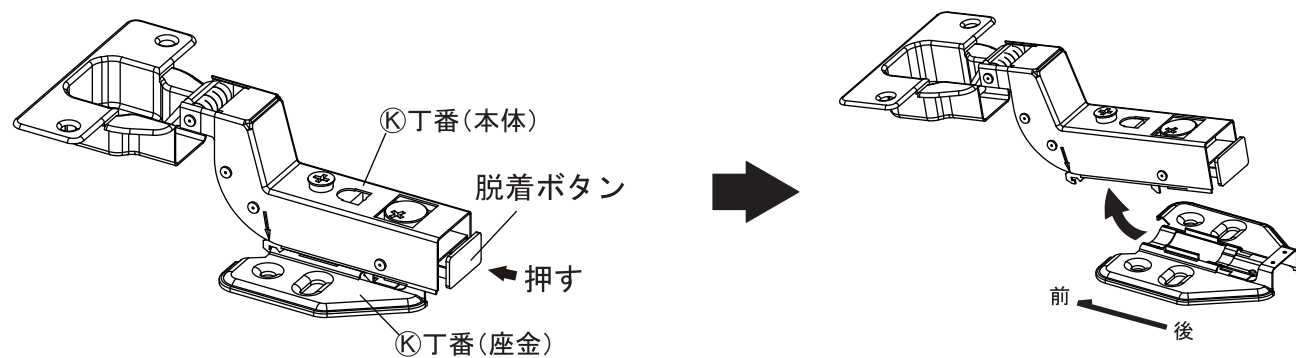


※27～29を必要台数分繰り返してください。

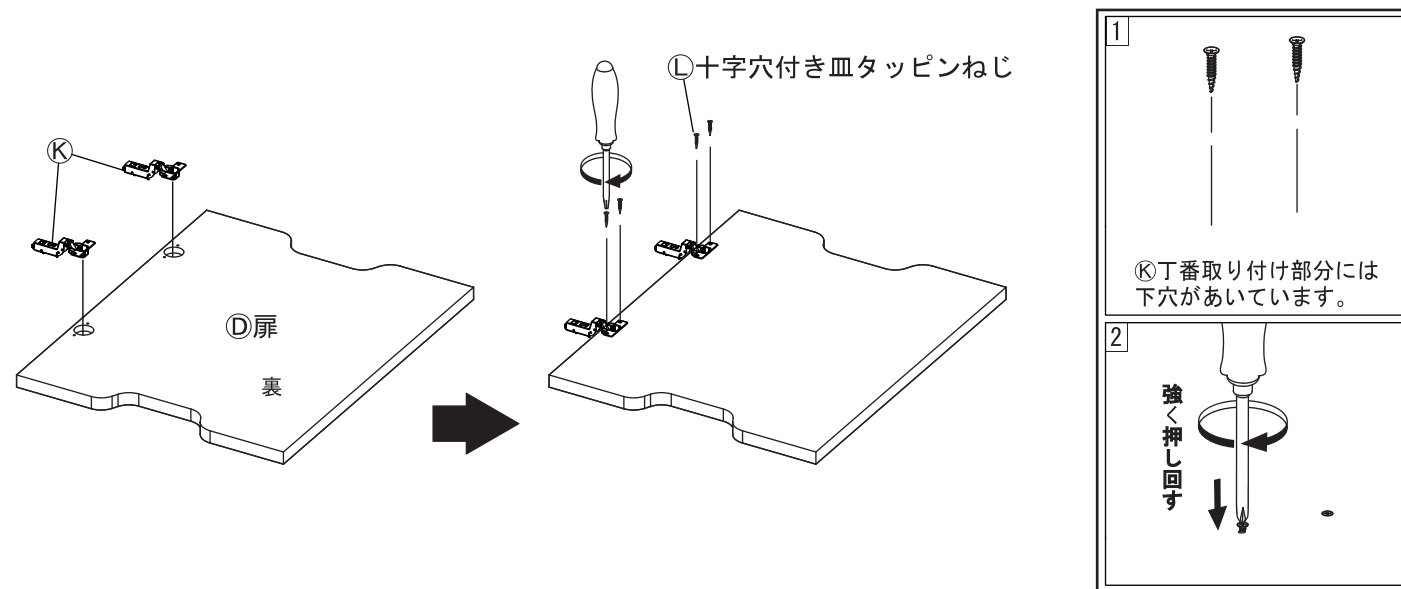
- 30 ①天板に①配線受けを取り付けます。
①配線受けを①天板に乗せ、②六角穴付き平ねじを③六角レンチを使い回して締め付けてください。



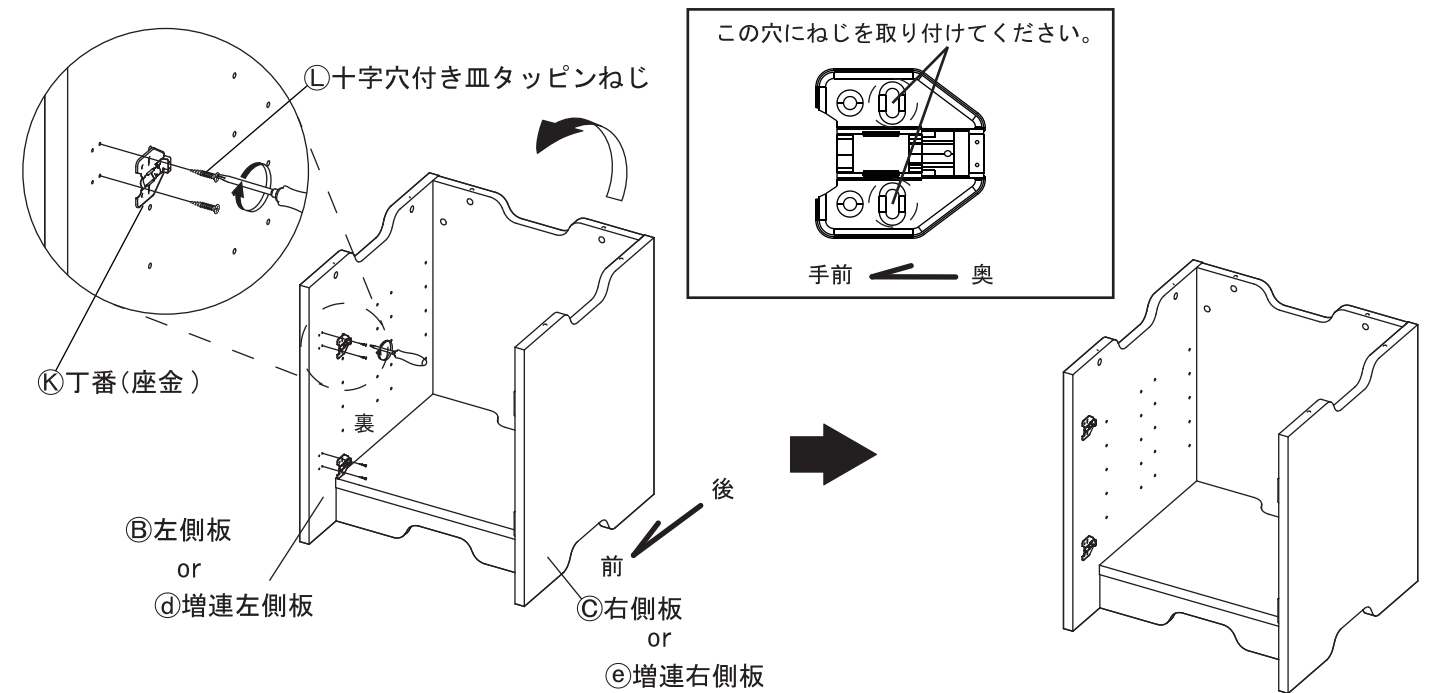
- 31 ④丁番本体の脱着ボタンを押しながら④丁番(本体)を④丁番(座金)から外してください。



- 32 ④丁番(本体)を④扉に取り付けてください。
プラスドライバーで④十字穴付き皿タッピンねじを強く押し込みながら回し入れてください。



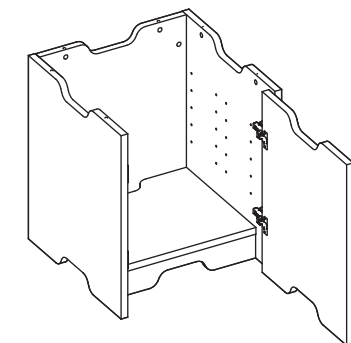
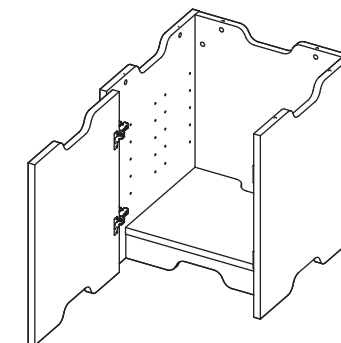
- 33 29で組み立てた本体を慎重に起こし、④十字穴付き皿タッピンねじで④丁番(座金)を④④左側板または④④右側板に取り付けます。プラスドライバーを使い、④丁番(座金)の奥側の楕円穴に④十字穴付き皿タッピンねじを強く押し込みながら回し入れ、側板と④丁番(座金)の間が2~3mm程度隙間が空くように緩めに締め付けてください。
※④丁番(座金)の向きにご注意ください。



< 丁番の取り付け位置 >

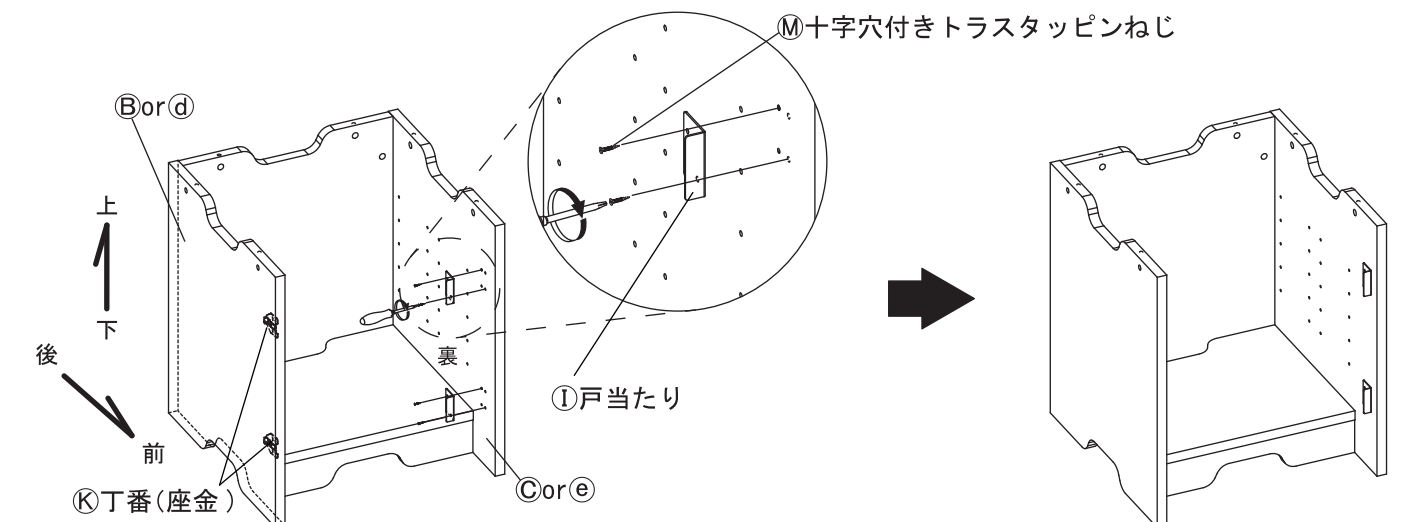
左開き

右開き

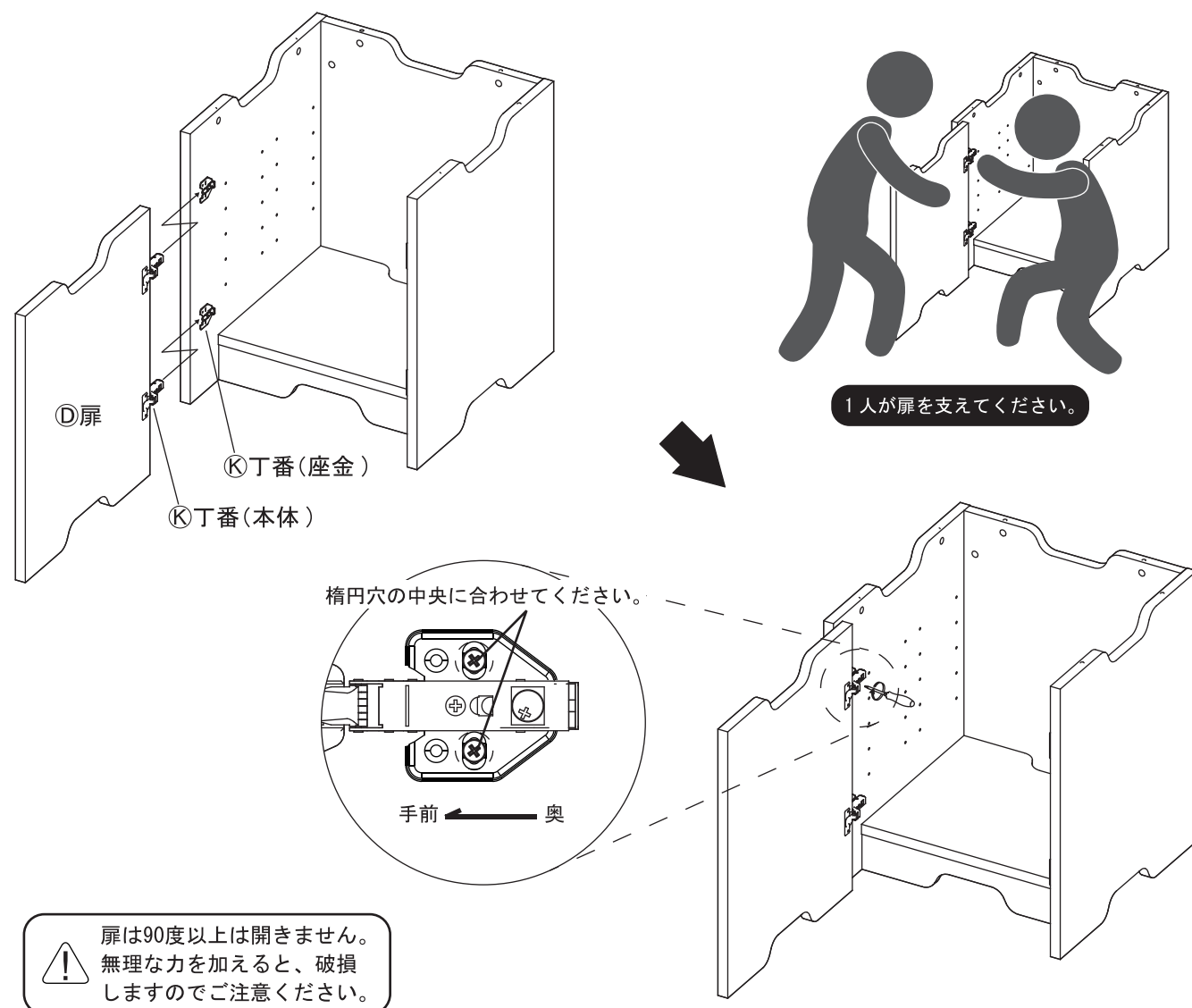


④扉は左開き、右開きをお選びいただけます。イラストを参考に扉の開く方向に合わせて④丁番を取り付けてください。

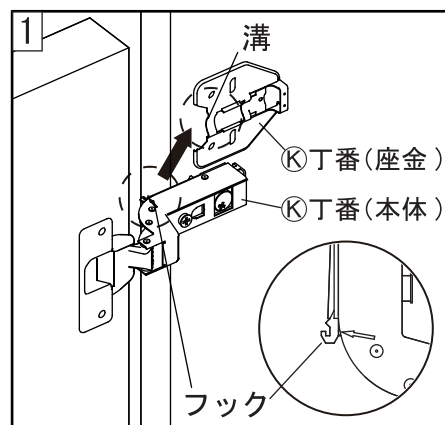
- 34 33で④丁番を取り付けた側板とは反対の側板に①戸当たりを取り付けます。
プラスドライバーで④十字穴付きトラスタッピンねじを強く押し込みながら回し入れてください。



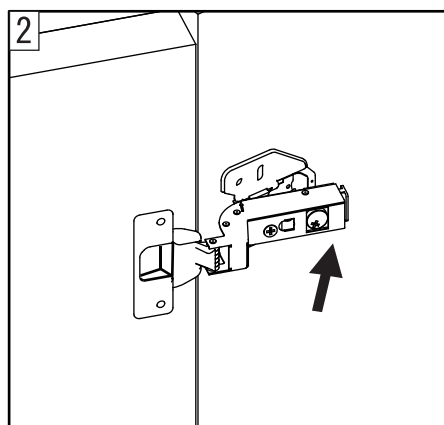
33でK丁番(座金)を取り付けた側板にD扉を取り付けます。取り付けは必ず2人以上で行ってください。1人がD扉を持ち、側板に取り付けたK丁番(座金)にD扉に取り付けたK丁番(本体)の位置を合わせ、もう1人が下記のく丁番の取り付け方法>を参考に、各K丁番を取り付けてください。D扉を取り付けた後、K丁番(座金)奥側に取り付けたねじを楕円穴の中心に合わせ、締め付けてください。



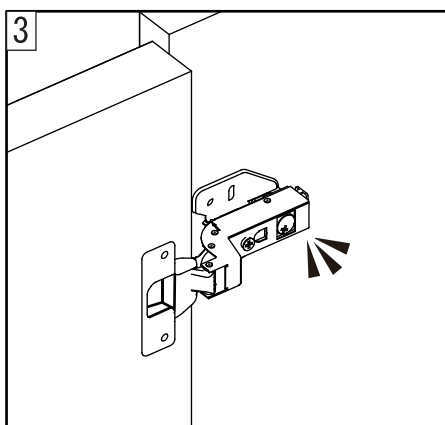
< 丁番の取り付け方法 >



丁番本体のフックを座金の溝にはめ込みます。
※取り付けにくい場合は座金が浮くようにねじを緩めてください。

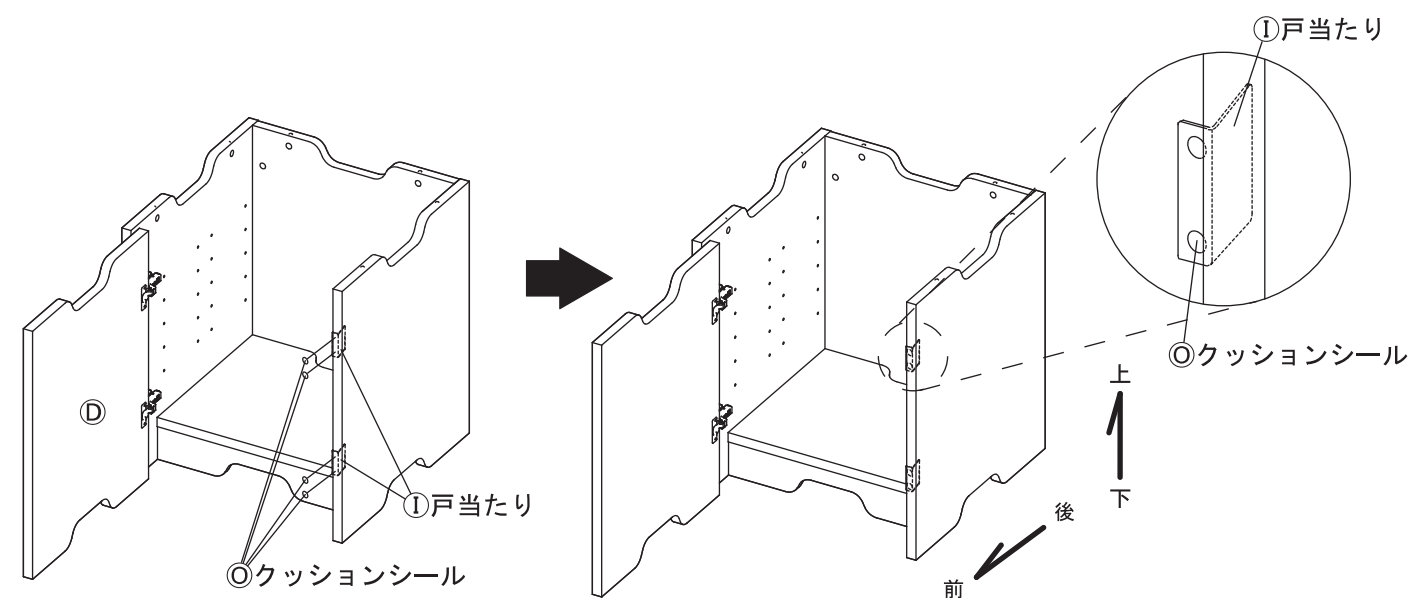


フックが溝にはまった状態で本体矢印部分を押し込みます。

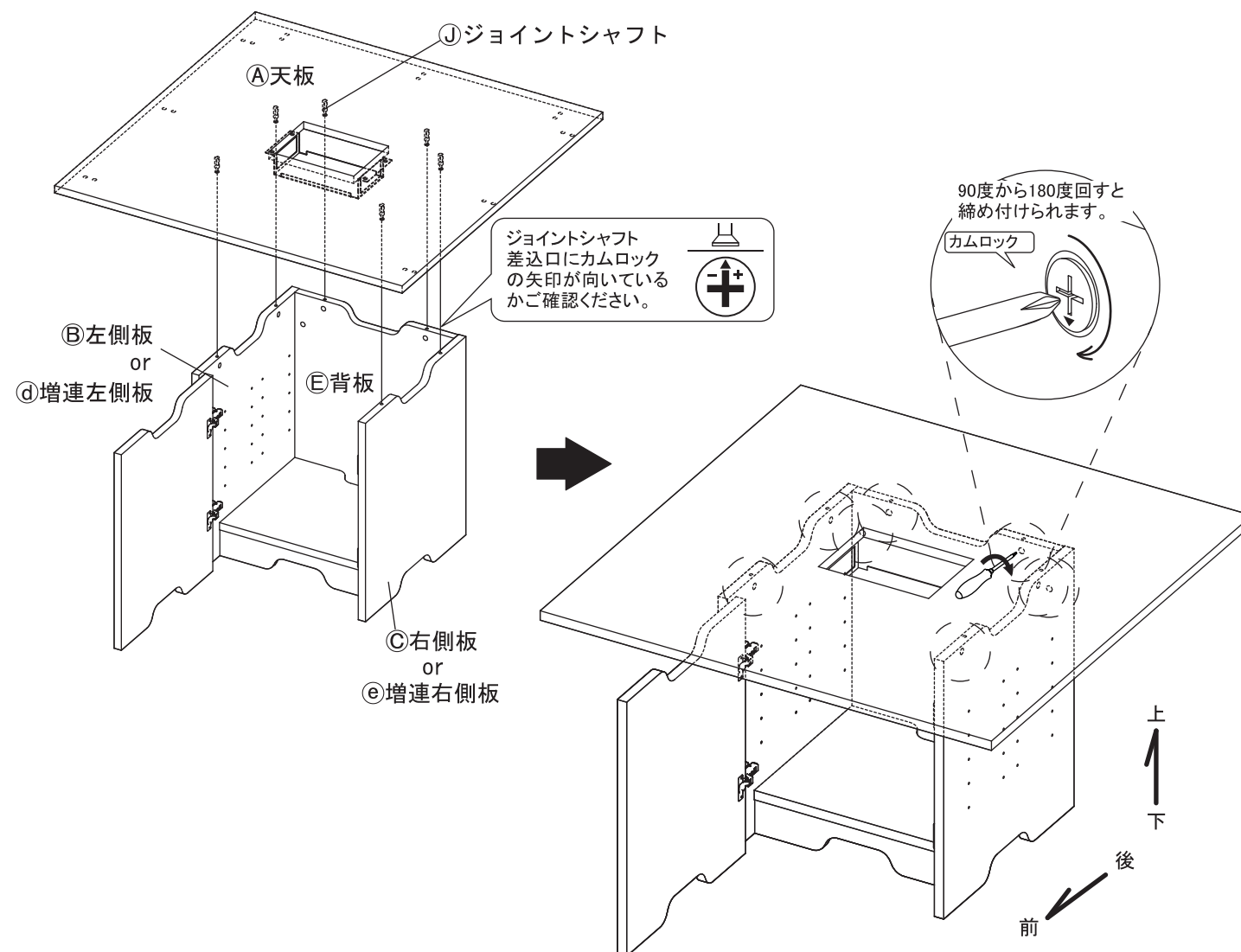


カチッと音がするまで押し込めば、取り付け完了です。

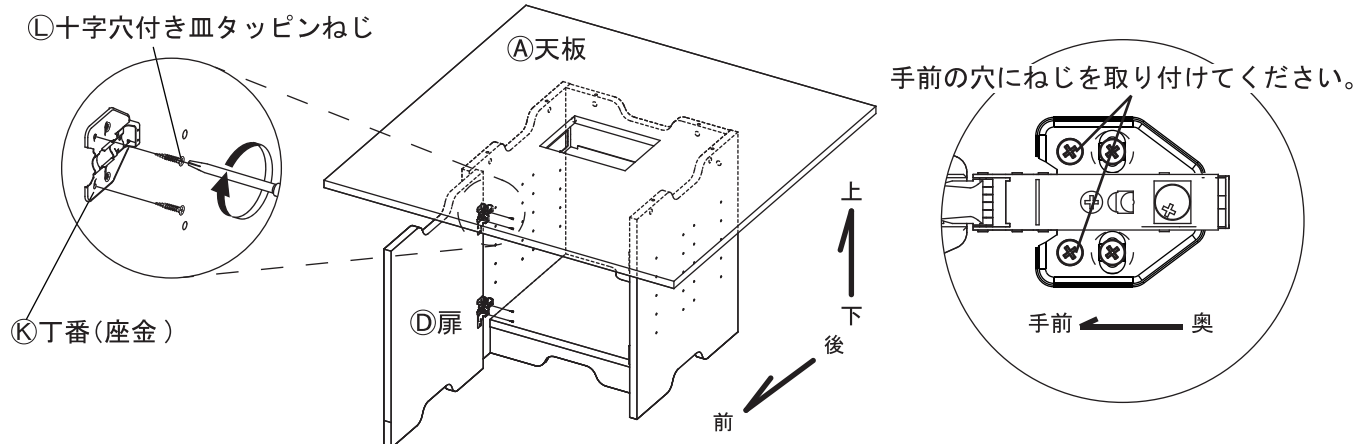
①戸当りに○クッションシールを貼り付けます。
D扉が当たる部分に、図のように2枚ずつ貼り付けてください。



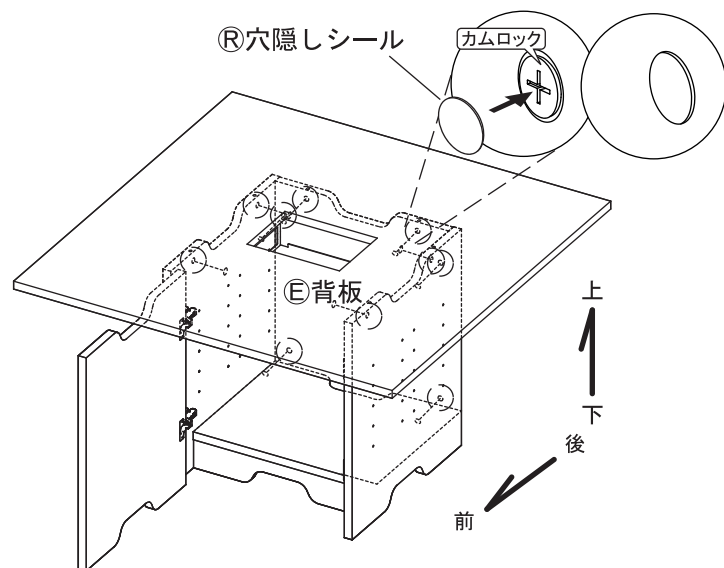
A天板のJジョイントシャフトをE背板とB左側板またはD増連左側板、C右側板またはE増連右側板の横穴に差し込んでください。その後、E背板とB左側板またはD増連左側板、C右側板またはE増連右側板のカムロックを回して締め付けてください。
■ ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



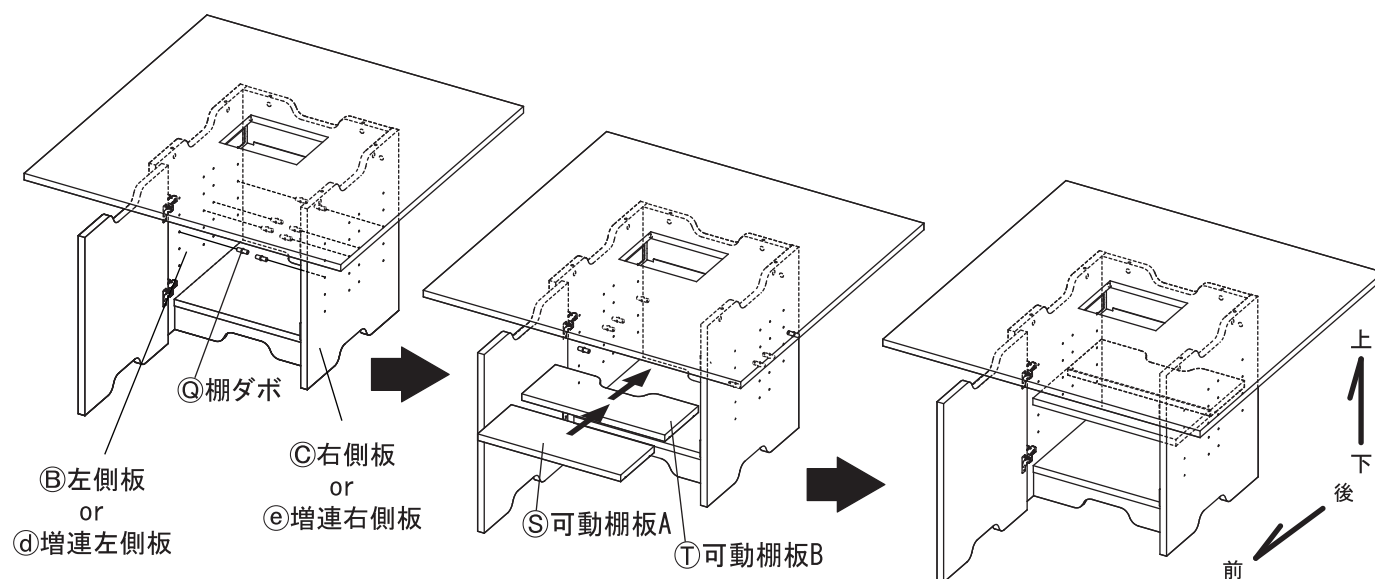
38 取り付けしたD扉の位置を調整します。
■ページ37の「く丁番の調整方法」を参考に、D扉がA天板と水平になるように調節してください。
その後、K丁番(座金)の手前の穴にL十字穴付き皿タッピンねじを締め付けます。



39 カムロックが全て正常に締め付けられていることを確認し、
E背板のすべてのカムロックにR穴隠しシールを貼り付けてください。



40 B左側板またはd増連左側板、C右側板またはe増連右側板のお好みの位置にQ棚ダボを差し込み、
奥にT可動棚板B、手前にS可動棚板Aの順番で設置してください。

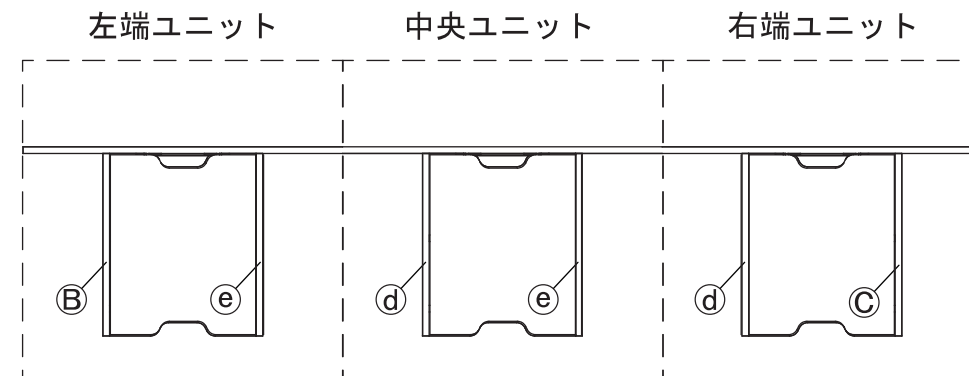


※30~40を必要台数分繰り返してください。

41 必要台数が組みあがった後、組みあがった本体のA天板同士を連結させます。
下記「ユニットの組み合わせ方」を参考に、すべてのユニットのA天板同士を横に並べてください。

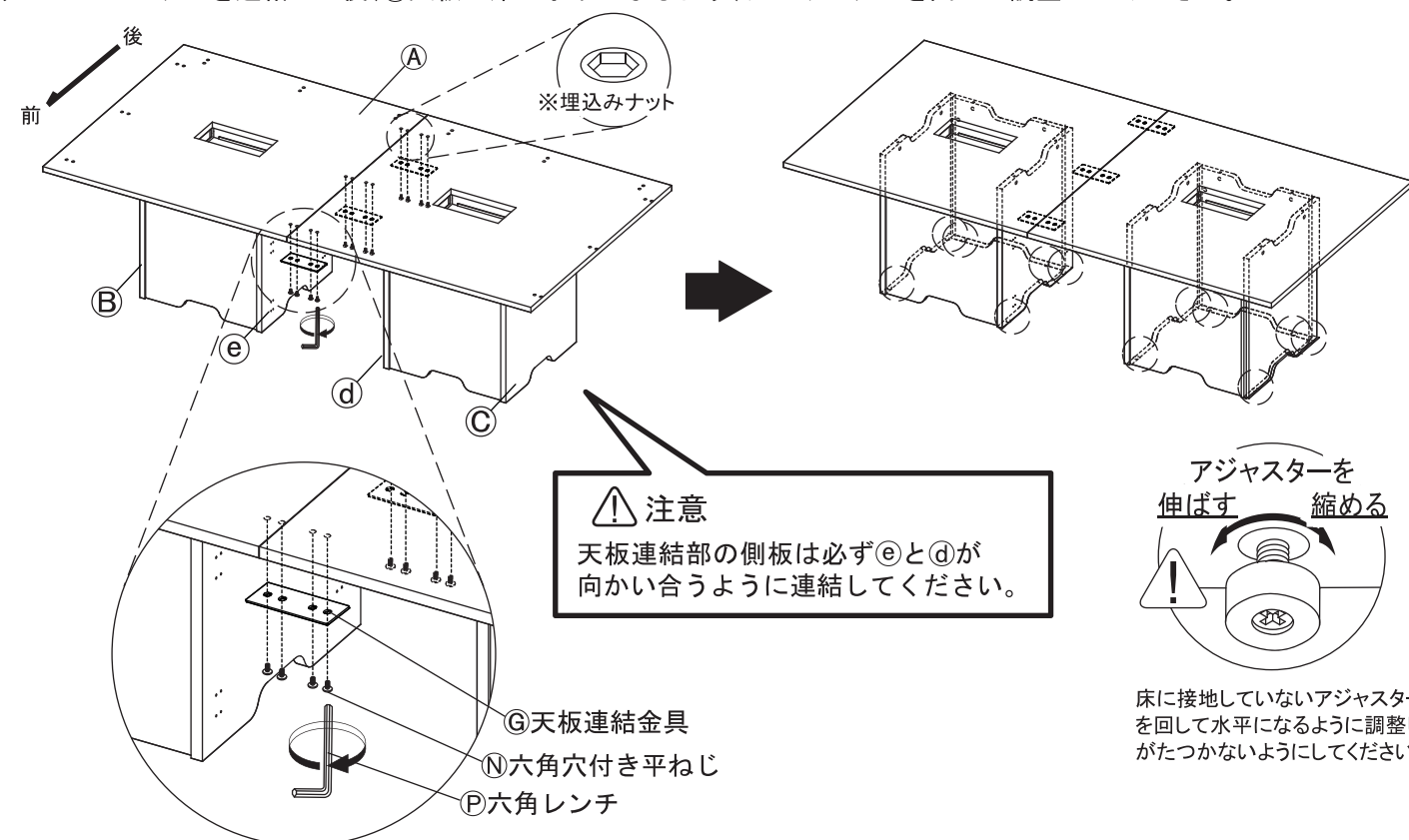
「ユニットの組み合わせ方」

d増連左側板とe増連右側板が向かい合うようにユニットのA天板同士を横に並べてください。
(d,eの外側にはK丁番を取り付ける為の下穴が開いています。)

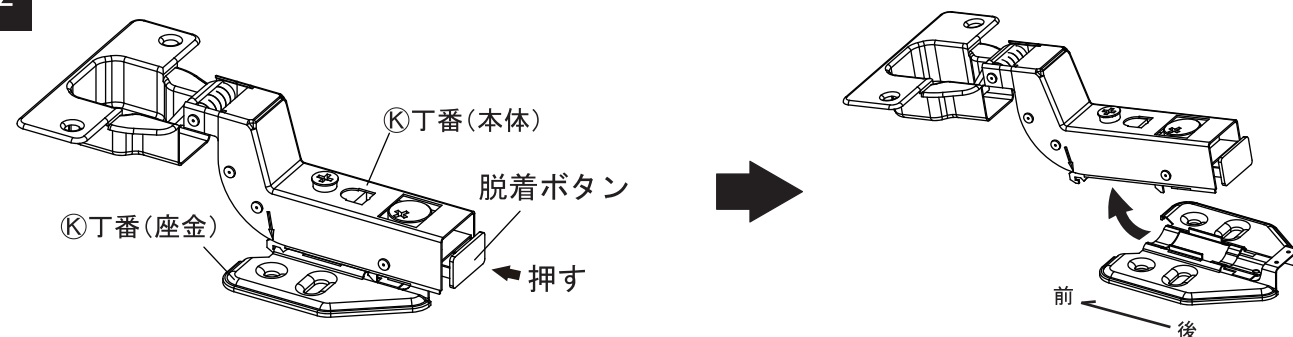


※「中央ユニット」はW3700以上の組み合わせでのみ使用します。

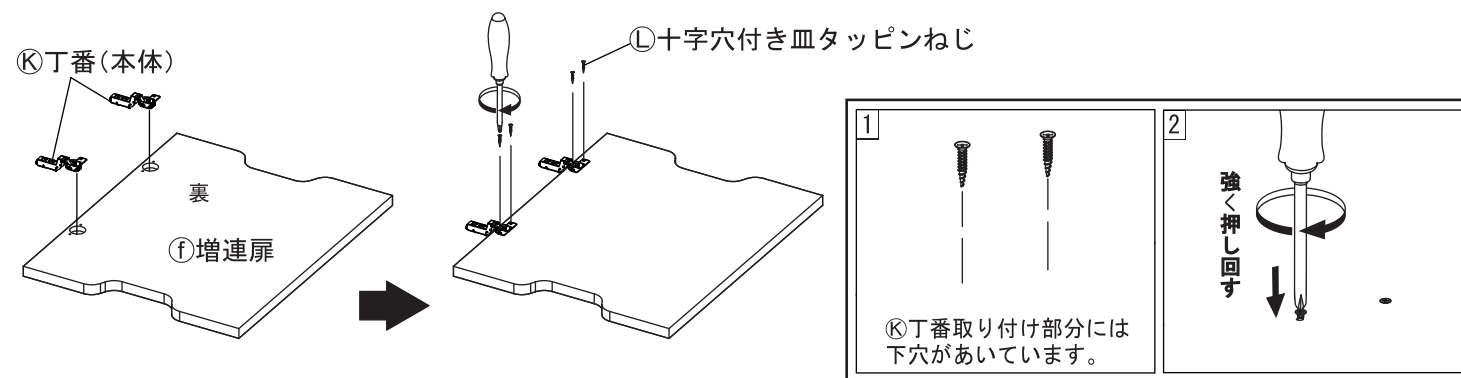
A天板の裏にある埋め込みナットにG天板連結金具を取り付けます。
G天板連結金具の穴を埋め込みナットに合わせ、P六角レンチを使いN六角穴付き平ねじを回して締め付けてください。
すべてのユニットを連結した後、A天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



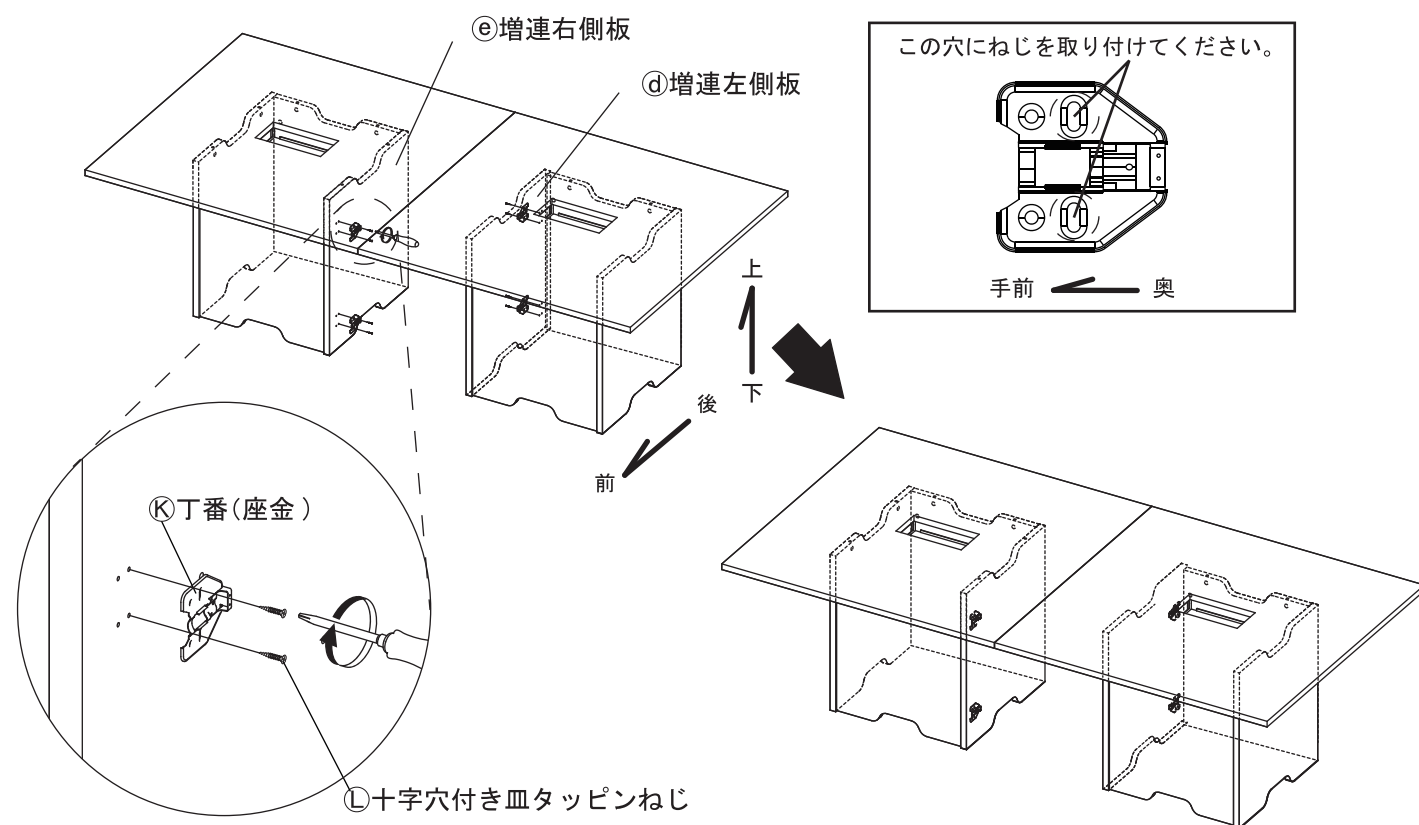
42 K丁番(本体)の脱着ボタンを押しながらK丁番(本体)をK丁番(座金)から外してください。



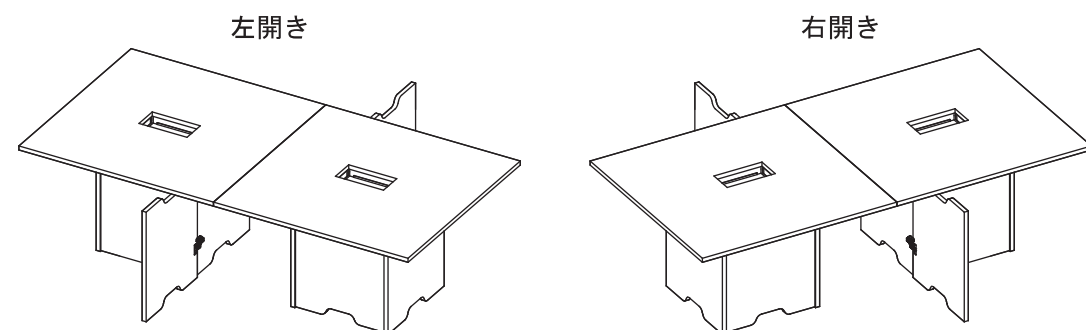
43 ㊦丁番(本体)を㊦増連扉に取り付けてください。
プラスドライバーで㊦十字穴付き皿タッピンねじを強く押し込みながら回し入れてください。
※㊦扉と㊦増連扉はサイズが異なります。(㊦<㊦) ご確認の上取り付けてください。



44 ㊦十字穴付き皿タッピンねじで㊦丁番(座金)を㊦増連左側板または㊦増連右側板に取り付けます。
プラスドライバーを使い、㊦丁番(座金)の楕円穴に㊦十字穴付き皿タッピンねじを強く押し込みながら回し入れ、
増連側板と㊦丁番(座金)の間が2~3mm程度隙間が空くように緩めに締め付けてください。
※㊦丁番(座金)の向きに注意ください。

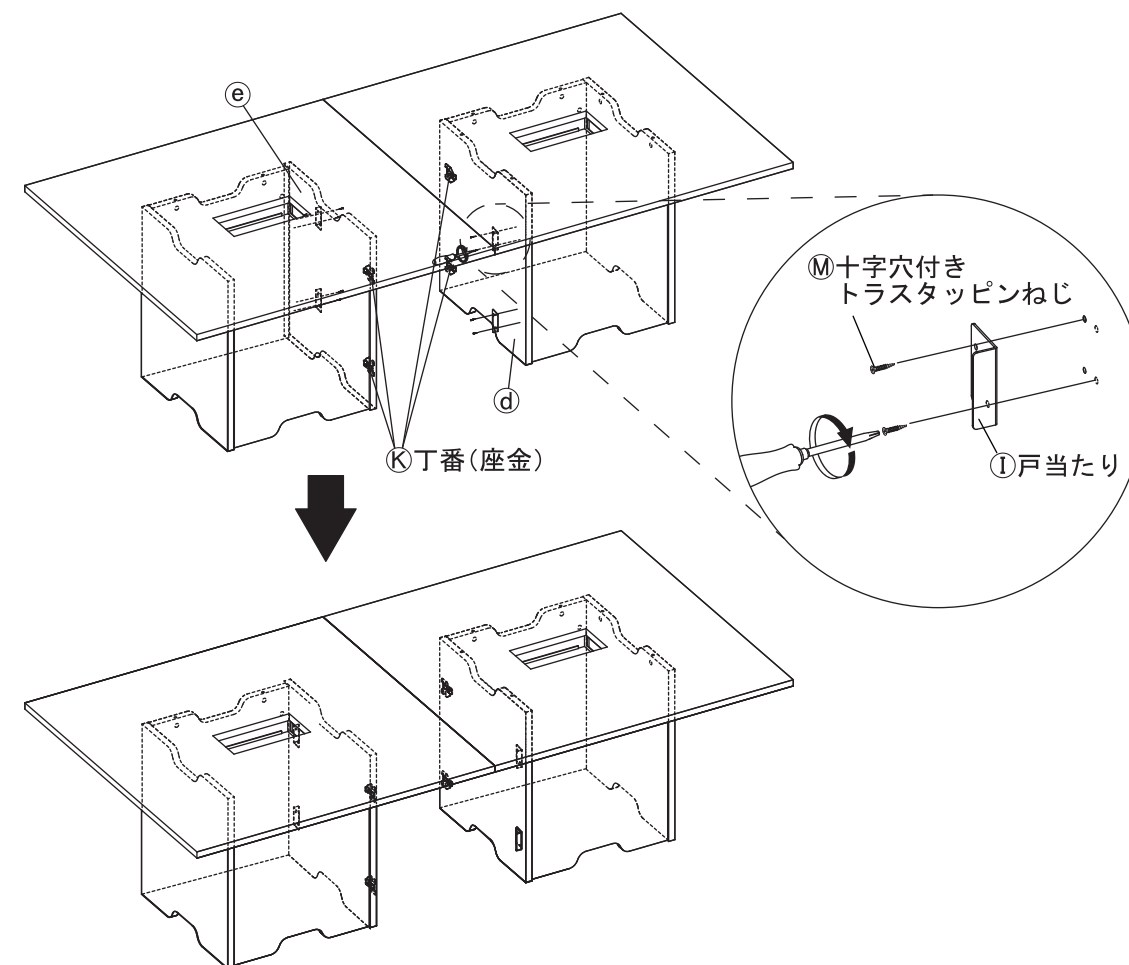


＜丁番の取り付け位置＞

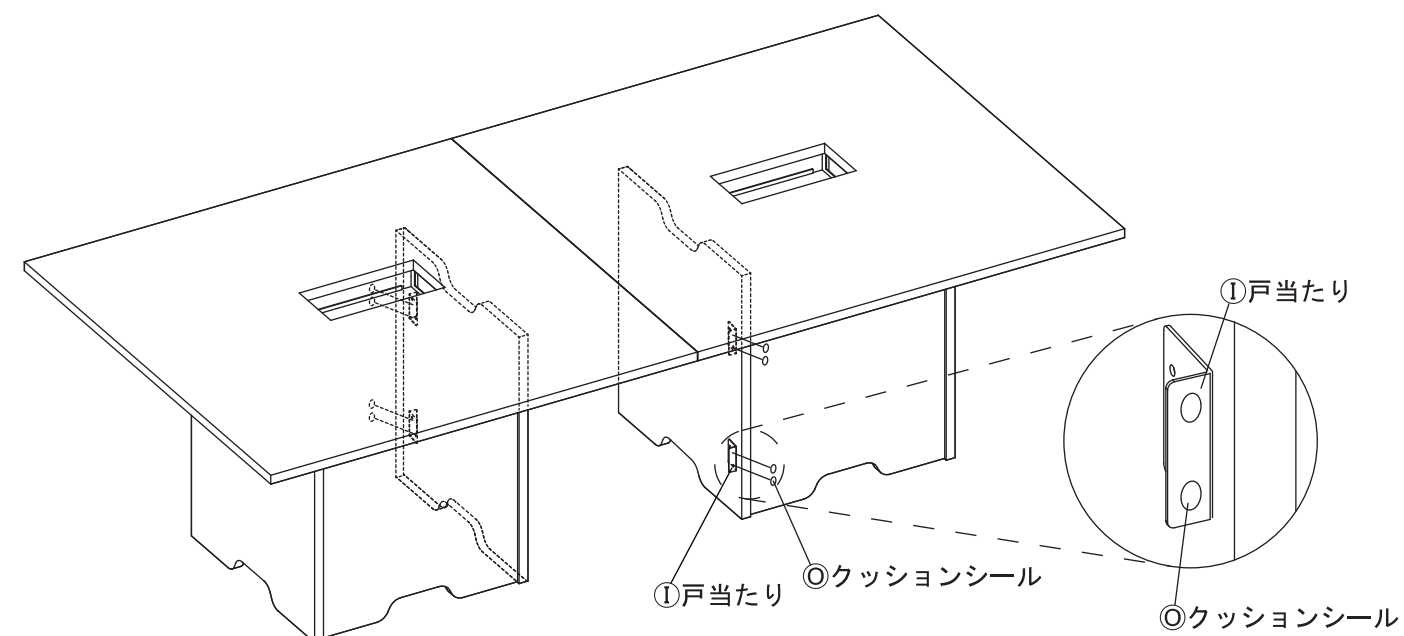


㊦増連扉は左開き、右開きをお選びいただけます。イラストを参考に扉の開く方向に合わせて㊦丁番を取り付けてください。

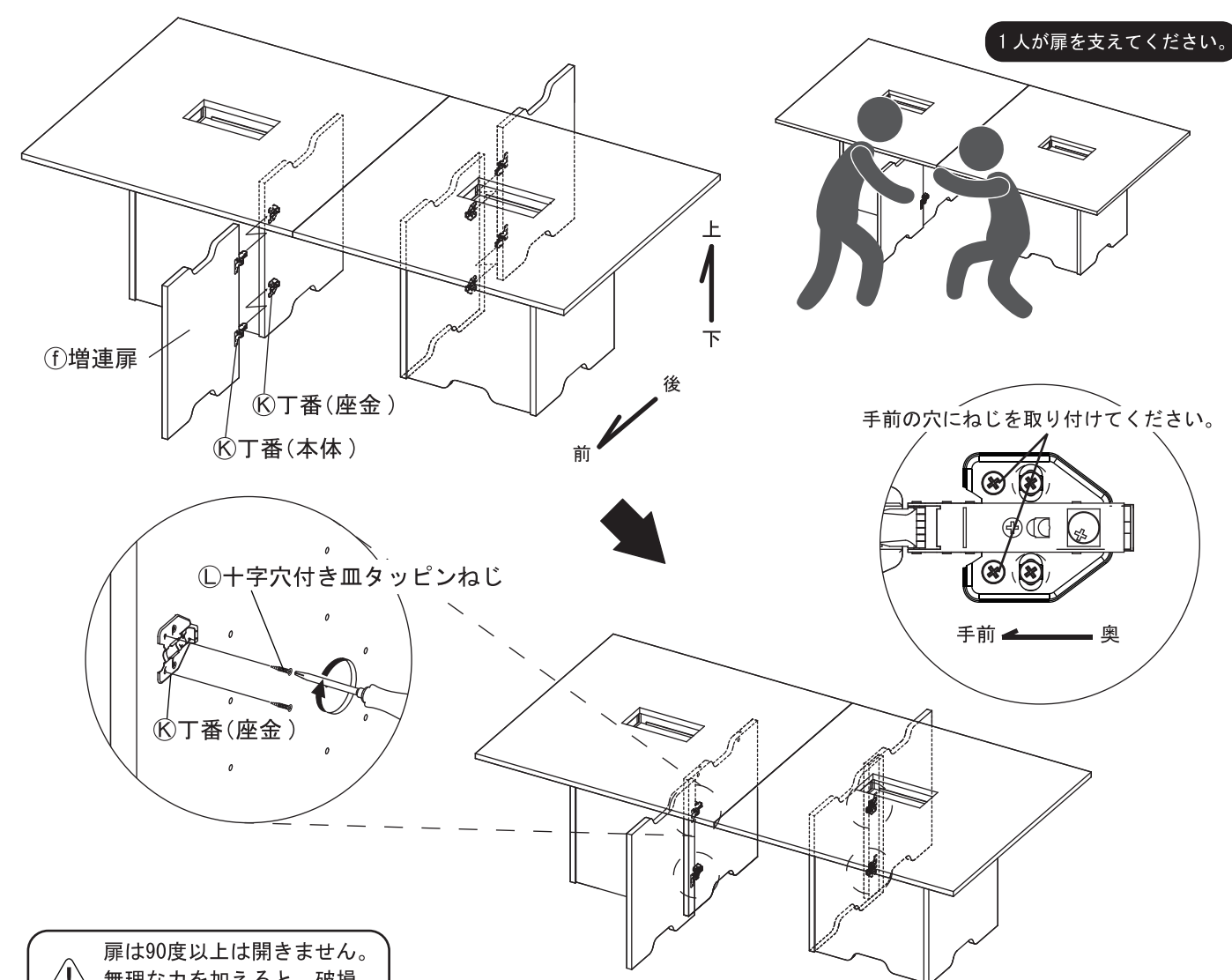
45 44で㊦丁番(座金)を取り付けた対面の側板に㊦戸当たりを取り付けます。
プラスドライバーで㊦十字穴付きトラスタッピンねじを強く押し込みながら回し入れてください。



46 ㊦戸当たりには㊦クッションシールを貼り付けます。
㊦増連扉が当たる部分に図のように2枚ずつ貼り付けてください。

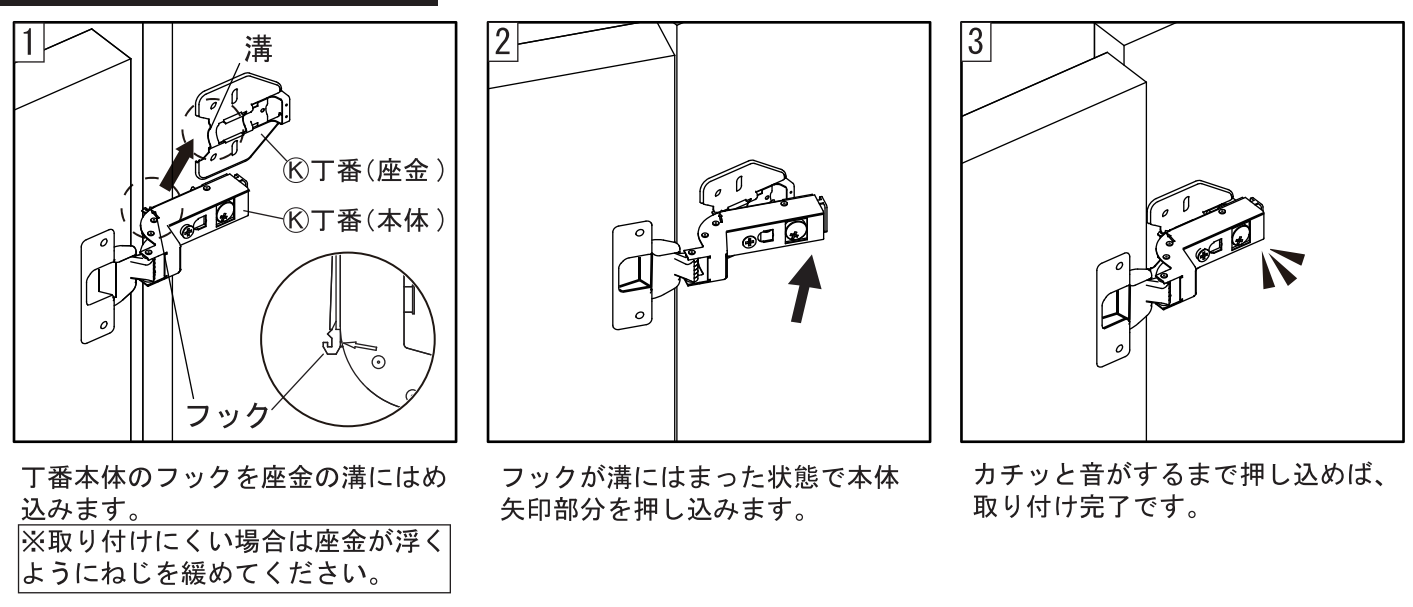


47 44で㊦丁番(座金)を取り付けた側板に㊦増連扉を取り付けます。取り付けは必ず2人以上で行ってください。1人が㊦増連扉を持ち、側板に取り付けた㊦丁番(座金)に㊦丁番(本体)の位置を合わせ、もう1人が下記く丁番の取り付け方法を参考に、各㊦丁番を取り付けてください。その後、取り付けた㊦増連扉の位置を調整します。
 ■ページ37のく丁番の調整方法を参考に、扉板が天板と水平になるように調節してください。その後、㊦丁番(座金)の手前の穴に㊦十字穴付き皿タッピンねじを締め付けてください。



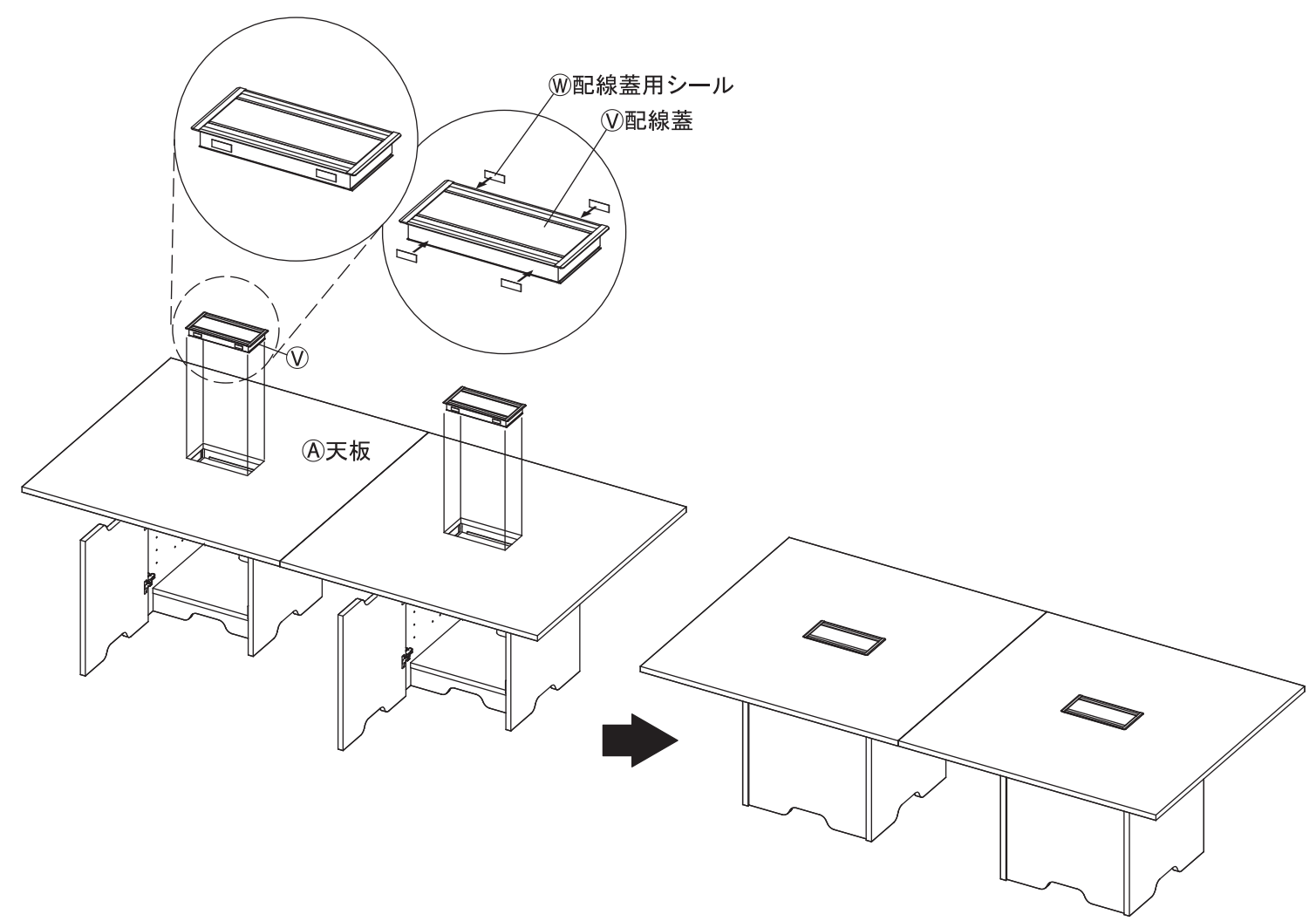
※L字増連をする場合は 69 を参考に組み立ててください。

く丁番の取り付け方法



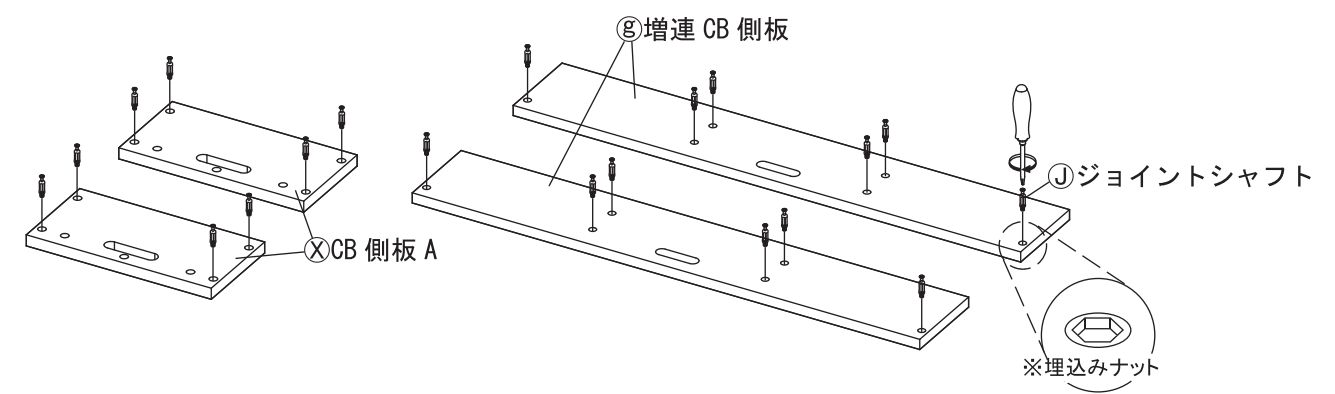
配線蓋仕様の場合 組み立て工程

48 ㊦配線蓋用シールの剥離紙を剥がし、㊦配線蓋の図の位置に貼り付けてください。その後、㊦天板の中央の穴に㊦配線蓋を取り付けてください。

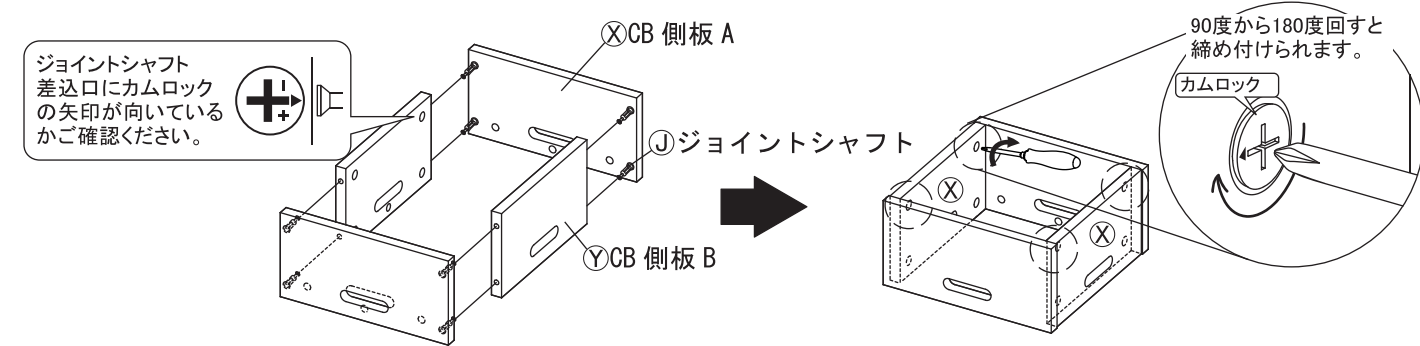


コンセントボックス仕様（グリーン付き仕様を含む）の場合 組み立て工程

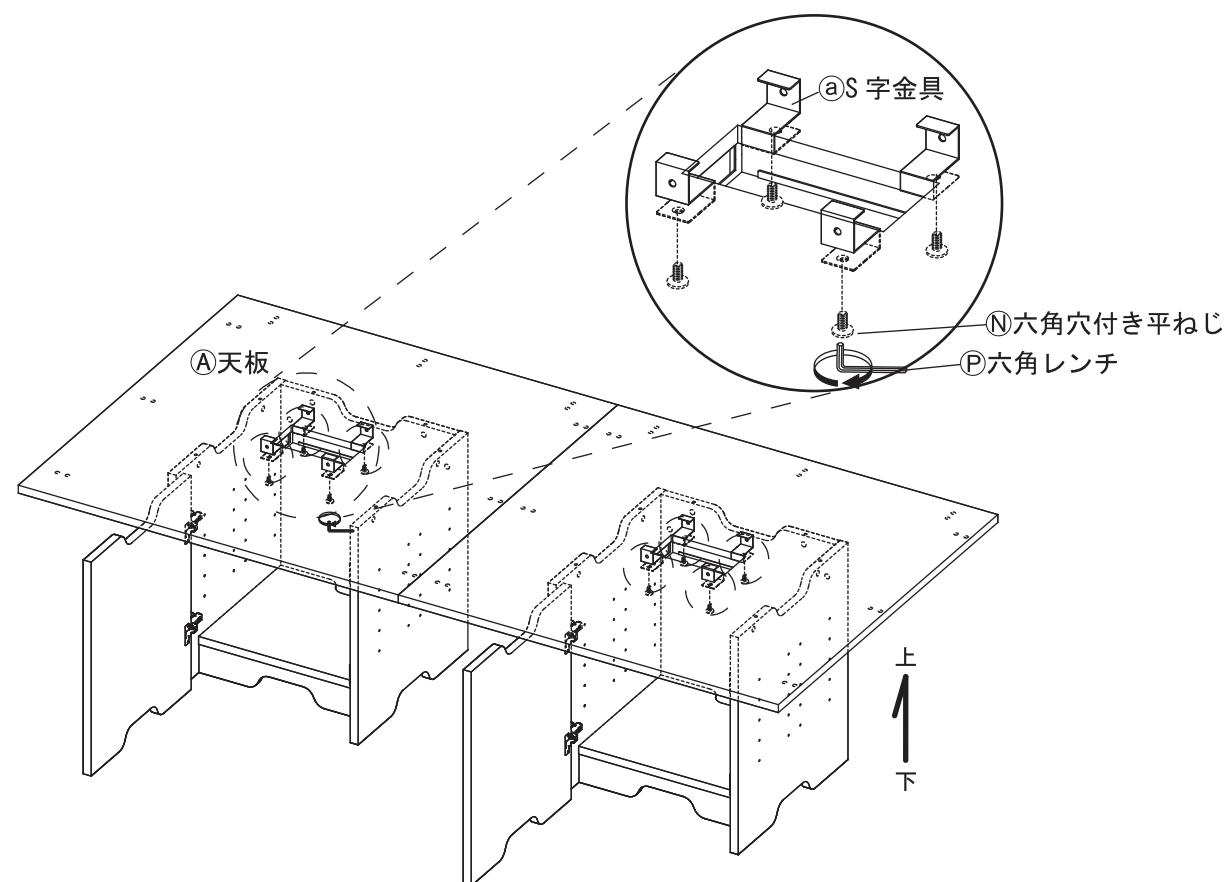
49 ㊦CB 側板 A と㊦増連 CB 側板に㊦ジョイントシャフトを回し入れてください。※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



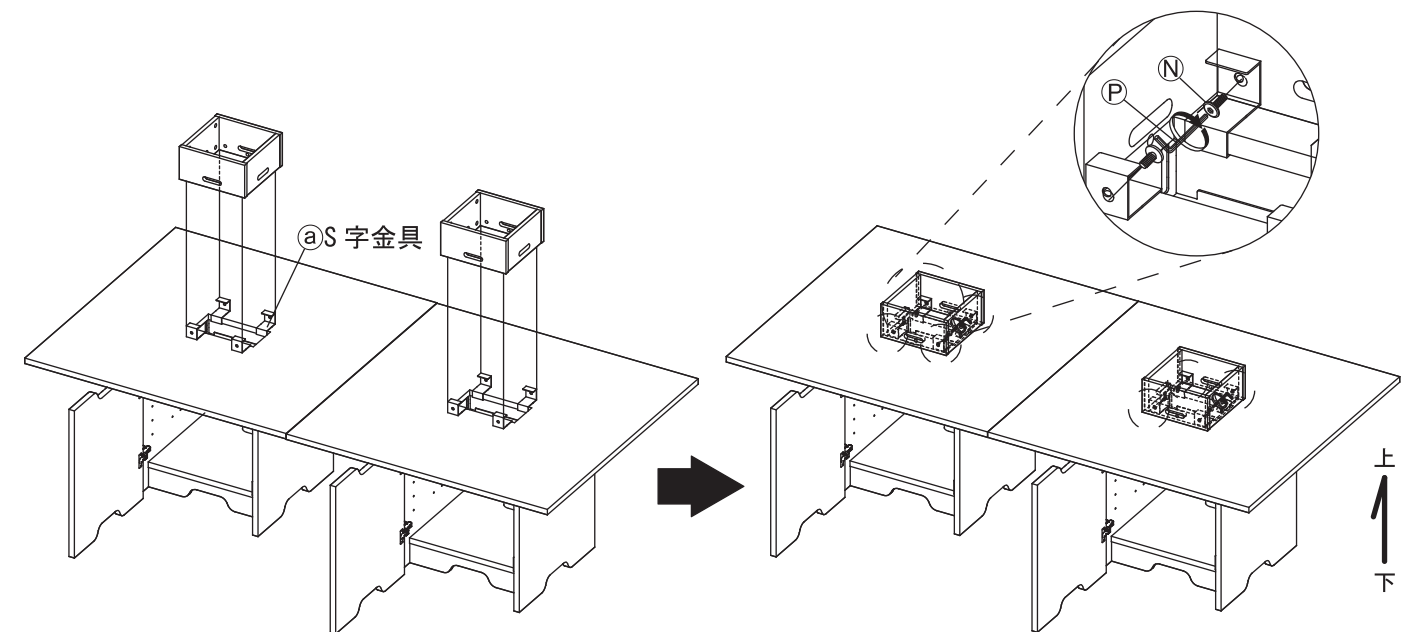
50 ⑧CB 側板 A の④ジョイントシャフトを⑦CB 側板 B の横穴に差し込んでください。
その後、⑦CB 側板 B のカムロックを回して締め付けてください。
■ ページ 5 の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



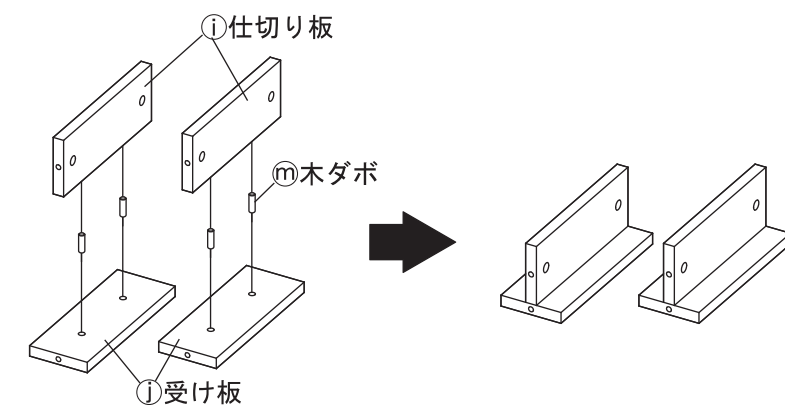
51 ①天板の中央にある穴の縁に②S 字金具を取り付けます。
②S 字金具を穴の縁に図のように取り付け、③六角レンチを使い、④六角穴付き平ねじを回して
緩めに締め付けてください。



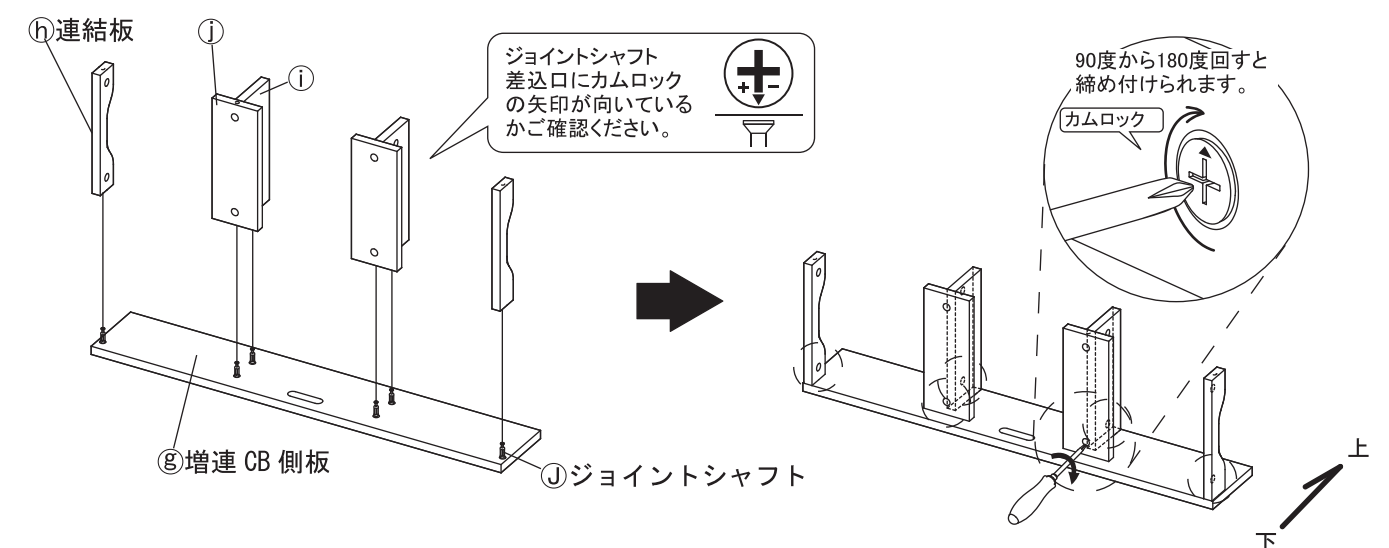
52 50 で組み立てたコンセントボックスを 51 で取り付けた②S 字金具にかぶせ、
③六角レンチを使って④六角穴付き平ねじを回して締め付けてください。



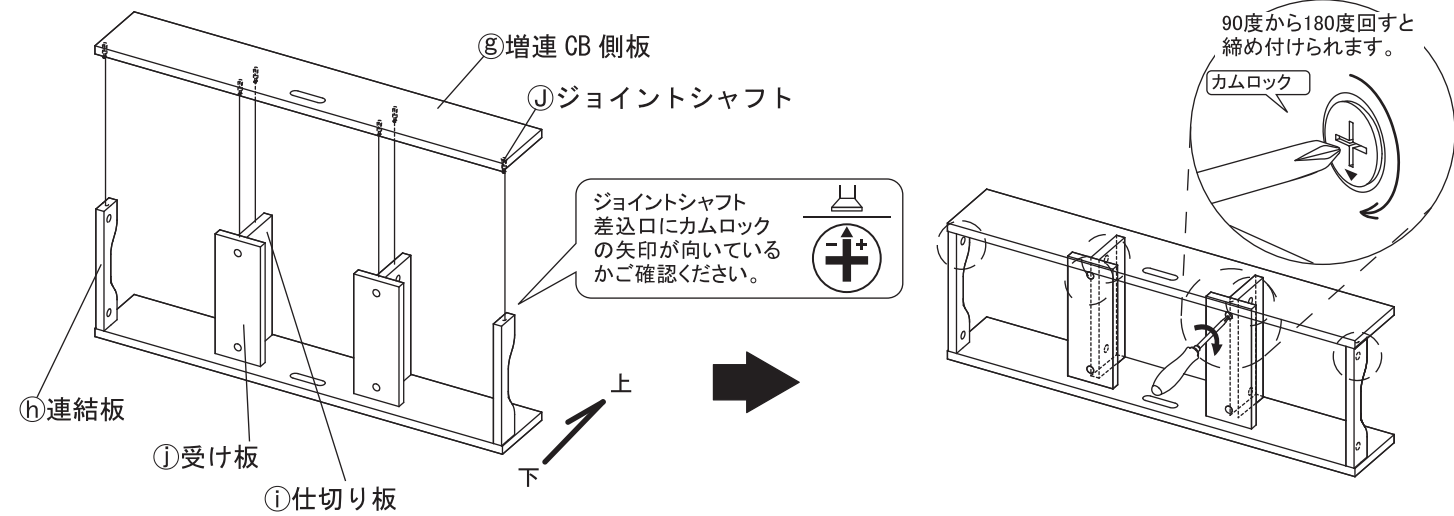
53 ①受け板の木ダボ穴に⑤木ダボを差し込んでください。
そのあと、①受け板に取り付け済みの⑤木ダボを⑥仕切り板側面の木ダボ穴に向けて差し込んでください。



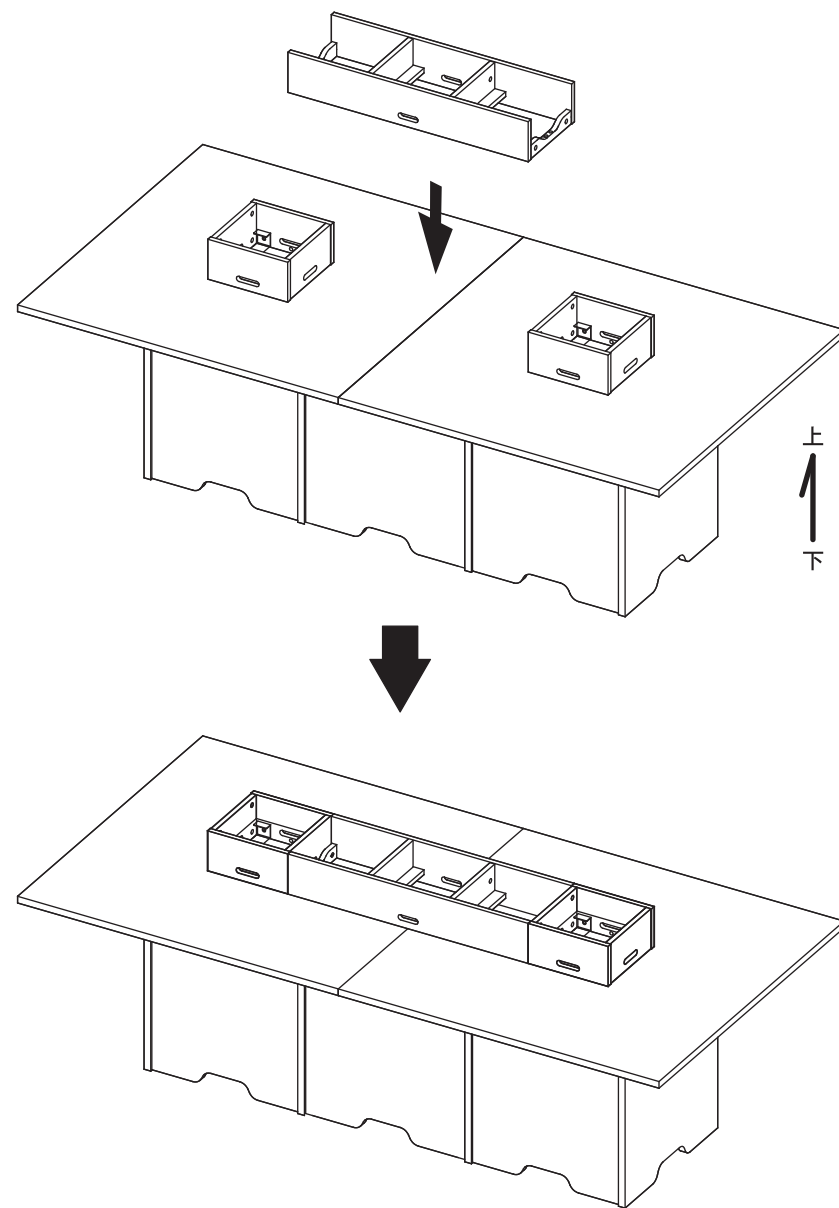
54 ⑧増速 CB 側板の④ジョイントシャフトを⑨連結板、①仕切り板、①受け板の横穴に差し込んでください。
その後、⑨連結板、①仕切り板、①受け板のカムロックを回して締め付けてください。
■ ページ 5 の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



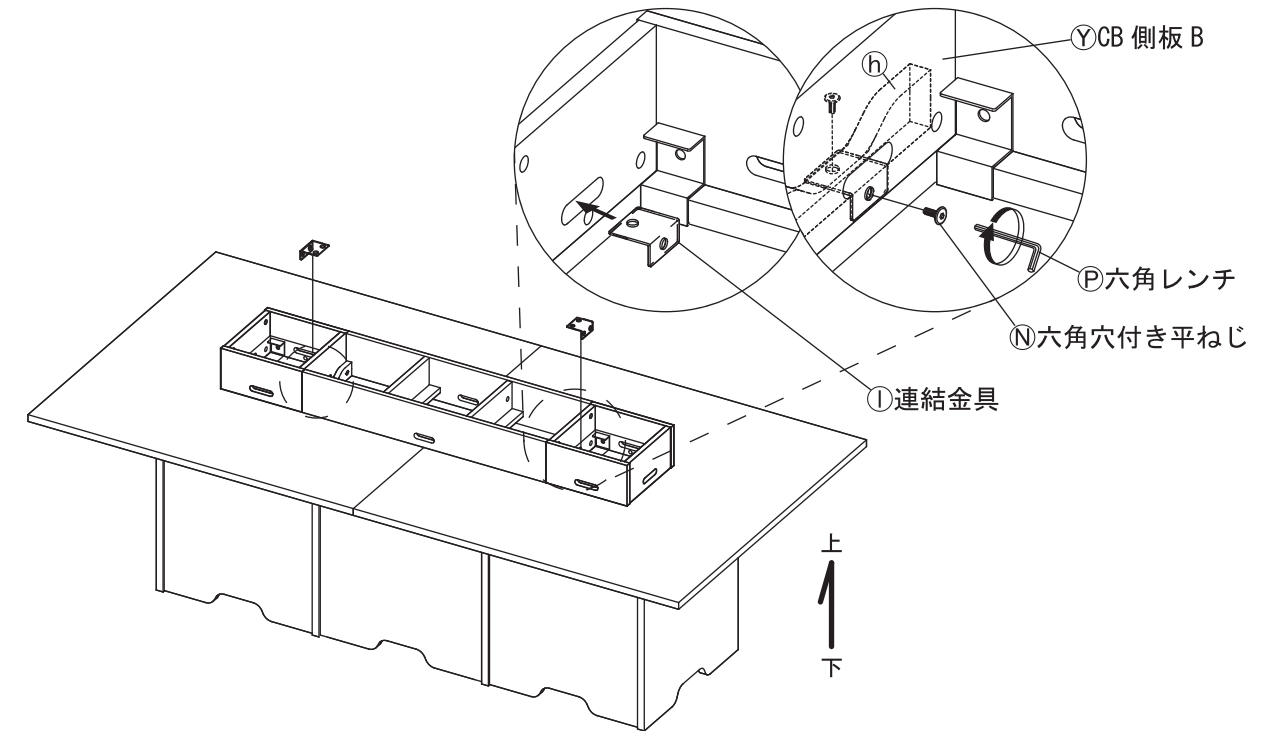
55 ⑧増連 CB 側板の④ジョイントシャフトを⑥連結板、①仕切り板、①受け板の横穴に差し込んでください。その後、⑥連結板、①仕切り板、①受け板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ5の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



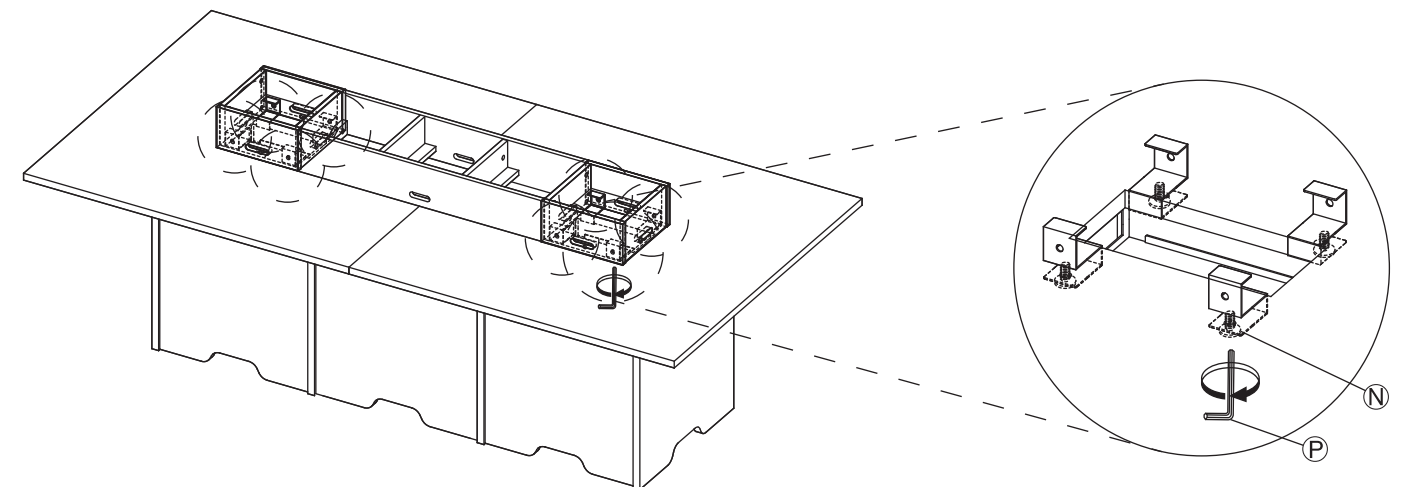
56 ⑤2で取り付けしたコンセントボックスの間に、⑤5で組み立てた増連コンセントボックスを設置します。



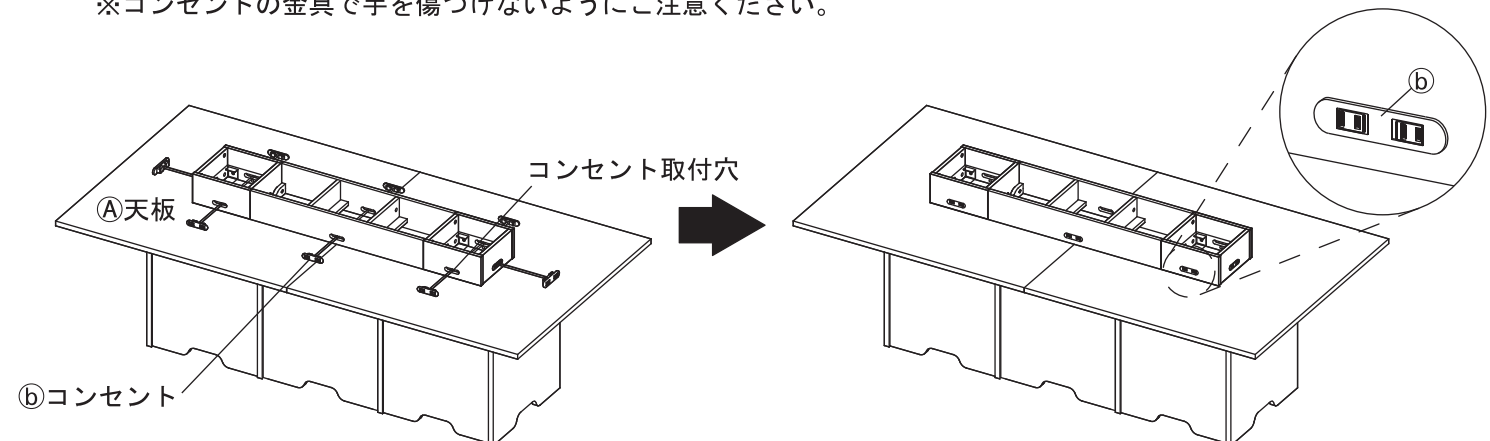
57 コンセントボックス同士を固定します。コンセントボックスの内側からコンセント取り付け穴に向かって①連結金具を取り付け、⑦CB 側板 B と⑥連結板の埋め込みナットに②六角レンチを使って③六角穴付き平ねじを回して締め付けてください。



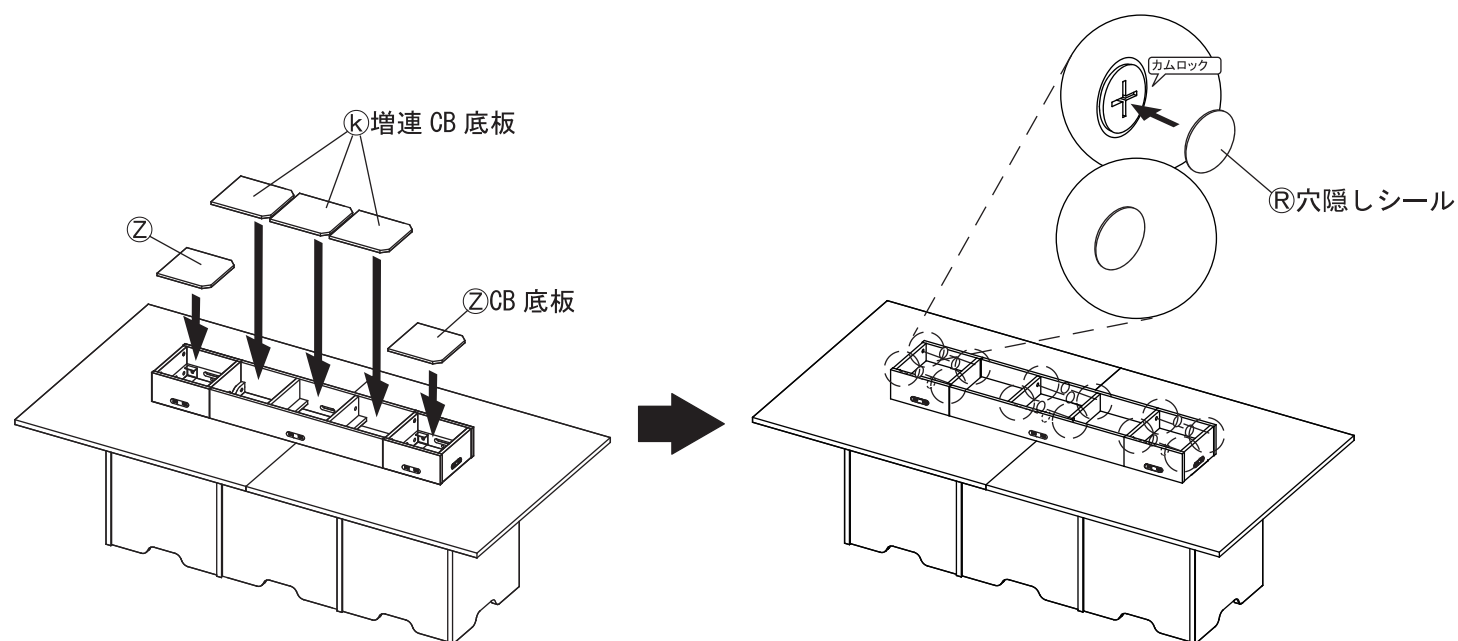
58 ②六角レンチを使って ⑤1で取り付けした③六角穴付き平ねじを回して増し締めしてください。



59 コンセントボックスに⑥コンセントを取り付けます。コンセントボックスの側面にあるコンセント取付穴に⑥コンセントの差し込みプラグとコードを通してください。その後、⑥コンセントをコンセントボックス取付穴にしっかりはめ込んでください。
※コンセントの金具で手を傷つけないようにご注意ください。



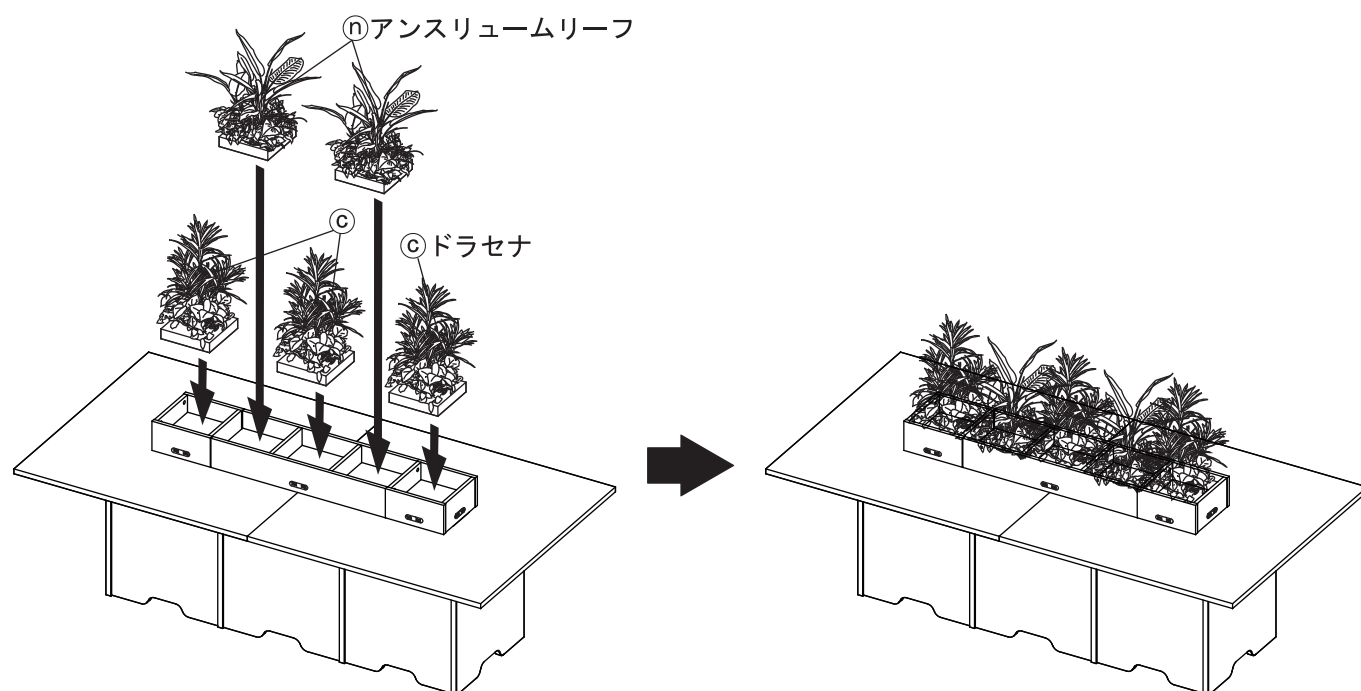
コンセントボックスに②CB 底板と④増連 CB 底板を置きます。
※②④の底板はそれぞれサイズが異なりますのでご注意ください。(④>②)
その後、カムロックが全て正常に締め付けられていることを確認し、
コンセントボックスのすべてのカムロックに⑧穴隠しシールを貼り付けてください。



※コンセントをご使用になる前に、37 ページ「コンセントに関する注意」をご確認ください。

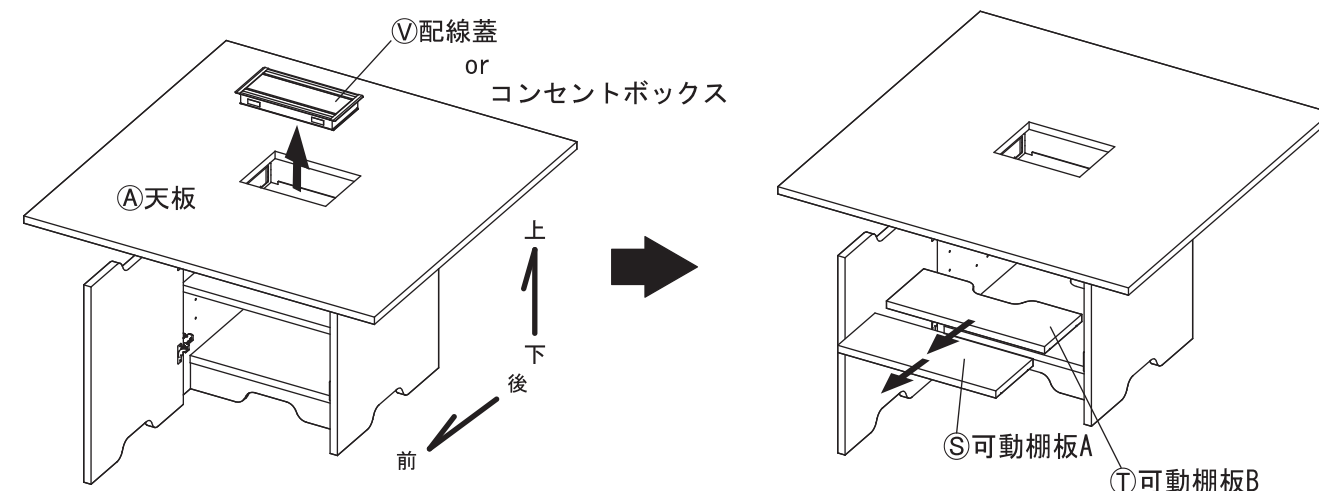
グリーン付きの場合 組み立て工程

②CB 底板と④増連 CB 底板の上に③ドラセナと⑤アンスリウムリーフを交互に置いてください。

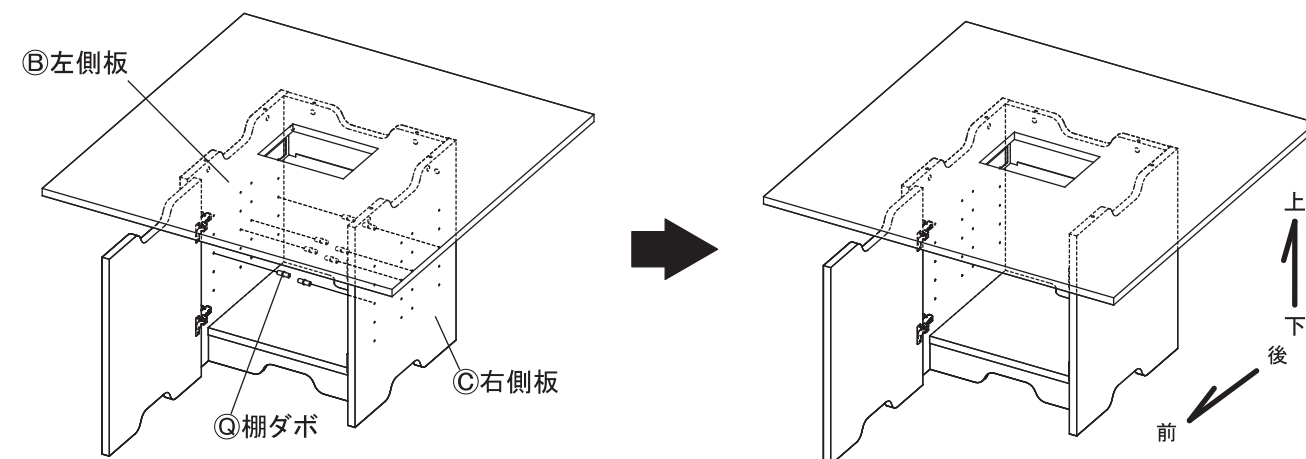


後日増連 基本（幅 1200 mm）から二連（幅 2400 mm）以上に変更する場合 組み立て工程

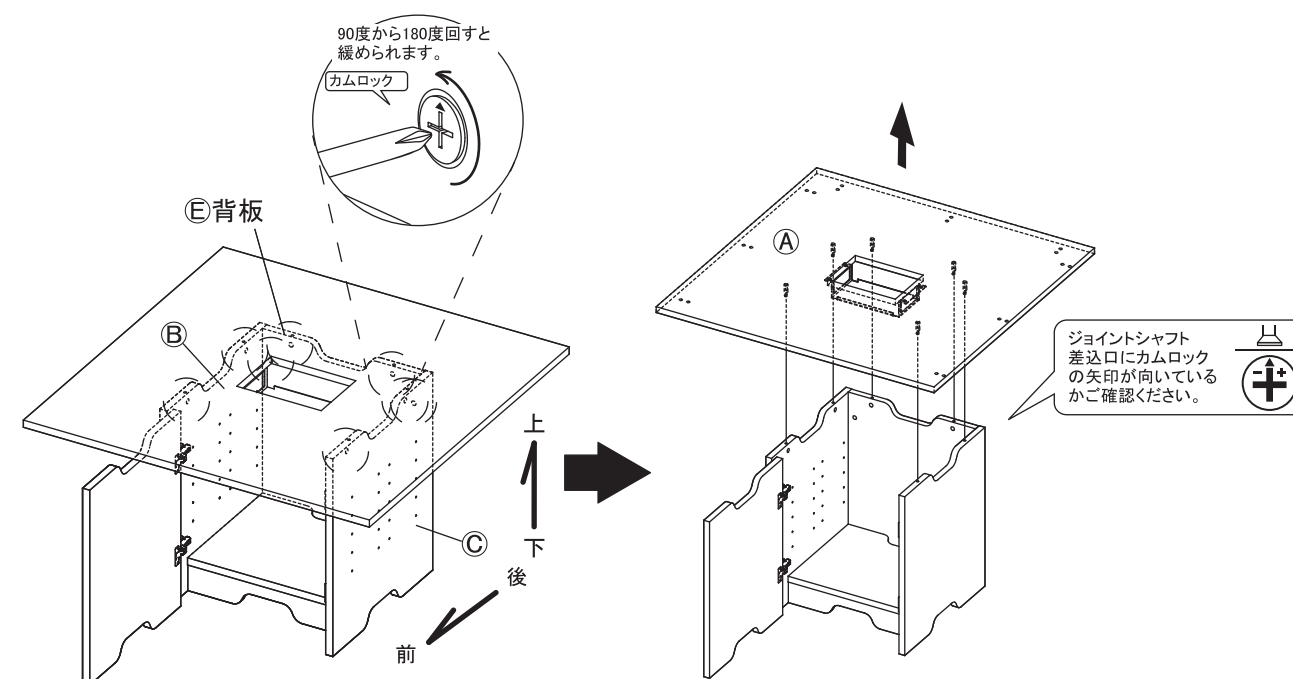
増連部材を組み付ける為に、組み立て済みの製品を分解します。
①天板上から⑥配線蓋またはコンセントボックス、本体内部から⑨可動棚板A、⑩可動棚板Bを取り外します。



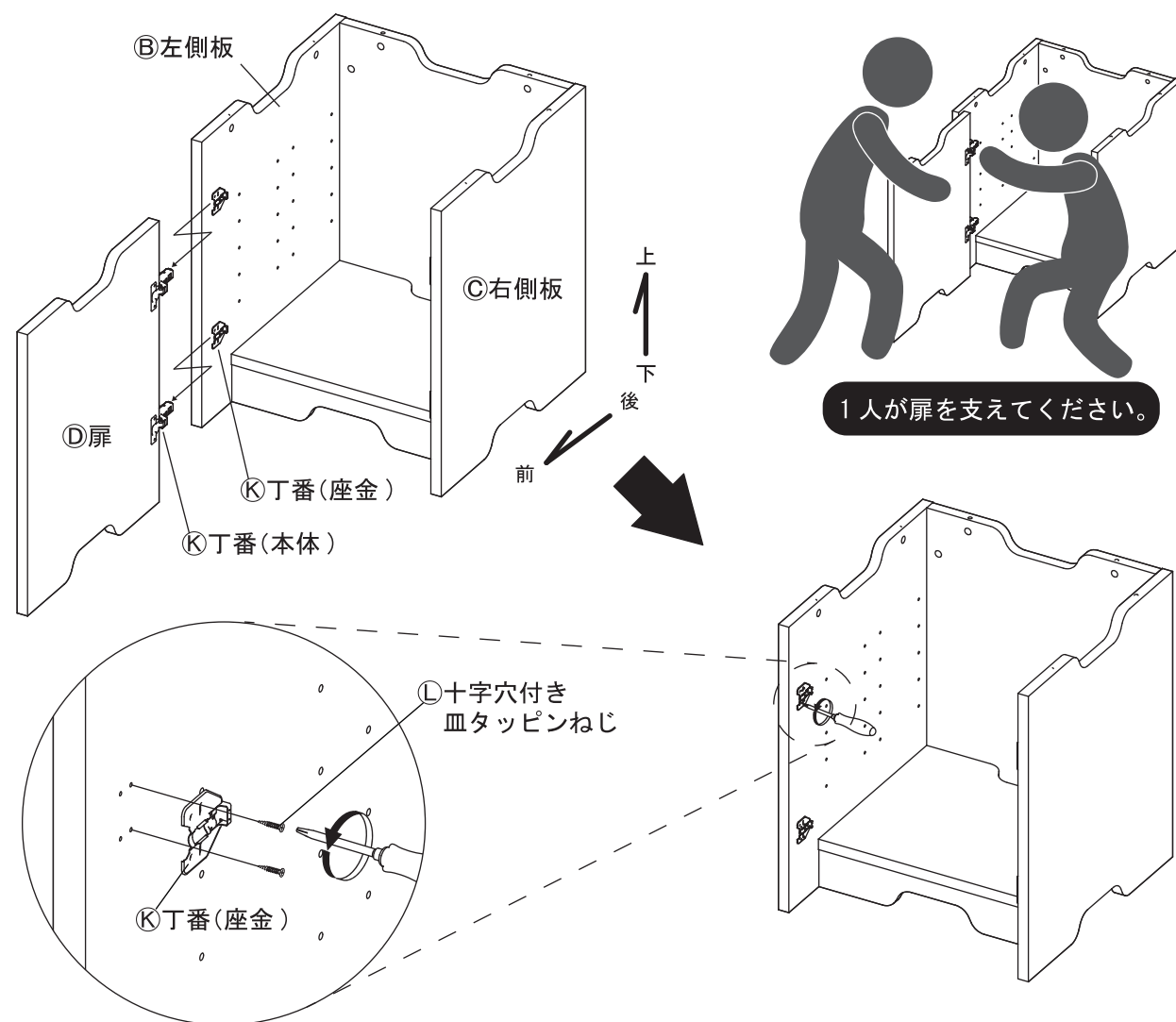
②左側板、③右側板から④棚ダボを取り外します。



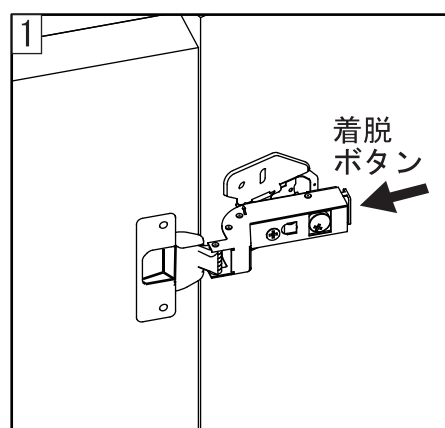
②左側板、③右側板、⑤背板に取り付けられているカムロックを回して緩めてください。
その後、①天板を二人以上で慎重に持ち上げて取り外してください。



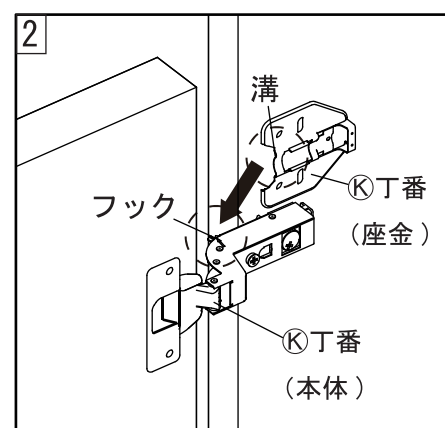
⑥左側板または⑦右側板から⑧扉を取り外します。必ず2人以上で分解を行ってください。
1人が⑧扉を持ち、もう1人が下記＜丁番の取り外し方法＞を参考に、⑥左側板または⑦右側板に取り付けた
⑨丁番(座金)から⑩丁番(本体)を取り外し、その後⑥左側板または⑦右側板から⑨丁番(座金)を取り外してください。



＜丁番の取り外し方法＞



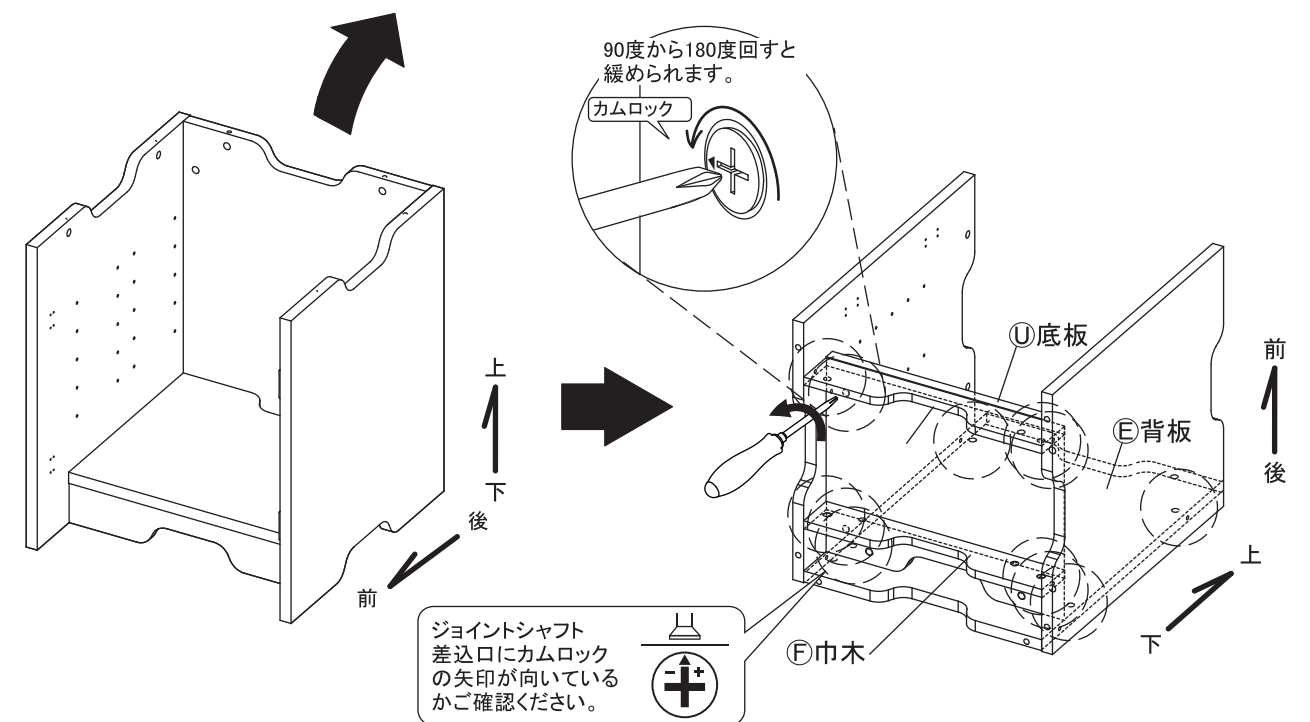
着脱ボタンを押し込みます。



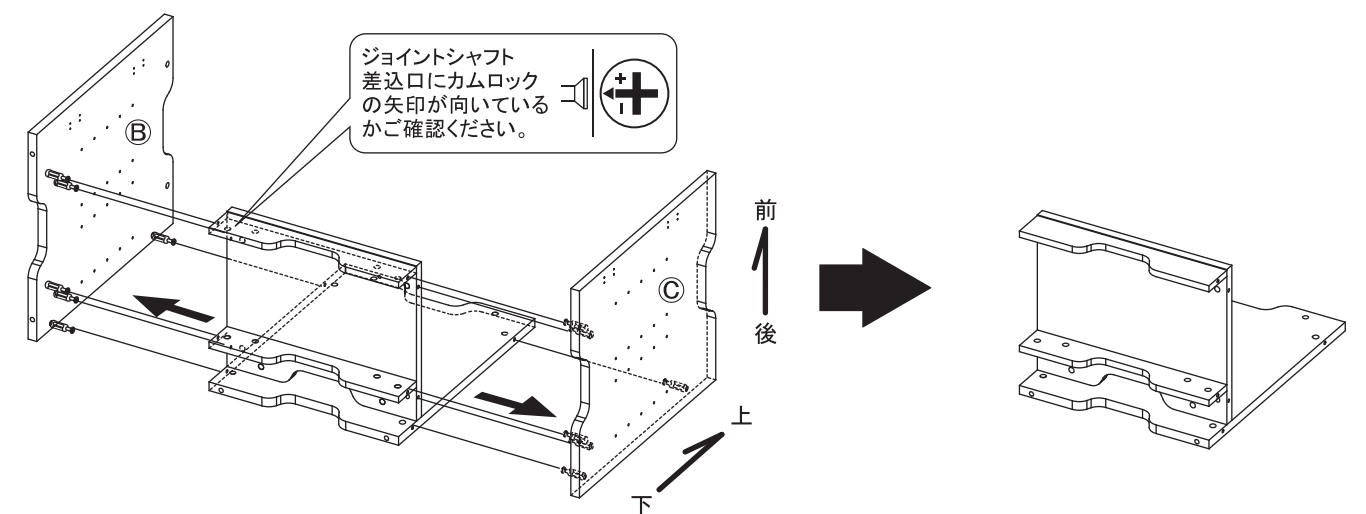
丁番本体のフックを座金の溝から外します。

⚠ 扉は90度以上は開きません。
無理な力を加えると、破損
しますのでご注意ください。

⑪背板と⑫巾木と⑬底板に取り付けられているカムロックを回して緩めてください。



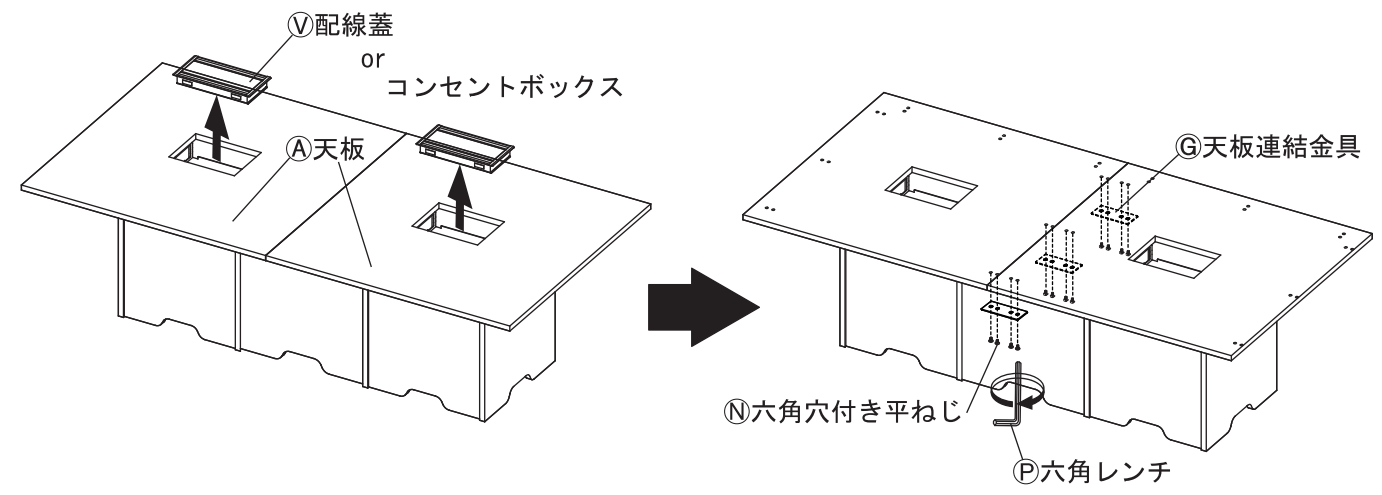
⑥左側板と⑦右側板を慎重に取り外してください。



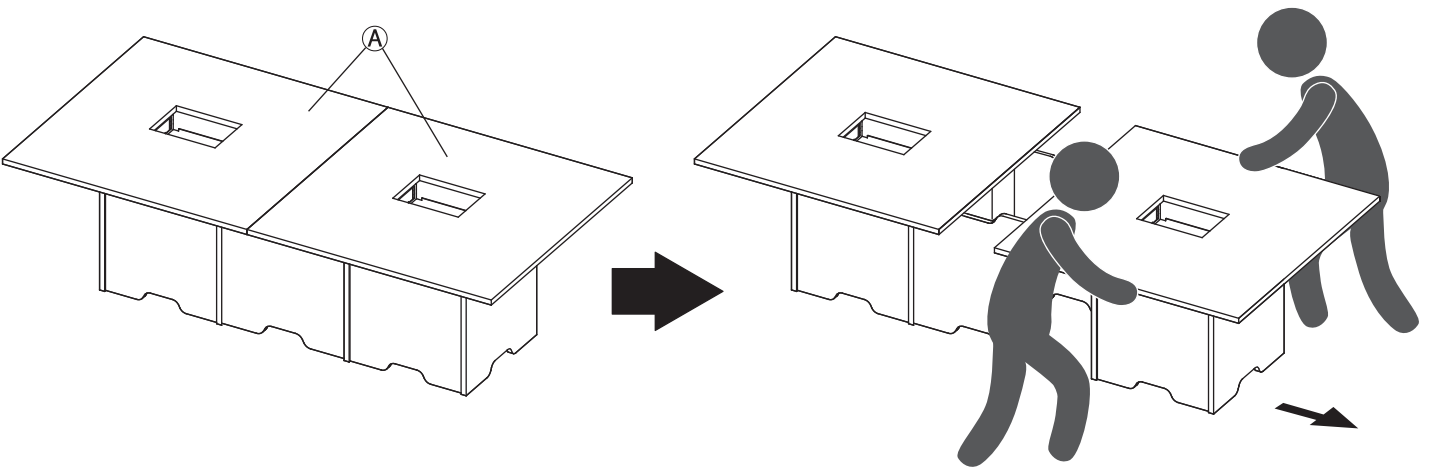
※この後、増連する部材の組み立てを行います。

25 ~をご確認いただき、分解した部材を組み合わせて商品を完成させてください。

68 増連部材を組み付ける為に、組み立て済みの製品を分解します。
④天板上から⑤配線蓋またはコンセントボックス取り外してください。
その後、④天板の裏にある⑥天板連結金具を取り外します。⑦六角レンチを使い、⑧六角穴付き平ねじを緩めて取り外してください。

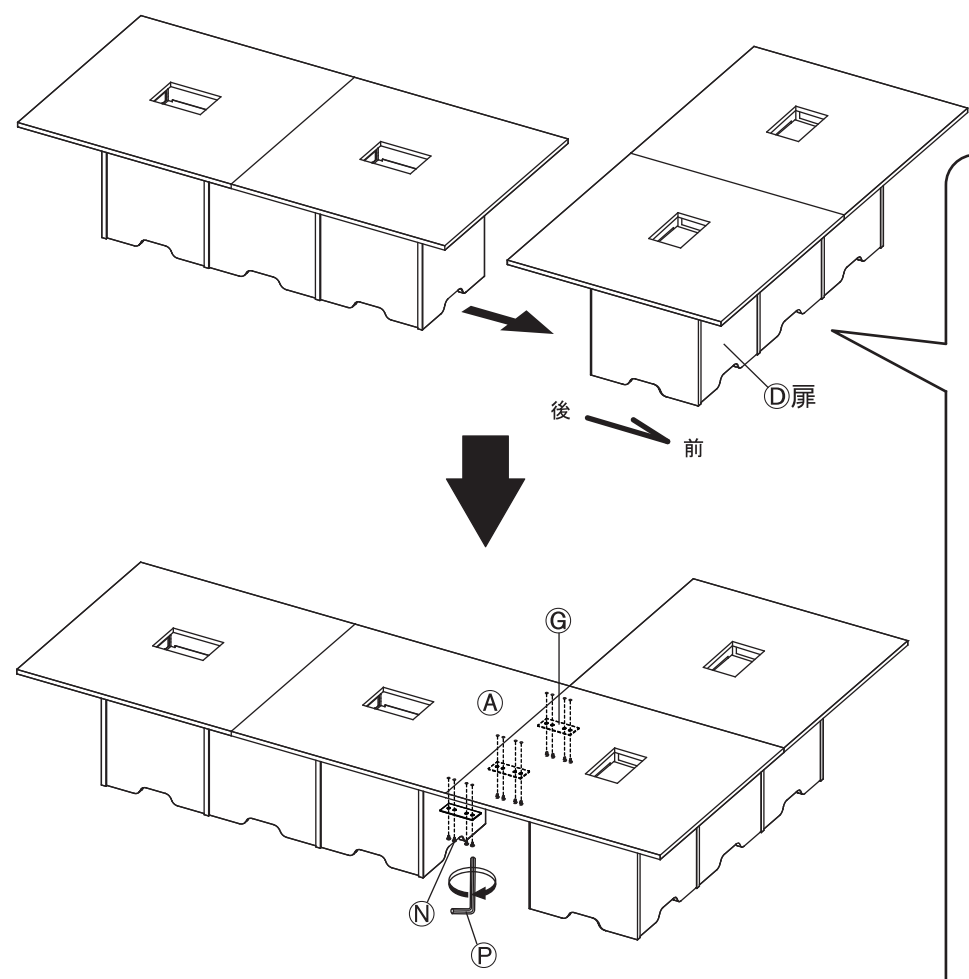


69 ④天板を2人以上で慎重に離してください。



※この後、増連する部材の組み立てを行います。
25 ~をご確認いただき、分解した部材を組み合わせて商品を完成させてください。

70 組みあがったユニット同士をL字連結します。連結する面を横に並べてください。
④天板の裏にある埋め込みナットに⑥天板連結金具を取り付けます。
⑥天板連結金具の穴を埋め込みナットに合わせ、⑦六角レンチを使い⑧六角穴付き平ねじを回して締め付けてください。



ユニットの左右面と背面が連結可能です。
前面(扉側)は連結できません。

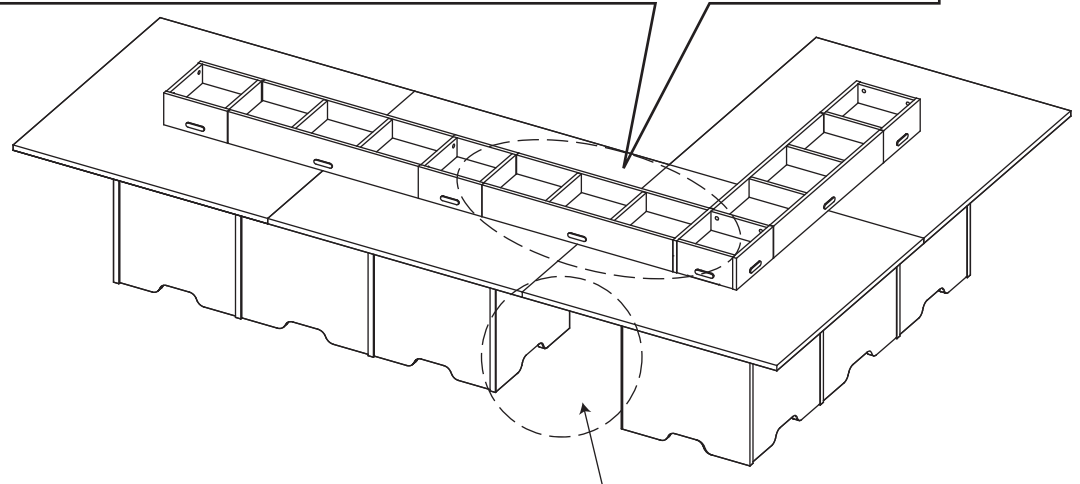
○OK

左	右	後	前

×NG

左	右	前	後

※ 49 ~ 61 と同じ工程で、増連コンセントボックスの組み立てが可能です。



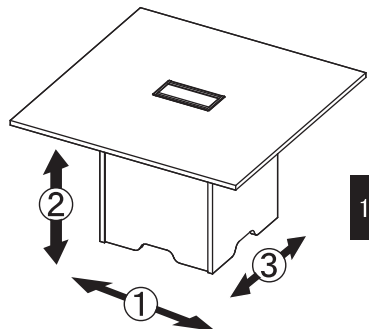
L字連結境目に増連扉の取り付けはできません。

< 丁番の調節方法 >

取り付けた扉板が天板と水平になるように丁番の位置を調節します。
①～③のねじを緩めたり締め付けすることで微調整が可能です。
必ず2人以上で作業を行い、1人が扉を支えた状態で作業を行ってください。



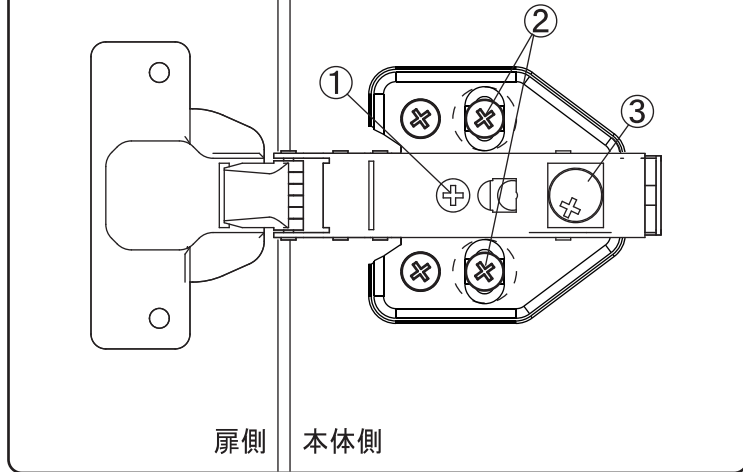
電動工具を使用しないでください。
また、回し過ぎに注意してください。



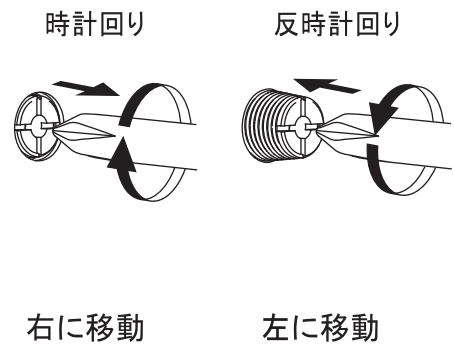
1 人が扉を支えてください。

- ①…左右調節
- ②…上下調節
- ③…前後調節

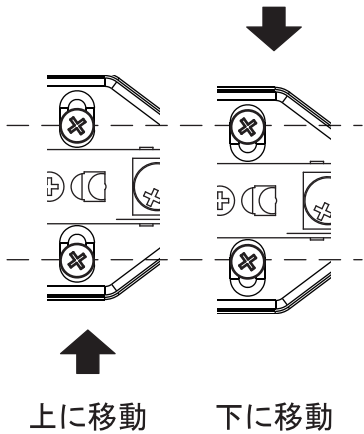
丁番詳細図



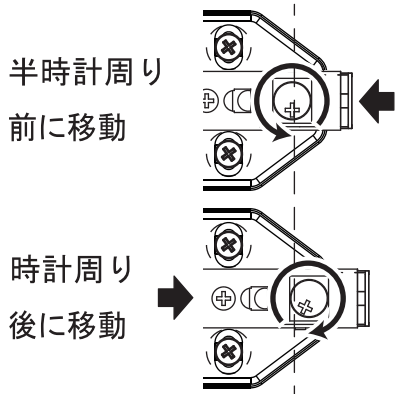
①左右調節
(左開きの場合)プラスドライバーで時計回りに回すと右に、反時計回りに回すと左に、扉が動きます。
※右開きの場合は逆に動きます。



②上下調節
プラスドライバーでネジを緩め、扉を上もしくは下に移動させます。固定したい高さでネジを締め付け直してください。



③前後調節
プラスドライバーでネジを回し、扉を前もしくは後に移動させます。固定したい位置にネジで調整してください。



⚠ コンセントに関する注意

本商品のコンセント本体には「1500Wまで」と表示されていますが、各コンセントごとに1500W使用できるものではありません。
本製品におけるコンセントの合計使用電力は、接続先のコンセント（電源タップ等）及びそれらに接続されている他の電器製品を含め、合計1500Wを超えないようにしてください。過負荷により、発熱・火災・故障の原因となります。
※本製品を増連された場合も同様です。



取扱上の注意

ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。
お読みになった後は大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをする恐れがあります。
- 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをする恐れがあります。
- 火気の側に近づけて設置しないでください。火災の原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをする恐れがあります。
- 商品に乘ったり腰をかけたりしないでください。倒れてケガをする恐れがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをする恐れがあります。
- 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
- 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをする恐れがあります。
- 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
- 商品を移動させる際には、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。
- 可動部に指を挟まないように気をつけてください。
- この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する場合があります。その場合の責任は負いかねますのでご了承頂きますようお願いいたします。

使用上の注意

- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ▲板面に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。破損する事があります。
- ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
- ▲屋外や水がかかるような場所でのご使用は避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲液体物が付着した場合は、放置せずにすみやかに拭き取ってください。化粧面が変色、変形する場合があります。
- ▲大変危険です。お子様だけで操作移動をしないようお願いします。ケガや破損を招く恐れがあります。
- ▲ご使用の環境により、床面にアジャスターの商品接触による変色や跡が付くことがあります。特にフローリングやクッションフロアでご使用の際はご注意ください。
- ▲本商品のコンセント本体には「1500W まで」と表示されていますが、各コンセントごとに 1500W 使用できるものではありません。
- ▲本製品におけるコンセントの合計使用電力は、接続先のコンセント（電源タップ等）及びそれらに接続されている他の電器製品を含め、合計 1500W を超えないようにしてください。
- ▲過負荷により、発熱・火災・故障の原因となります。
- ※本製品を増連された場合も同様です。

お手入れ方法

- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き、そのあと乾燥した布で水分を拭き取ってください。
- ◆シンナー等の使用は避けてください。変色・変形の原因となり、塗装が剥がれる場合があります。
- ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。



コンセントに同封されている取扱上の注意も合わせてご確認ください。



商品チェック

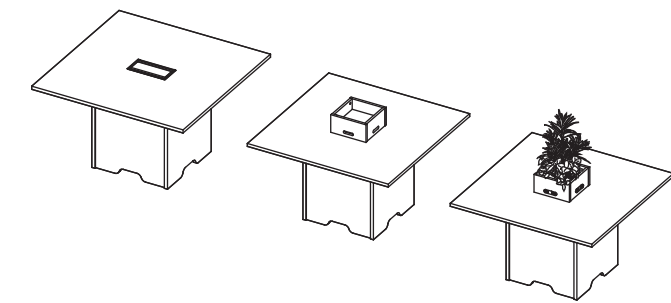
当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に永くお使い頂くために、お客様ご自身の製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、
問題箇所とお客様情報をご記入の上 FAX 頂くか、
お電話にて弊社お客様相談室までお問い合わせください。

✓ チェック項目

品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、下記項目は定期的にご確認ください。

- ☐ 本体に破損や変色・変形は見当たらないか
…異常を発見した場合はお問い合わせください。
- ☐ カムロックは正常に締め付けられているか
…別項「カムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
- ☐ 隙間やぐらつきはないか
…全てのねじがしっかりと締め付けられているかご確認ください。
ねじにゆるみがないよう、定期的に増し締めしてください。
- ☐ 完成図との相違は見当たらないか
…安全にお使い頂くため、取扱上の注意は必ずお守りください。



その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。

ご協力いただきありがとうございました。

ご氏名	
お電話番号	
FAX番号	

月曜日-金曜日(祝日を除く)
AM9:00~PM5:00
アール・エフ・ヤマカワ株式会社
お客様相談室

☎0120-204-208
FAX 059-256-5333

申込番号	
品名	グリニア ストレージテーブル
商品番号	
お買上日	年 月 日
お買上サイト名	